

# 高知県院内がん登録 データ集計 2013-2015

2018年3月

高知がん診療連携協議会がん登録部会

## 目次

はじめに	1
収集対象および集計方法	2
収集項目一覧	3
<b>がん診療連携拠点病院および推進病院 総集計</b>	
1. 登録数	5
2. 診断時住所の医療圏別割合	6
3. 年齢階級別登録割合	7
4. 症例区分	8
5. 来院経路	10
6. 発見経緯	12
7. 部位	14
8. 部位別集計（胃・大腸・肝臓・肺・乳房・前立腺）	16
<b>施設別集計（がん診療連携拠点病院および推進病院 個別集計）</b>	
国立大学法人 高知大学医学部附属病院	35
高知県・高知市病院企業団立高知医療センター	45
日本赤十字社 高知赤十字病院	55
国立病院機構高知病院	65
高知県立幡多けんみん病院	74
<b>平成29年度 高知がん診療連携協議会</b>	<b>83</b>

## はじめに

がんは1981年以降、我が国の死亡原因の第1位であり、高知県においても1984年以降、第1位となっています。がんの死亡率は欧米では減少していますが、わが国はまだ上昇しています。高齢化のさらなる進行が大きな原因の一つであると考えられ、今後も増加していくと推測されています。

2016年1月1日より「がん登録等の推進に関する法律（がん登録推進法）」が施行され、今まで県単位など地域別に行われていたがん登録を全国がん登録としてオンライン提出により国に集約しデータベース化する基盤が整い、届出が開始されています。これによって、がん登録の質の向上を促進すると同時に、がんのより正確な罹患率や生存率等の把握、がん予防の推進、がんに関する情報提供の充実、科学的知見に基づくがん対策の一層の充実につなげていくことが期待されています。

高知県では、質の高いがん医療を受ける体制確保を目的とする「高知がん診療連携協議会」において、がん登録の推進を目的にがん登録部会を設置し、院内がん登録の標準化と登録精度の向上、また、高知県のがん登録に対して積極的に協力することを目的に活動しており、2015年2月に高知県がん診療連携拠点病院データによる院内がん登録集計（2010-2012年）を発刊しました。

がん登録部会は、高知県と都道府県がん診療連携拠点病院である高知大学医学部附属病院、地域がん診療連携拠点病院である高知県・高知市病院企業団立高知医療センター、高知県立幡多けんみん病院、がん診療連携推進病院である日本赤十字社高知赤十字病院、国立病院機構高知病院、地域がん診療病院の指定を目指す高知県立あき総合病院から構成され、県内のがん登録実務者に対して研修会を開催し、がん登録の体制整備を行ってきました。

今回、がん診療連携拠点病院、がん診療連携推進病院5施設における2013年から2015年の院内がん登録データの集計が整いましたのでここに報告させていただきます。

最後になりましたが、本資料作成にあたりご協力・ご指導いただきました各施設の皆さまに厚く御礼申し上げますとともに、本誌が、高知県が目指す「健康長寿日本一」に向けて、県のがん対策推進計画の評価や市町村におけるがん対策事業、医療機関等におけるがん予防、がん医療の質の向上など、関係の皆さまのお役に立つこととなれば大変幸いと存じます。

引き続き、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

高知がん診療連携協議会 会長  
高知大学医学部附属病院 病院長  
横山 彰 仁

## 収集対象および集計方法

- \* 集計参加施設は、高知県のがん診療連携拠点病院3施設、高知県指定のがん診療連携推進病院2施設の合計5施設です。  
2013年から2015年診断症例集計結果は、各施設から全国集計に提出されたデータを基にしています。
- \* 収集項目は、「がん診療連携拠点病院院内がん登録標準様式登録項目とその定義2006年度修正版」において定義された標準項目としました。
- \* 本資料は、高知県のがん診療連携拠点病院およびがん診療連携推進病院のデータをまとめたものですが、高知県の全患者を網羅しているものではありません。また、同一症例が複数施設で登録されている場合がありますので、解釈には注意して下さい。
- \* 各集計表において、集計値が4以下の場合、個人が特定される可能性が高いことから、値を伏せて -- (ハイフン) で表記しています。0件の場合は“0”と表記しています。
- \* 本資料の部位別（胃、大腸、肝臓、肺、乳房、前立腺）の集計における、治療前ステージ、術後病理学的ステージ、治療方法については、以下の定義で抽出した癌腫のみを集計対象としました。

胃、大腸、乳房、肝臓	肺	前立腺
8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8160-8162, 8190-8221, 8260-8337, 8350-8551, 8570-8576, 8940-8941, 8030-8046, 8150-8157, 8170-8180, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8340-8347, 8560-8562, 8580-8671, 8010-8015, 8020-8022, 8050, 8000-8005	8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8160-8162, 8190-8221, 8260-8337, 8350-8551, 8570-8576, 8940-8941, 8030-8046, 8150-8157, 8170-8180, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8340-8347, 8560-8562, 8580-8671, 8010-8015, 8020-8022, 8050, 8000-8005, 8240-8245, 8248, 8249	8051-8084, 8090-8110, 8140-8149, 8160-8162, 8190-8221, 8260-8337, 8350-8551, 8570-8576, 8940-8941, 8030-8046, 8150-8157, 8170-8180, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8340-8347, 8560-8562, 8580-8671, 8010-8015, 8020-8022, 8050, 8000-8005

- \* 全国値として、「がん診療連携拠点病院 院内がん登録 2014年全国集計 報告書」  
国立がん研究センター がん対策情報センター  
[http://ganjoho.jp/professional/statistics/hosp\\_c\\_registry.html](http://ganjoho.jp/professional/statistics/hosp_c_registry.html)  
を引用しています。

# 収集項目一覧

(がん診療連携拠点病院 院内がん登録 標準登録様式 登録項目の一部を収集)

項目番号	項目名	分類区分	説明
	調査指定年		
	提出項目パターン		
20	重複番号	1 第1がん 2 第2がん	自施設において診断した多重がんの有無を把握するためのコード
50	性別	1 男 2 女 9 不明	
60	生年月日	日付	
90	診断時都道府県コード	01 北海道～47 沖縄 88 その他(外国) 99 不詳	
100	診断時住所(詳細)	住所	
110	当該腫瘍初診日	日付	当該腫瘍の診断や治療のために、はじめて患者が自施設を受診した日
130	診断日1(他施設診断日)	日付	前医・他施設において、初回治療前の診断のため行った検査のうち“がん”と診断する根拠となった検査を行った日
140	診断日2(自施設診断日)	日付	自施設にて初回治療前の診断のため行った検査のうち“がん”と診断する根拠となった検査を行った日
150	来院経路	0 自主紹介(1 他院より 2 がん検診 3 健康診断 4 人間ドック) 5 当該施設にて他疾患の経過観察中 6 剖検にて 8 その他 9 不明	診断・治療のため自施設を受診した経路(自施設に来るようになったきっかけ)
152	発見経緯	1 がん検診 2 健康診断・人間ドック 3 他疾患経過観察中(入院時ルーチン検査を含む) 4 剖検発見 9 その他・不明	当該腫瘍が診断される発端となった状況を把握するための項目(医療機関に初めて来ることになったきっかけ)
160	診断区分(診断結果)	1 初発(治療開始前) 2 治療開始後 3 疑診	初発(治療開始前)、治療開始後を区別するための項目
161	診断施設	1 自施設診断 2 他施設診断	もともと確からしい検査(診断日)を決定する際に用いた診断根拠の重み付けをもとに判断)を行った施設を特定するための項目
170	治療方針	1 自施設で治療 3 自施設で経過観察 4 他院へ紹介 8 来院中断 9 不明	診断結果に基づいて、主治医と患者とが治療方針について話し合った後に、主治医から当該腫瘍に対する治療方針として指示された内容
180	症例区分	1 診断のみの症例 2 診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例 3 他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例 4 新発生初回治療開始後の継続治療の症例、もしくは、再発の症例 5 剖検による診断の症例 6 登録開始日以前の症例 8 その他	初回治療(登録施設での診断の有無)と初回治療(登録施設における初回治療の有無)の組み合わせにより患者を振り分けるための区分をコードする
200	診断名コード	ICD-O-3 局在 (T)コード4桁	がんの原発部位をコードする
210	診断名テキスト		
220	部位の側性	1 右側 2 左側 3 片側(左右の別不明) 4 両側 9 不明もしくは正中に位置する腫瘍 側性を有しない臓器は、空欄もしくは0	原発部位が左右一対臓器の場合にコードする
230	ステージ(治療前・UICC)	00 0期 10 I期 20 II期 30 III期 40 IV期 99 不明 空欄 対象外の臓器(UICC TNM悪性腫瘍の分類 第6版に記載のない部位・臓器)	UICCの取り決めに従い、診断時のT、N、M各区分に相当するステージを記録する。産婦人科領域では、TNMの替わりにFIGO分類が使われ、悪性リンパ腫については、TNM分類におけるAnn Arbor分類を用いる。
232	ステージ(治療前・取扱い規約)	00 0期 10 I期 20 II期 30 III期 40 IV期 99 不明 空欄 対象外の臓器(取扱い規約のない部位・臓器)	がん取り扱い規約の取り決めに従い、診断時のステージを記録する
240	治療前(TNM分類)(UICC) T分類	00 T0 01 Tis 10 T1 20 T2 30 T3 40 T4 99 TX, 不明 空欄 対象外の臓器(UICC TNM悪性腫瘍の分類 第6版に記載のない部位・臓器)	UICCの取り決めに従い、診断時のT分類を記録する
250	TNM分類(UICC) N分類	00 N0 10 N1 20 N2 30 N3 99 NX, 不明 空欄 対象外の臓器(UICC TNM悪性腫瘍の分類 第6版に記載のない部位・臓器)	UICCの取り決めに従い、診断時のN分類を記録する
260	TNM分類(UICC) M分類	00 M0 10 M1 99 MX, 不明 空欄 対象外の臓器(UICC TNM悪性腫瘍の分類 第6版に記載のない部位・臓器)	UICCの取り決めに従い、診断時のM分類を記録する

項目番号	項目名	分類区分	説明
270	ステージ (術後病理学的・UICC)	00 0期 10 I期 20 II期 30 III期 40 IV期 99 不明 80 術前治療後 空欄 対象外の臓器 (UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第6版に記載のない部位・臓器)	UICCの取り決めに従い、診断時のpT、pN、pM各区分に相当するステージを記録する。産婦人科領域では、TNMの替わりにFIGO分類が使われ、悪性リンパ腫については、TNM分類におけるAnn Arbor分類を用いる。
280	術後 病理学的 pTNM分類 (UICC) pT分類	00 pT0 01 pTis 10 pT1 20 pT2 30 pT3 40 pT4 99 pTx, 不明 空欄 対象外の臓器 (UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第6版に記載のない部位・臓器)	UICCの取り決めに従い、診断時のpT分類を記録する
290	pTNM分類 (UICC) pN分類	00 pN0 10 pN1 20 pN2 30 pN3 99 pNx, 不明 80 術前治療後 空欄 対象外の臓器 (UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第6版に記載のない部位・臓器)	UICCの取り決めに従い、診断時のpN分類を記録する
300	pTNM分類 (UICC) pM分類	00 pM0 10 pM1 99 pMx, 不明 80 術前治療後 空欄 対象外の臓器 (UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第6版に記載のない部位・臓器)	UICCの取り決めに従い、診断時のpM分類を記録する
310	進展度 (治療前)	0 上皮内 1 限局 2 所属リンパ節転移あり 3 隣接臓器への浸潤あり 4 遠隔転移あり 9 不明	TNMによる病期分類は時系列的な比較が困難な場合が多いが、進展度は地域がん登録で採用されてきた分類方法であり、趨勢変化や施設間での比較に使いやすい
320	進展度 (術後病理学的)	0 上皮内 1 限局 2 所属リンパ節転移あり 3 隣接臓器への浸潤あり 4 遠隔転移あり 9 不明 8 術後病理学的進行度の適応外	手術摘出検体をもとに行われた病理組織学的診断により判断される
330	組織診断名コード	ICD-O-3 形態 (M) コード 6桁	
340	組織診断名テキスト		
350	診断根拠	1 組織診陽性 2 細胞診陽性 3 病理学的検査による診断 4 病理学的検査以外の検体検査による診断 5 がん病巣直視下の肉眼所見による診断 6 放射線画像診断 7 臨床診断のみ 9 不明 もしくは、病理学的検査による診断の不明	当該腫瘍が悪性腫瘍であること、その原発部位ならびに病理組織の確定に際し、最も寄与した情報について区分する。
351	病理組織標本由来	1 原発巣 2 転移巣 3 該当無し (診断根拠が病理学的検査でないとき: 診断根拠 4~9 に対応) 9 不明	組織学的検査陽性 (病理組織診断によるがんの診断) において、病理組織学的診断が行われた組織検体の由来をコードする
460	外科的治療の有無	1 有 2 無 9 不明	施設での初回治療における、外科的治療の有無を記載する。根治的治療以外の緩和療法等を含む。
480	体腔鏡的治療の有無	1 有 2 無 9 不明	施設での初回治療における、体腔鏡的治療の有無を記載する。根治的治療以外の緩和療法等を含む。
500	内視鏡的治療の有無	1 有 2 無 9 不明	施設での初回治療における、内視鏡的治療の有無を記載する。根治的治療以外の緩和療法等を含む。
520	外科的・体腔鏡的・内視鏡的 治療の結果	1 原発巣-治療切除 2 原発巣-非治療切除 3 原発巣-治療/非治療の別不詳 4 姑息/対症治療、転移巣切除 8 その他 9 不詳	当該がんに対する外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度をコードする。初回治療として行った総合的な結果を記載する。
550	放射線治療の有無	1 有 2 無 9 不明	施設での初回治療における放射線治療の有無を記載する。根治的治療以外の緩和療法等を含む。
560	化学療法の有無	1 有 2 無 9 不明	施設での初回治療における化学療法の有無を記載する。根治的治療以外の緩和療法等を含む。
570	免疫療法・BRMの有無	1 有 2 無 9 不明	施設での初回治療における免疫療法・BRMの有無を記載する。
580	内分泌療法の有無	1 有 2 無 9 不明	施設での初回治療における内分泌療法の有無を記載する。
590	TAEの有無	1 有 2 無 9 不明	施設での初回治療におけるTAE (肝動脈塞栓術)の有無を記載する。
600	PEITの有無	1 有 2 無 9 不明	施設での初回治療におけるPEIT (経皮的エタノール注入療法)の有無を記載する。
610	温熱療法の有無	1 有 2 無 9 不明	施設での初回治療における温熱療法の有無を記載する。
620	レーザー等治療(焼灼)の有無	1 有 2 無 9 不明	施設での初回治療におけるレーザー等治療(焼灼)の有無を記載する。
629	その他の治療の有無	1 有 2 無 9 不明	施設での初回治療における上記以外の有無を記載する。

# がん診療連携拠点病院および推進病院 総集計





# 1. 登録数

高知県のがん診療連携拠点病院およびがん診療連携推進病院における2013年、2014年、2015年の登録数の合計は15,676件でした。すべての症例区分を通しての登録数は2013年5,171件、2014年5,165件、2015年5,340件と、2015年に増加しています。

本資料では、症例区分8(その他)は、セカンドオピニオンのみの症例を任意に登録する際の区分になっているなどの理由で、この区分を含めて集計を行うと施設間の比較可能性が損なわれるという判断から、基本的な集計対象から除外しています。また、各施設における登録対象は、登録を実施する自施設での新規の診断患者または他施設で診断された初診患者であり、初発例、再発例を共に含み、治療を行わない経過観察例も含まれます。

登録済みの初発がんが当該施設で治療中に再発した患者については登録対象ではありませんが、同じ患者が同じがんで複数の病院を受診した場合は、施設ごとに登録されている可能性があります。そのため、主な集計では症例区分2(自施設診断/自施設初回治療)と3(他施設診断/自施設初回治療)を集計対象としました(収集項目一覧 項目番号180を参照)。

## ◇登録件数

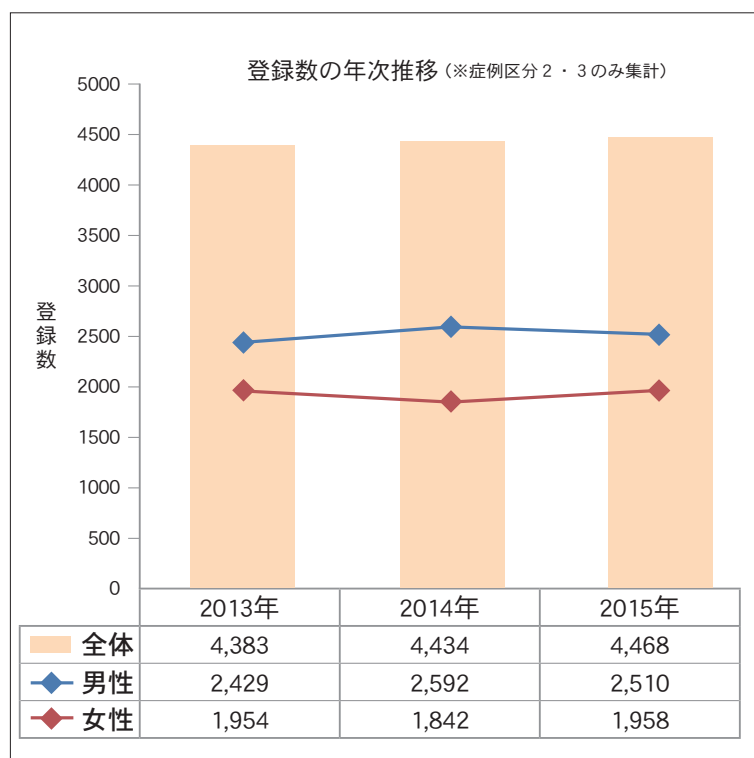
診断年	男性	女性	全体
2013年	2,841	2,330	5,171
2014年	2,976	2,189	5,165
2015年	2,940	2,400	5,340
合計	8,757	6,919	15,676

## ◇症例区分「8. その他」を除いて集計

診断年	男性	女性	全体
2013年	2,835	2,327	5,162
2014年	2,962	2,184	5,146
2015年	2,928	2,395	5,323
合計	8,725	6,906	15,631

## ◇症例区分2・3のみを集計

診断年	男性	女性	全体
2013年	2,429	1,954	4,383
2014年	2,592	1,842	4,434
2015年	2,510	1,958	4,468
合計	7,531	5,754	13,285



## 集計参加施設

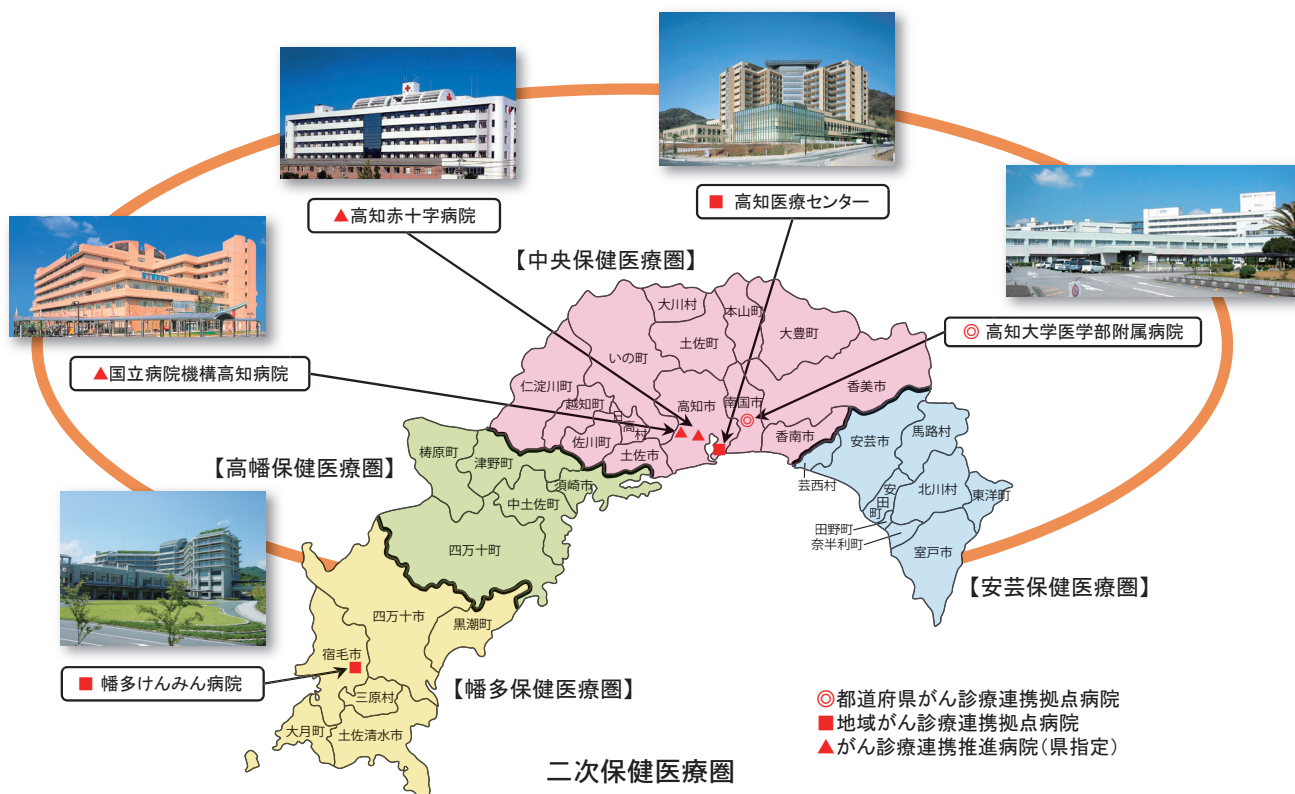
医療機関名	所在地(医療圏)	2013年 診断症例 全登録件数	2014年 診断症例 全登録件数	2015年 診断症例 全登録件数
高知大学医学部附属病院	中央	1,626	1,560	1,516
高知医療センター	中央	1,497	1,543	1,605
高知赤十字病院	中央	832	866	920
国立病院機構高知病院	中央	567	560	626
幡多けんみん病院	幡多	649	636	673

## 2. 診断時住所の医療圏別割合

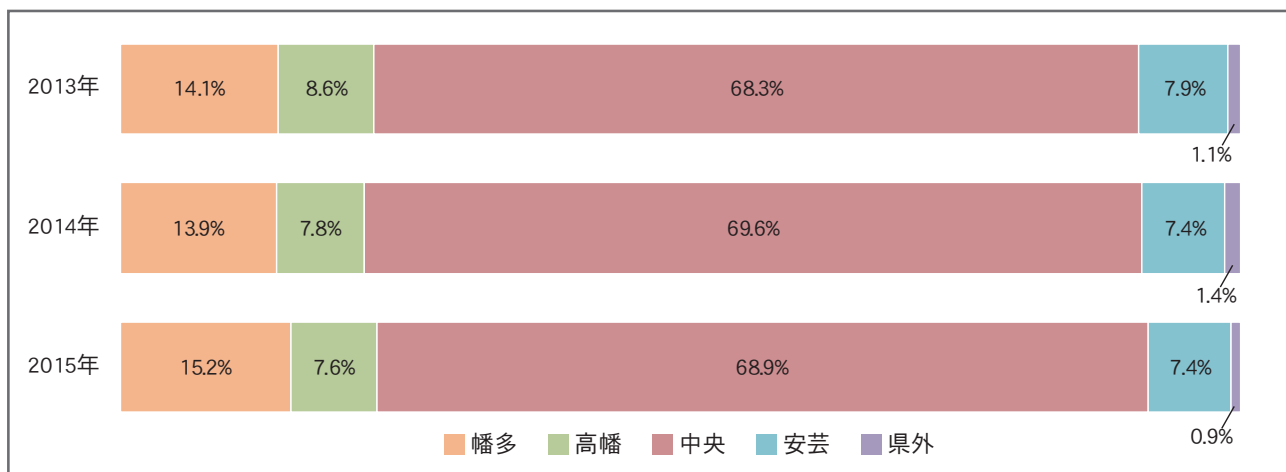
※症例区分2・3のみを集計

中央保健医療圏には都道府県がん診療連携拠点病院である高知大学医学部附属病院、地域がん診療連携拠点病院の指定を受けている高知医療センター、県指定のがん診療連携推進病院である高知赤十字病院と国立病院機構高知病院があります。幡多保健医療圏には、地域がん診療連携拠点病院である高知県立幡多けんみん病院があります。

診断時住所の医療圏別割合は、中央保健医療圏が約69%、幡多保健医療圏が約15%、高幡保健医療圏と安芸保健医療圏が約8%ずつです。



医療圏	幡多		高幡		中央		安芸		県外		総計 件数
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	
2013年	617	(14.1)	377	(8.6)	2,992	(68.3)	347	(7.9)	50	(1.1)	4,383
2014年	617	(13.9)	346	(7.8)	3,084	(69.6)	326	(7.4)	61	(1.4)	4,434
2015年	680	(15.2)	341	(7.6)	3,077	(68.9)	330	(7.4)	40	(0.9)	4,468

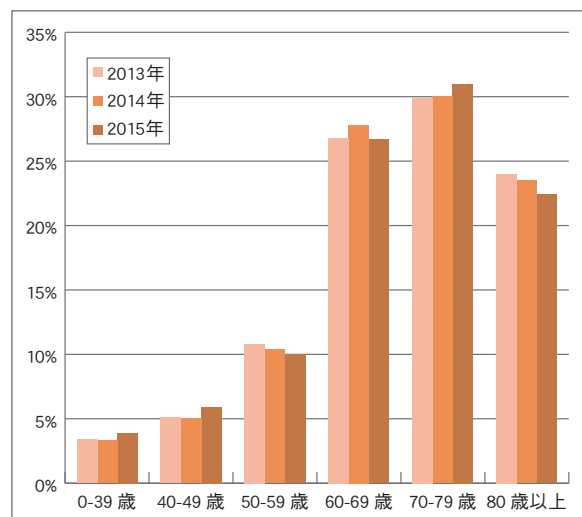


### 3. 年齢階級別登録割合

※症例区分2・3のみを集計

3年間で年齢階級別登録割合の大きな変動はありませんが、全体の50%以上を70歳以上が占めており、70歳代の割合が最も大きくなっています。

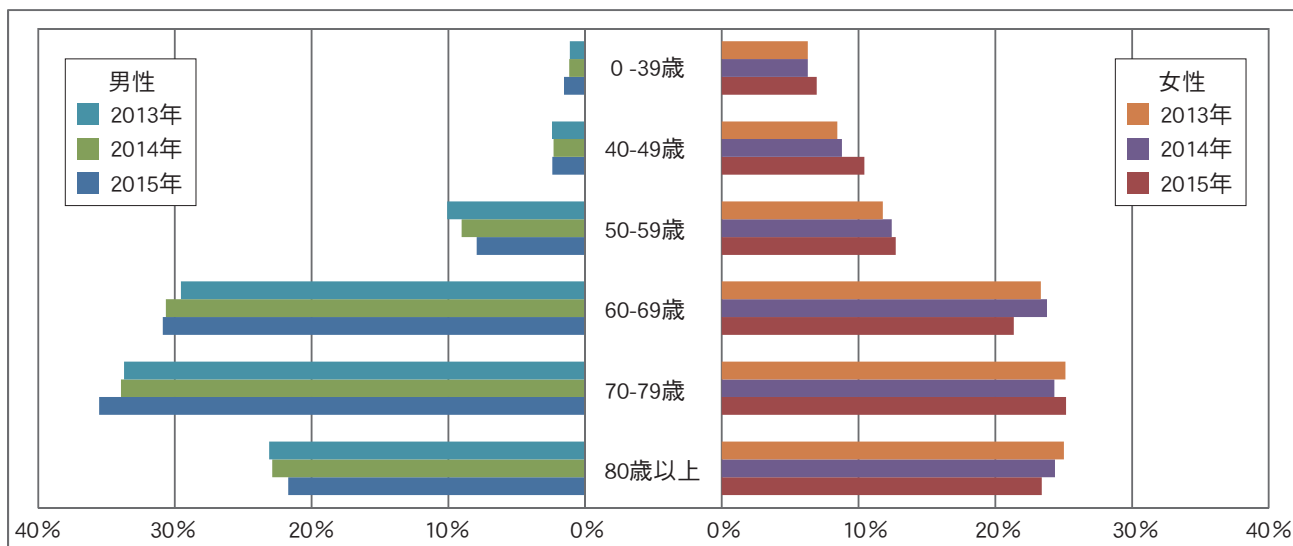
性別にみると、男性では50歳以上の登録割合が全体の約96%を占めているのに対して、女性では50歳以上の割合が84%程度となっており、男性に比べて50歳未満の登録割合が大きいことがわかります。



全体	2013年		2014年		2015年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-39歳	150	(3.4)	146	(3.3)	175	(3.9)
40-49歳	224	(5.1)	222	(5.0)	264	(5.9)
50-59歳	475	(10.8)	463	(10.4)	448	(10.0)
60-69歳	1,174	(26.8)	1,233	(27.8)	1,193	(26.7)
70-79歳	1,310	(29.9)	1,328	(30.0)	1,385	(31.0)
80歳以上	1,050	(24.0)	1,042	(23.5)	1,003	(22.4)

男性	2013年		2014年		2015年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-39歳	27	(1.1)	30	(1.2)	39	(1.6)
40-49歳	59	(2.4)	60	(2.3)	60	(2.4)
50-59歳	245	(10.1)	234	(9.0)	199	(7.9)
60-69歳	718	(29.6)	795	(30.7)	775	(30.9)
70-79歳	819	(33.7)	880	(34.0)	892	(35.5)
80歳以上	561	(23.1)	593	(22.9)	545	(21.7)

女性	2013年		2014年		2015年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-39歳	123	(6.3)	116	(6.3)	136	(6.9)
40-49歳	165	(8.4)	162	(8.8)	204	(10.4)
50-59歳	230	(11.8)	229	(12.4)	249	(12.7)
60-69歳	456	(23.3)	438	(23.8)	418	(21.3)
70-79歳	491	(25.1)	448	(24.3)	493	(25.2)
80歳以上	489	(25.0)	449	(24.4)	458	(23.4)



## 4. 症例区分

※症例区分8を除いた集計

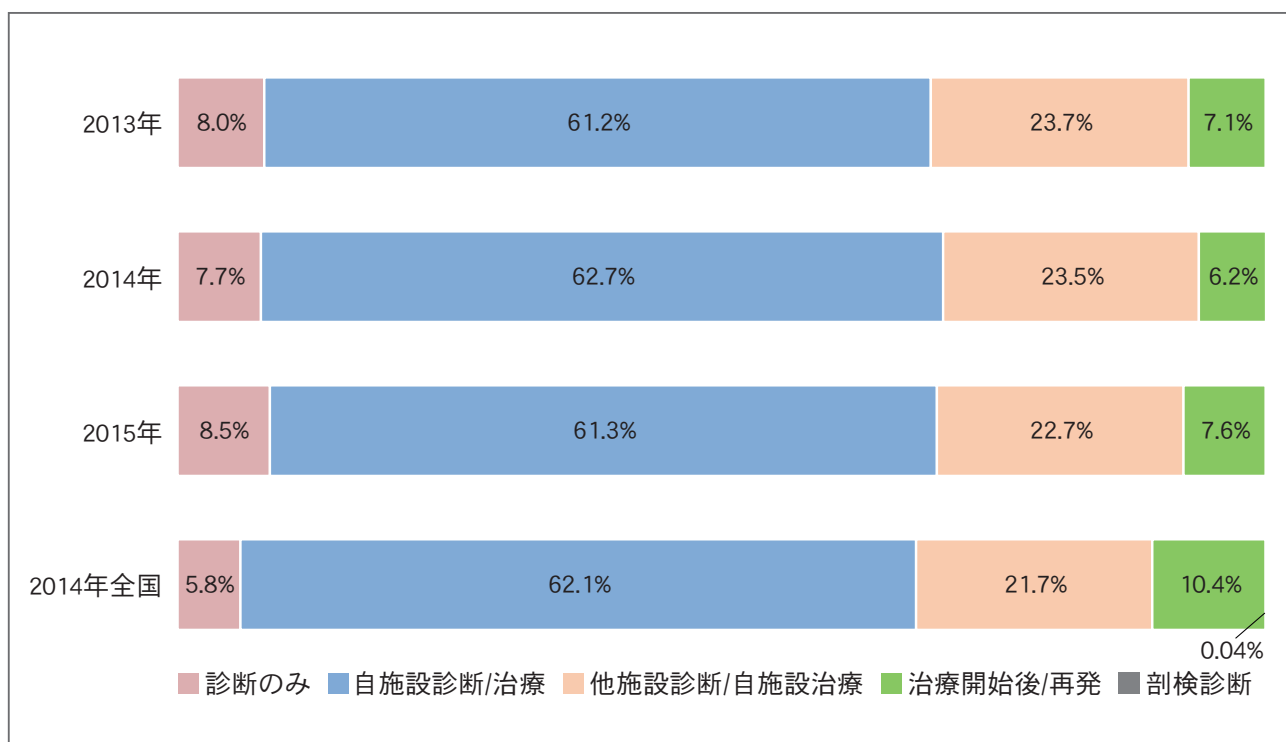
症例区分は、自施設が、がんの診断から再発治療までの一連の流れの中で、主にどのような役割を果たしているかを推察するための項目の一つです。

全部位では症例区分2（自施設診断/自施設初回治療）と3（他施設診断/自施設初回治療）の割合が、2013年は84.9%、2014年は86.2%、2015年は84%であり、登録症例のほとんどが自施設で初回治療が行われた症例であることを意味しています。

部位別では、肺と前立腺では、症例区分2（自施設診断/自施設初回治療）の割合が60%を超えており、乳房では、症例区分4（治療開始後/再発）の割合が高くなっています。

### 4-1. 症例区分 全部位

	診断のみ		自施設診断/治療		他施設診断/自施設治療		治療開始後/再発		剖検診断		総計 件数
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	
2013年	411	(8.0)	3,161	(61.2)	1,222	(23.7)	367	(7.1)	--	--	5,162
2014年	394	(7.7)	3,225	(62.7)	1,209	(23.5)	318	(6.2)	0	(0.0)	5,146
2015年	451	(8.5)	3,262	(61.3)	1,206	(22.7)	403	(7.6)	--	--	5,323
2014年全国	37,126	(5.8)	399,409	(62.1)	139,655	(21.7)	67,032	(10.4)	258	(0.04)	643,480



## 4-2. 症例区分 部位別

		診断のみ		自施設診断/治療		他施設診断/自施設治療		治療開始後/再発		剖検診断		総計
		件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数
胃	2013年	35	(4.9)	321	(44.7)	352	(49.0)	10	(1.4)	0	(0.0)	718
	2014年	20	(2.9)	335	(48.4)	321	(46.4)	16	(2.3)	0	(0.0)	692
	2015年	45	(6.1)	323	(43.9)	358	(48.6)	10	(1.4)	0	(0.0)	736
大腸	2013年	22	(3.1)	394	(56.3)	258	(36.9)	25	(3.6)	--	--	700
	2014年	22	(3.1)	379	(52.9)	280	(39.1)	35	(4.9)	0	(0.0)	716
	2015年	20	(2.9)	398	(56.9)	251	(35.9)	30	(4.3)	0	(0.0)	699
肝臓	2013年	22	(9.5)	126	(54.3)	60	(25.9)	24	(10.3)	0	(0.0)	232
	2014年	17	(7.4)	129	(56.3)	65	(28.4)	18	(7.9)	0	(0.0)	229
	2015年	27	(14.0)	105	(54.4)	44	(22.8)	17	(8.8)	0	(0.0)	193
肺	2013年	80	(13.6)	410	(69.7)	58	(9.9)	40	(6.8)	0	(0.0)	588
	2014年	69	(11.3)	461	(75.8)	46	(7.6)	32	(5.3)	0	(0.0)	608
	2015年	70	(11.9)	448	(76.3)	31	(5.3)	37	(6.3)	--	--	587
乳房	2013年	25	(4.9)	260	(50.7)	101	(19.7)	127	(24.8)	0	(0.0)	513
	2014年	16	(3.9)	233	(56.4)	70	(16.9)	94	(22.8)	0	(0.0)	413
	2015年	17	(3.7)	231	(50.2)	67	(14.6)	145	(31.5)	0	(0.0)	460
前立腺	2013年	29	(9.9)	206	(70.5)	32	(11.0)	25	(8.6)	0	(0.0)	292
	2014年	45	(12.3)	237	(64.9)	63	(17.3)	20	(5.5)	0	(0.0)	365
	2015年	33	(8.7)	245	(64.8)	60	(15.9)	40	(10.6)	0	(0.0)	378

※大腸は結腸と直腸の合計



## 5. 来院経路

※症例区分2・3のみを集計

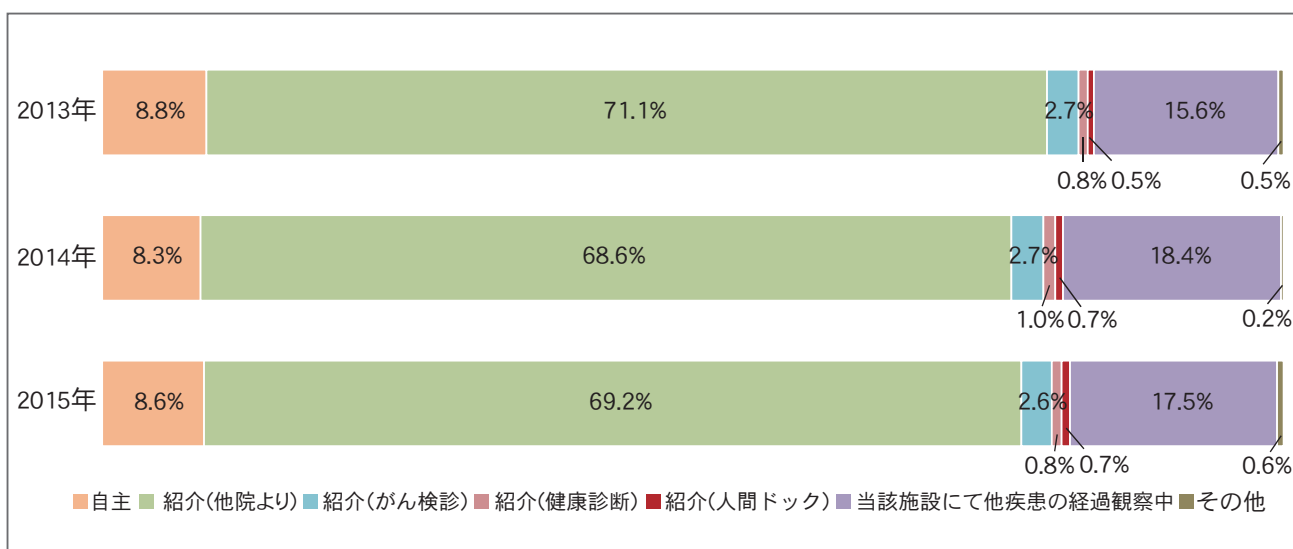
来院経路は、患者がどのような経路を経て自施設を受診したかを把握し、地域においてどのような機能を担っているのかを、他の医療機関との関係から推察する項目です。

全部位では他院からの紹介により受診した割合が最も大きく、2013年は71.1%、2014年は68.6%、2015年は69.2%となっています。

部位別では、自主来院の割合が乳房で最も高く、肝臓、肺では低い傾向にあります。

### 5-1. 来院経路 全部位

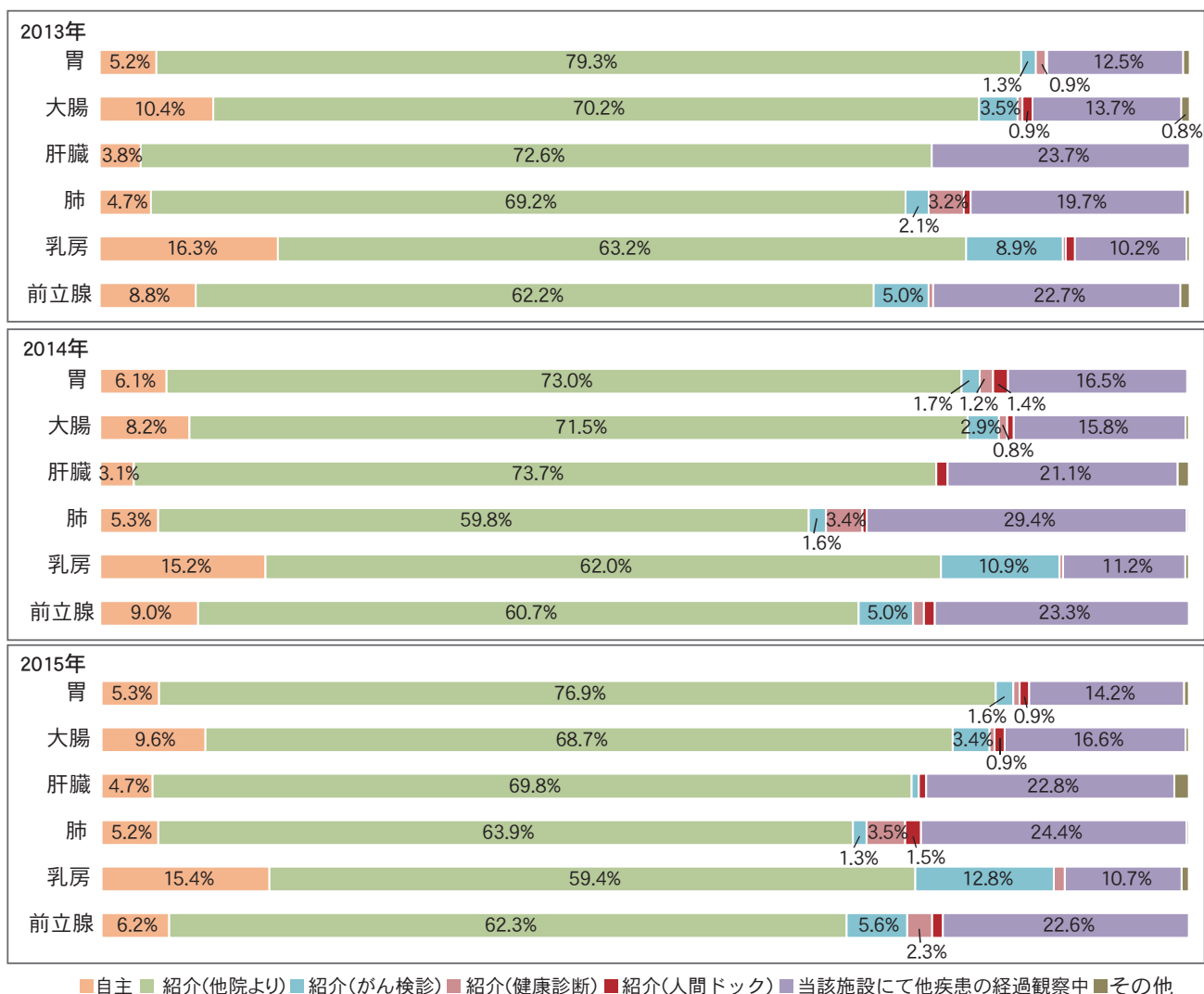
	自主	紹介 (他院より)	紹介 (がん検診)	紹介 (健康診断)	紹介 (人間ドック)	当該施設にて他疾患の経過観察中	剖検にて	その他	総計
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数
2013年	387 (8.8)	3,118 (71.1)	117 (2.7)	34 (0.8)	23 (0.5)	684 (15.6)	0 (0.0)	20 (0.5)	4,383
2014年	369 (8.3)	3,043 (68.6)	120 (2.7)	45 (1.0)	29 (0.7)	818 (18.4)	0 (0.0)	10 (0.2)	4,434
2015年	385 (8.6)	3,091 (69.2)	115 (2.6)	37 (0.8)	32 (0.7)	783 (17.5)	0 (0.0)	25 (0.6)	4,468



## 5-2. 来院経路 部位別

		自主	紹介 (他院より)	紹介 (がん検診)	紹介 (健康診断)	紹介 (人間ドック)	当該施設にて他疾患の経過観察中	剖検にて	その他	総計
		件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数
胃	2013年	35 (5.2)	534 (79.3)	9 (1.3)	6 (0.9)	-- --	84 (12.5)	0 (0.0)	-- --	673
	2014年	40 (6.1)	479 (73.0)	11 (1.7)	8 (1.2)	9 (1.4)	108 (16.5)	0 (0.0)	-- --	656
	2015年	36 (5.3)	524 (76.9)	11 (1.6)	-- --	6 (0.9)	97 (14.2)	0 (0.0)	-- --	681
大腸	2013年	68 (10.4)	458 (70.2)	23 (3.5)	-- --	6 (0.9)	89 (13.7)	0 (0.0)	5 (0.8)	652
	2014年	54 (8.2)	471 (71.5)	19 (2.9)	5 (0.8)	-- --	104 (15.8)	0 (0.0)	-- --	659
	2015年	62 (9.6)	446 (68.7)	22 (3.4)	-- --	6 (0.9)	108 (16.6)	0 (0.0)	-- --	649
肝臓	2013年	7 (3.8)	135 (72.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	44 (23.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	186
	2014年	6 (3.1)	143 (73.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	-- --	41 (21.1)	0 (0.0)	-- --	194
	2015年	7 (4.7)	104 (69.8)	-- --	0 (0.0)	-- --	34 (22.8)	0 (0.0)	-- --	149
肺	2013年	22 (4.7)	324 (69.2)	10 (2.1)	15 (3.2)	-- --	92 (19.7)	0 (0.0)	-- --	468
	2014年	27 (5.3)	303 (59.8)	8 (1.6)	17 (3.4)	-- --	149 (29.4)	0 (0.0)	-- --	507
	2015年	25 (5.2)	306 (63.9)	6 (1.3)	17 (3.5)	7 (1.5)	117 (24.4)	0 (0.0)	-- --	479
乳房	2013年	59 (16.3)	228 (63.2)	32 (8.9)	-- --	-- --	37 (10.2)	0 (0.0)	-- --	361
	2014年	46 (15.2)	188 (62.0)	33 (10.9)	-- --	0 (0.0)	34 (11.2)	0 (0.0)	-- --	303
	2015年	46 (15.4)	177 (59.4)	38 (12.8)	-- --	0 (0.0)	32 (10.7)	0 (0.0)	-- --	298
前立腺	2013年	21 (8.8)	148 (62.2)	12 (5.0)	-- --	0 (0.0)	54 (22.7)	0 (0.0)	-- --	238
	2014年	27 (9.0)	182 (60.7)	15 (5.0)	-- --	-- --	70 (23.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	300
	2015年	19 (6.2)	190 (62.3)	17 (5.6)	7 (2.3)	-- --	69 (22.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	305

※大腸は結腸と直腸の合計



## 6. 発見経緯

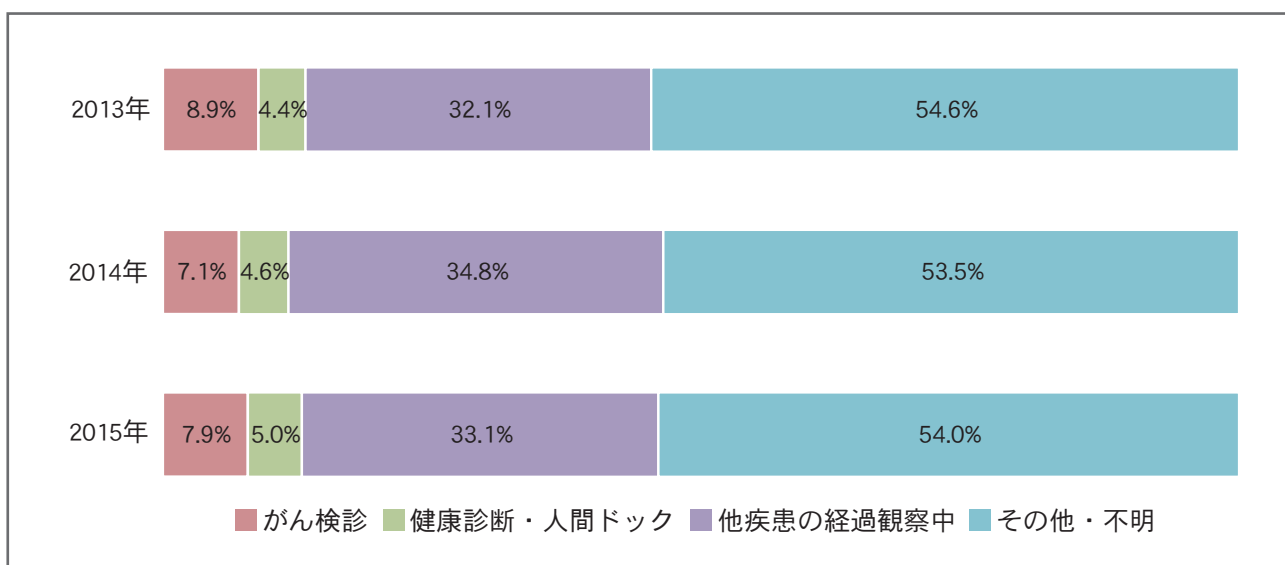
※症例区分2・3のみを集計

発見経緯は、来院経路とは異なり、当該腫瘍が診断される発端となった状況を把握するための項目です。全部位では、発見経緯「がん検診・健康診断・人間ドック」の登録患者の割合は、2013年は13.3%、2014年は11.7%、2015年は12.9%であり、2014年の全国の都道府県別平均15.6%と比べ低い傾向にあります。

部位別では、がん検診・健康診断・人間ドックの割合が胃・大腸・肺・乳房・前立腺で高く、他疾患の経過観察中の割合は肝臓で高くなっています。

### 6-1. 発見経緯 全部位

	がん検診	健康診断・人間ドック	他疾患の経過観察中	剖検発見	その他・不明	総計
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数
2013年	390 (8.9)	191 (4.4)	1,408 (32.1)	0 (0.0)	2,394 (54.6)	4,383
2014年	314 (7.1)	204 (4.6)	1,544 (34.8)	0 (0.0)	2,372 (53.5)	4,434
2015年	353 (7.9)	224 (5.0)	1,480 (33.1)	0 (0.0)	2,411 (54.0)	4,468



※「がん検診・健康診断・人間ドック」の登録患者の割合

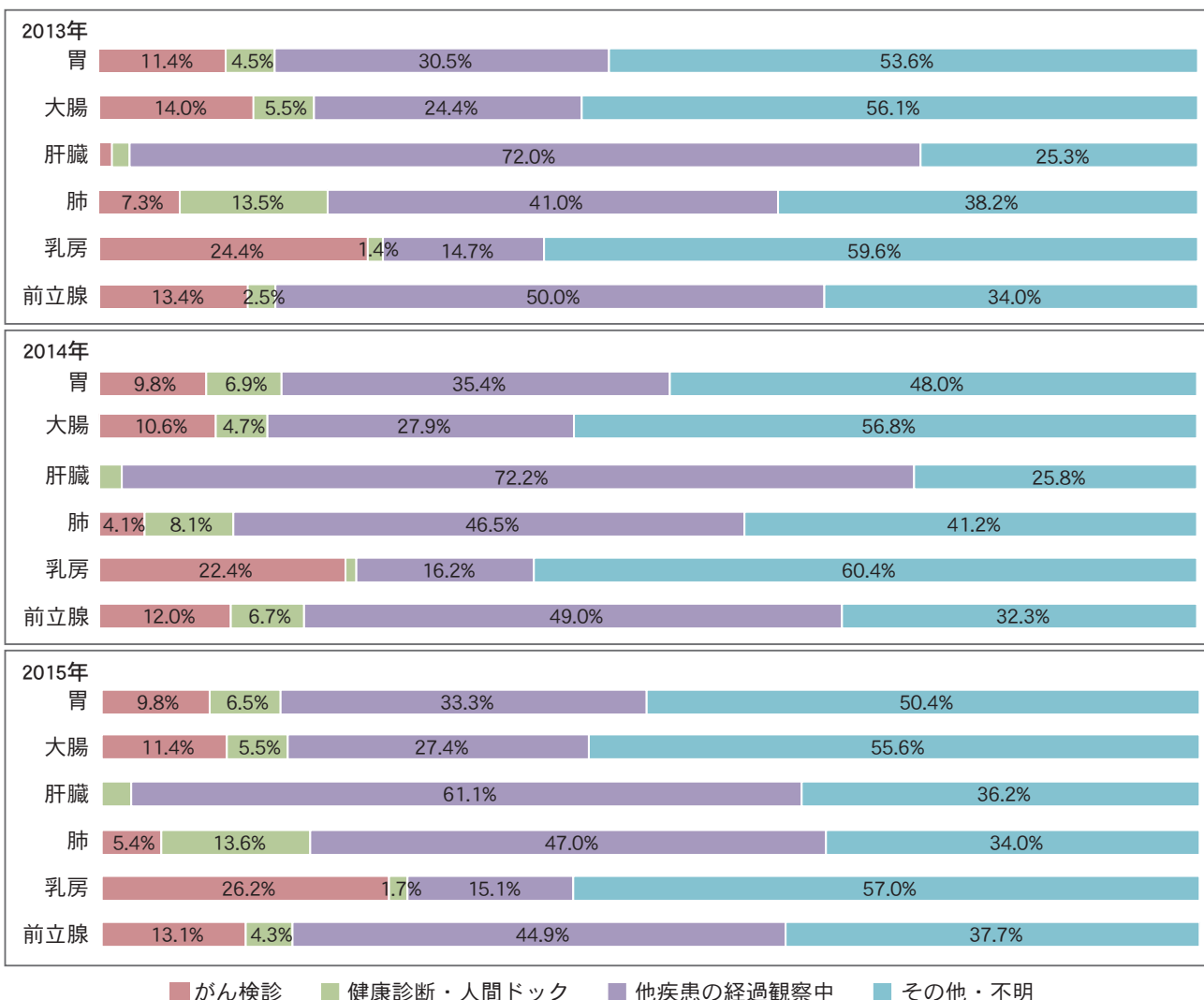
	高知	都道府県の平均
2013年	13.3%	15.8%
2014年	11.7%	15.6%
2015年	12.9%	15.6%



## 6-2. 発見経緯 部位別

	がん検診	健康診断・ 人間ドック	他疾患の 経過観察中	剖検発見	その他・不明	総計	
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数	
胃	2013年	77 (11.4)	30 (4.5)	205 (30.5)	0 (0.0)	361 (53.6)	673
	2014年	64 (9.8)	45 (6.9)	232 (35.4)	0 (0.0)	315 (48.0)	656
	2015年	67 (9.8)	44 (6.5)	227 (33.3)	0 (0.0)	343 (50.4)	681
大腸	2013年	91 (14.0)	36 (5.5)	159 (24.4)	0 (0.0)	366 (56.1)	652
	2014年	70 (10.6)	31 (4.7)	184 (27.9)	0 (0.0)	374 (56.8)	659
	2015年	74 (11.4)	36 (5.5)	178 (27.4)	0 (0.0)	361 (55.6)	649
肝臓	2013年	-- --	-- --	134 (72.0)	0 (0.0)	47 (25.3)	186
	2014年	0 (0.0)	-- --	140 (72.2)	0 (0.0)	50 (25.8)	194
	2015年	0 (0.0)	-- --	91 (61.1)	0 (0.0)	54 (36.2)	149
肺	2013年	34 (7.3)	63 (13.5)	192 (41.0)	0 (0.0)	179 (38.2)	468
	2014年	21 (4.1)	41 (8.1)	236 (46.5)	0 (0.0)	209 (41.2)	507
	2015年	26 (5.4)	65 (13.6)	225 (47.0)	0 (0.0)	163 (34.0)	479
乳房	2013年	88 (24.4)	5 (1.4)	53 (14.7)	0 (0.0)	215 (59.6)	361
	2014年	68 (22.4)	-- --	49 (16.2)	0 (0.0)	183 (60.4)	303
	2015年	78 (26.2)	5 (1.7)	45 (15.1)	0 (0.0)	170 (57.0)	298
前立腺	2013年	32 (13.4)	6 (2.5)	119 (50.0)	0 (0.0)	81 (34.0)	238
	2014年	36 (12.0)	20 (6.7)	147 (49.0)	0 (0.0)	97 (32.3)	300
	2015年	40 (13.1)	13 (4.3)	137 (44.9)	0 (0.0)	115 (37.7)	305

※大腸は結腸と直腸の合計



## 7. 部位

※症例区分2・3のみを集計

5大がんと前立腺については、部位別の登録数と登録割合に、3年間を通しての一定の傾向はありませんでした。また、3年間を通じて、登録数1位が胃、2位が肺、3位が結腸となっています。結腸・直腸の合計を大腸とした場合は、2014年の登録数1位は大腸となっています。

### 7-1. 部位別登録数と割合

診断年	2013年		2014年		2015年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
口腔・咽頭	132	(3.0)	132	(3.0)	122	(2.7)
食道	135	(3.1)	152	(3.4)	155	(3.5)
胃	673	(15.4)	656	(14.8)	681	(15.2)
結腸	424	(9.7)	449	(10.1)	407	(9.1)
直腸	228	(5.2)	210	(4.7)	242	(5.4)
肝臓	186	(4.2)	194	(4.4)	149	(3.3)
胆嚢・胆管	110	(2.5)	89	(2.0)	98	(2.2)
膵臓	141	(3.2)	160	(3.6)	154	(3.4)
喉頭	37	(0.8)	43	(1.0)	36	(0.8)
肺	468	(10.7)	507	(11.4)	479	(10.7)
骨・軟部	24	(0.5)	21	(0.5)	19	(0.4)
皮膚(黒色腫を含む)	179	(4.1)	164	(3.7)	187	(4.2)
乳房	361	(8.2)	303	(6.8)	298	(6.7)
子宮頸部	138	(3.1)	148	(3.3)	208	(4.7)
子宮体部	58	(1.3)	71	(1.6)	79	(1.8)
子宮	--	--	0	(0.0)	--	--
卵巣	53	(1.2)	56	(1.3)	50	(1.1)
前立腺	238	(5.4)	300	(6.8)	305	(6.8)
膀胱	160	(3.7)	147	(3.3)	127	(2.8)
腎・他の尿路	117	(2.7)	106	(2.4)	118	(2.6)
脳・中枢神経系	36	(0.8)	33	(0.7)	35	(0.8)
甲状腺	63	(1.4)	71	(1.6)	83	(1.9)
悪性リンパ腫	168	(3.8)	142	(3.2)	159	(3.6)
多発性骨髄腫	23	(0.5)	30	(0.7)	23	(0.5)
白血病	57	(1.3)	60	(1.4)	51	(1.1)
その他の造血器	33	(0.8)	56	(1.3)	43	(1.0)
その他	140	(3.2)	134	(3.0)	159	(3.6)
合計	4,383		4,434		4,468	

### 7-2. 部位別登録数の上位5部位

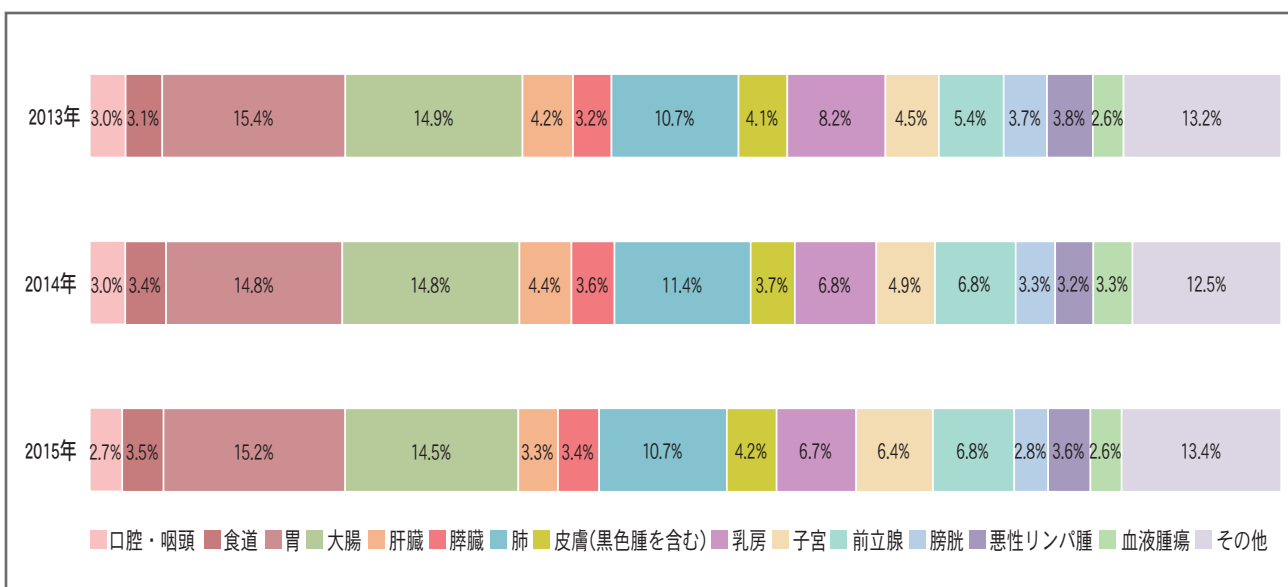
順位	2013年			2014年			2015年		
	部位名	件数	(%)	部位名	件数	(%)	部位名	件数	(%)
1	胃	673	(15.4)	胃	656	(14.8)	胃	681	(15.2)
2	肺	468	(10.7)	肺	507	(11.4)	肺	479	(10.7)
3	結腸	424	(9.7)	結腸	449	(10.1)	結腸	407	(9.1)
4	乳房	361	(8.2)	乳房	303	(6.8)	前立腺	305	(6.8)
5	前立腺	238	(5.4)	前立腺	300	(6.8)	乳房	298	(6.7)

※症例区分2・3のみを集計

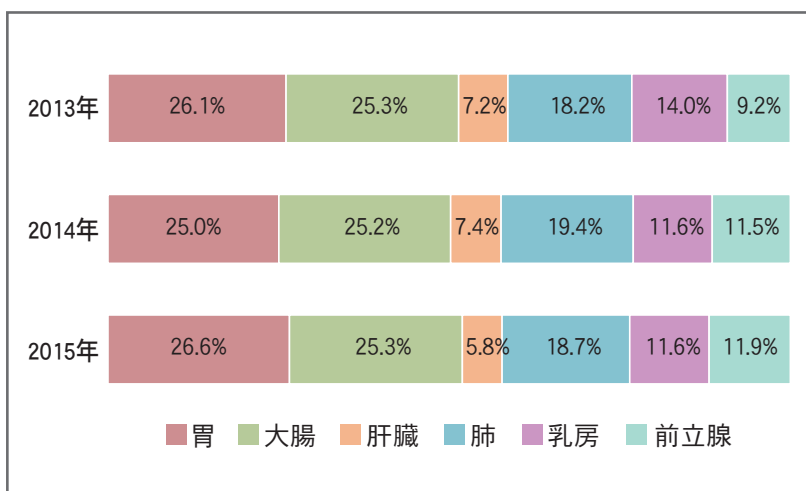
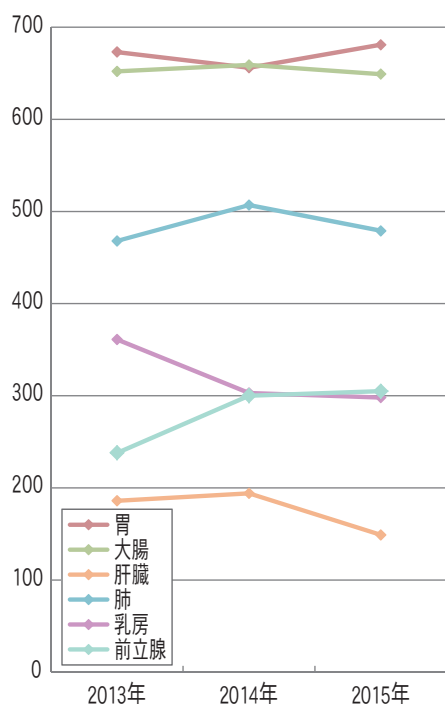
◇結腸・直腸の合計を『大腸』、子宮頸部・子宮体部・子宮の合計を『子宮』、多発性骨髄腫・白血病・その他の造血器の合計を『血液腫瘍』とした場合

順位	2013年		2014年		2015年	
	部位名	件数 (%)	部位名	件数 (%)	部位名	件数 (%)
1	胃	673 (15.4)	大腸	659 (14.8)	胃	681 (15.2)
2	大腸	652 (14.9)	胃	656 (14.8)	大腸	649 (14.5)
3	肺	468 (10.7)	肺	507 (11.4)	肺	479 (10.7)
4	乳房	361 (8.2)	乳房	303 (6.8)	前立腺	305 (6.8)
5	前立腺	238 (5.4)	前立腺	300 (6.8)	乳房	298 (6.7)

### 7-3. 部位別の割合



### 7-4. 登録数の年次推移と割合 5大がん・前立腺がん抜粋



※部位別割合は5大がん・前立腺がんの合計が100%として計算

# 8. 部位別集計

## 8-1. 胃

※症例区分2・3のみを集計

拠点病院および推進病院で登録された胃がん症例のうち、自施設で初回治療された件数は、2013年673件、2014年656件、2015年681件となっています(図8-1-1)。年齢階級別にみると、60歳以上の割合が高く、男女別では男性に多い傾向です(図8-1-2、図8-1-3)。

詳細部位別にみると、最も多い胃体部が50%以上を占めており、続いて幽門前庭部が多くなっています(図8-1-5)。

治療前ステージ別の登録割合は3年間ともにⅠ期が最も多く、主な治療法は内視鏡のみもしくは手術のみとなります。Ⅱ期では、手術もしくは内視鏡に薬物治療を併用する治療法と、手術のみ行った治療法が主となっていますが、手術もしくは内視鏡に薬物治療を併用する治療法は年々増加傾向にあります。Ⅳ期になると、薬物療法のみ行う治療法が最も多くなります(表8-1-1、図8-1-6、図8-1-8)。

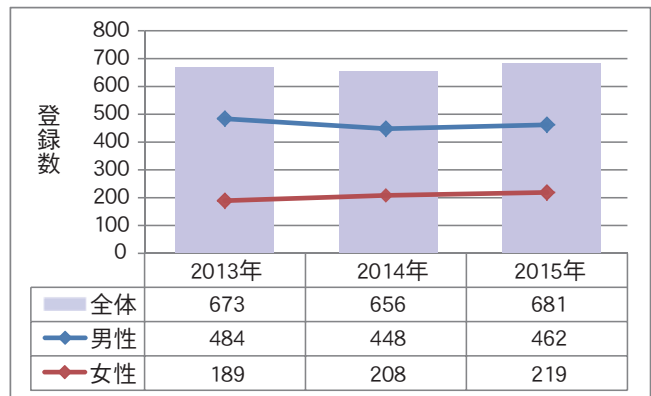


図8-1-1. 年別性別登録数

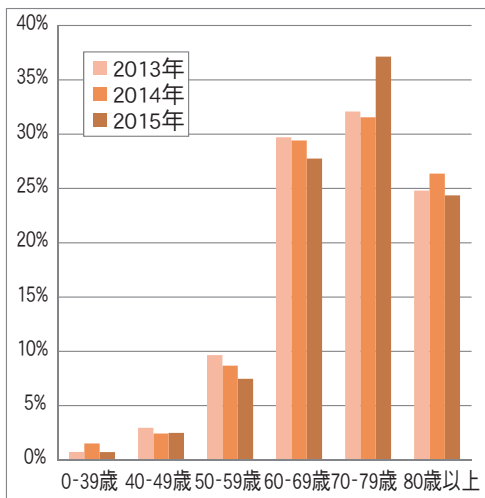


図8-1-2. 年齢階級別登録割合

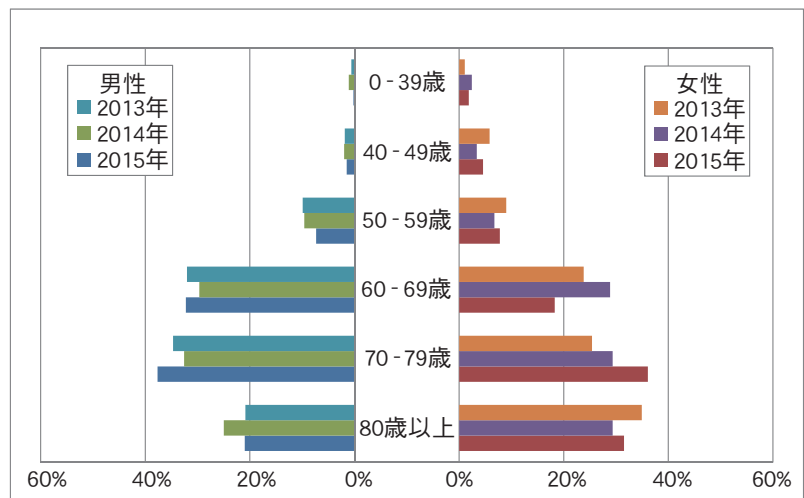


図8-1-3. 性別年齢階級別登録割合

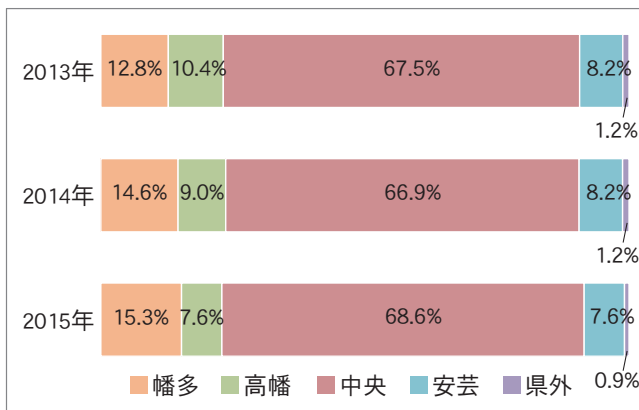


図8-1-4. 医療圏別登録割合

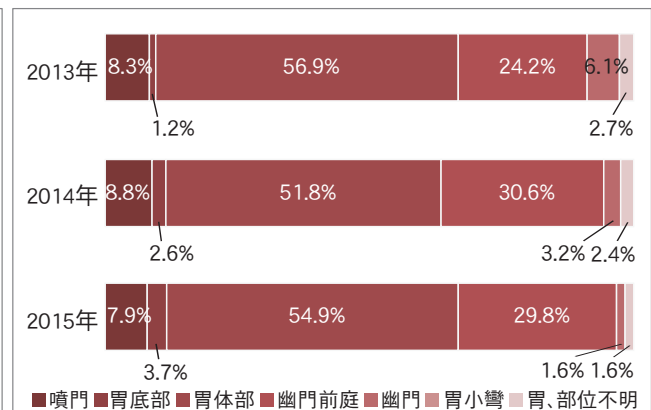


図8-1-5. 詳細部位別登録割合

※胃の0期は使用しないことが院内がん登録のルールで決められています。  
 ※治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象の定義は、2頁を参照。

表8-1-1. UICC TNM分類 治療前ステージ別登録割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄	合計
2013年	0.0%	58.4%	13.2%	9.8%	12.1%	6.4%	0.0%	652
2014年	0.0%	56.9%	11.7%	12.9%	11.3%	7.2%	0.0%	635
2015年	0.0%	61.7%	12.2%	10.8%	11.6%	3.8%	0.0%	666
2014年全国	0.0%	63.0%	10.7%	8.1%	13.7%	4.5%	0.0%	64,776

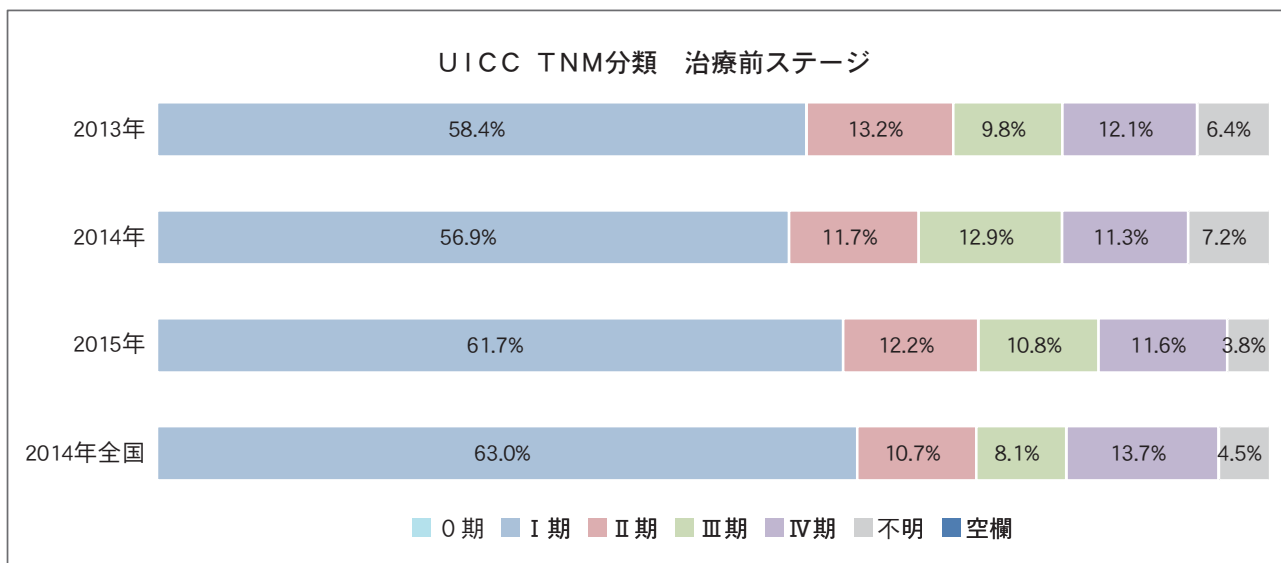


図8-1-6. UICC TNM分類 治療前ステージ別登録割合

表8-1-2. UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	術前治療後	不明	空欄	合計
2013年	0.0%	70.7%	11.1%	11.7%	6.1%	--	--	0.0%	557
2014年	0.0%	66.7%	10.7%	14.0%	7.7%	0.9%	0.0%	0.0%	544
2015年	0.0%	69.3%	9.6%	11.9%	7.0%	1.9%	--	0.0%	586
2014年全国	0.0%	74.0%	9.3%	10.0%	4.2%	2.2%	0.3%	0.0%	52,121

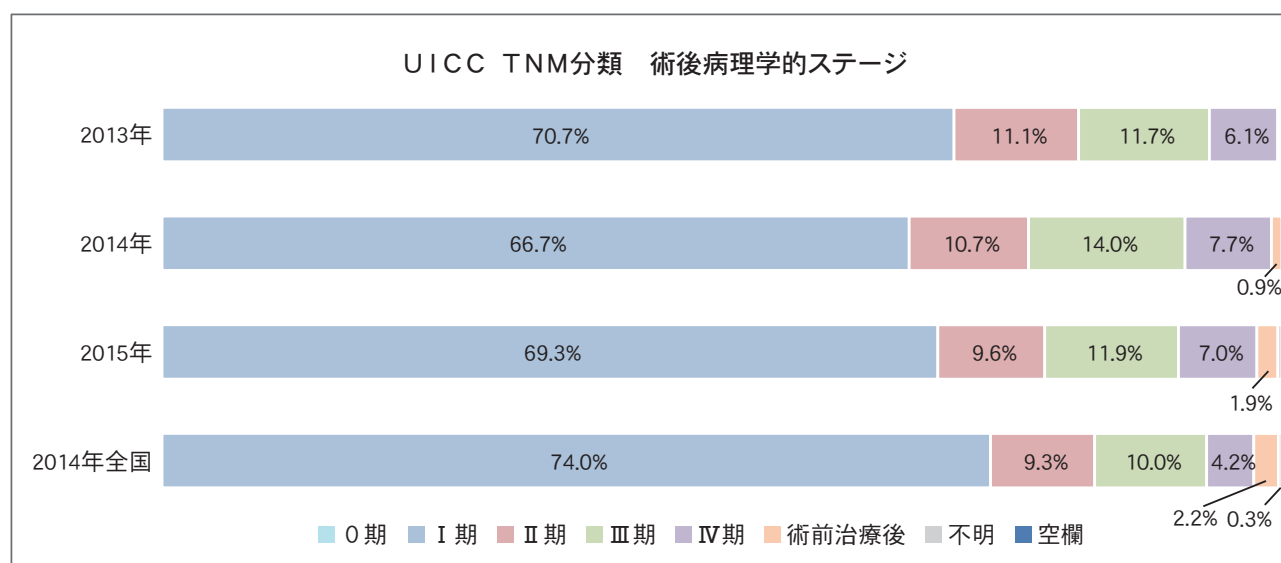


図8-1-7. UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録割合

# 8-1. 胃

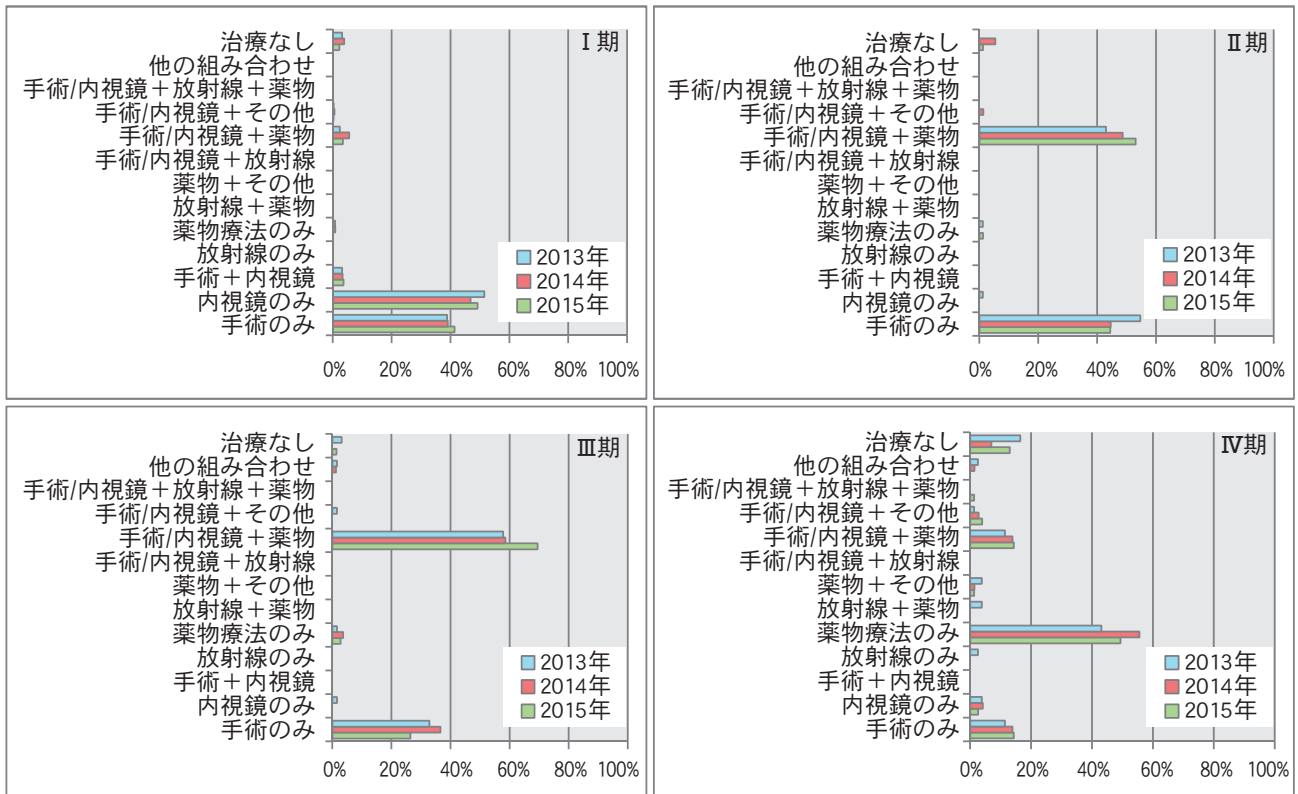


図8-1-8. UICC TNM分類 治療前ステージ別年別治療方法割合

## 8-2. 大腸

拠点病院および推進病院で登録された大腸がん症例のうち、自施設で初回治療された件数は、2013年から2015年まではほぼ変化なし、年齢階層別にみると、60歳代から70歳代の割合が大きく、性別に年齢階級別割合をみると、男性では60・70歳代が多く、女性では80歳以上が多くなっています(図8-2-1、図8-2-2、図8-2-3)。

治療前ステージ別の登録割合は、2013年以降0期からⅡ期の割合が減少、Ⅲ期・Ⅳ期の割合は増加しています(表8-2-1、図8-2-6)。治療前ステージ別の初回治療の組み合わせでは、0期では内視鏡治療のみが主な治療法で、Ⅰ期及びⅡ期においては手術のみの治療が主な治療法となっています。Ⅲ期では手術のみの治療法に続き切除後に薬物療法を加える治療法が多くなっています。Ⅳ期では治療法にばらつきがありますが、切除後に薬物療法を加えた治療方法が主な治療方法となっています(図8-2-8)。

※症例区分2・3のみを集計

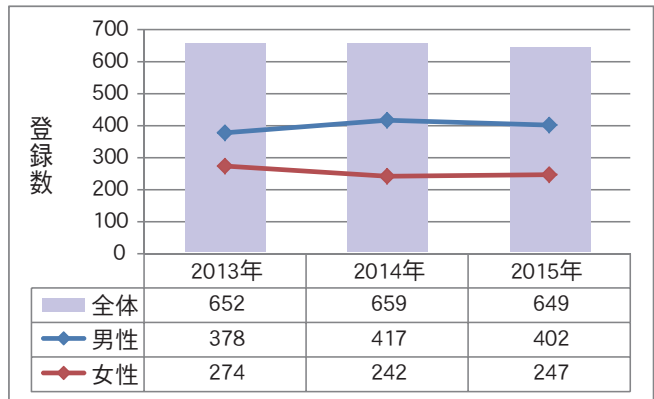


図8-2-1. 年別性別登録数

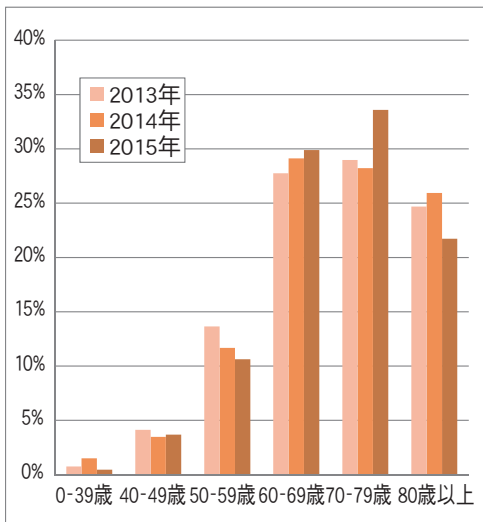


図8-2-2. 年齢階級別登録割合

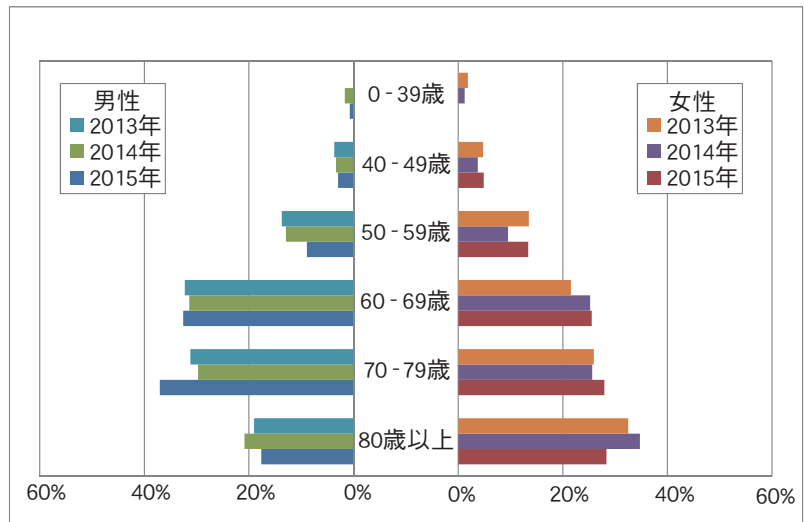


図8-2-3. 性別年齢階級別登録割合

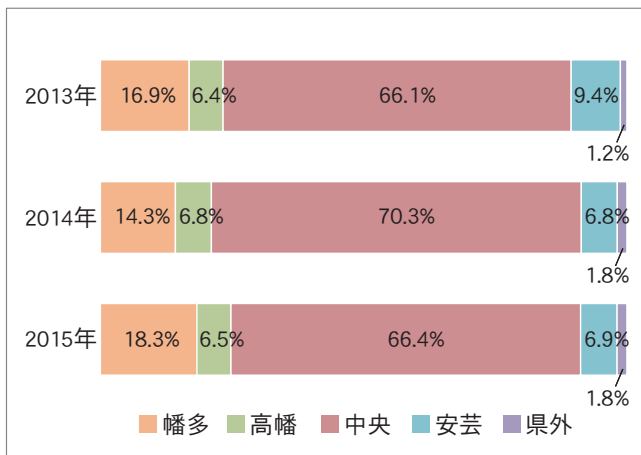


図8-2-4. 医療圏別登録割合

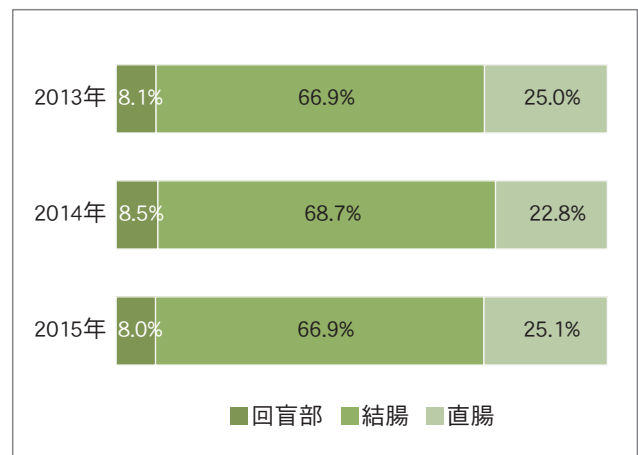


図8-2-5. 詳細部位別登録割合

## 8-2. 大腸

※治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象の定義は、2頁を参照。

表8-2-1. UICC TNM分類 治療前ステージ別登録割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄	合計
2013年	7.2%	20.6%	21.2%	23.4%	12.3%	15.4%	0.0%	642
2014年	6.5%	21.0%	21.5%	21.5%	13.3%	16.4%	0.0%	648
2015年	6.1%	17.1%	18.7%	23.6%	14.6%	19.8%	0.0%	636
2014年全国	14.3%	20.6%	15.9%	17.8%	13.3%	18.1%	0.0%	81,193

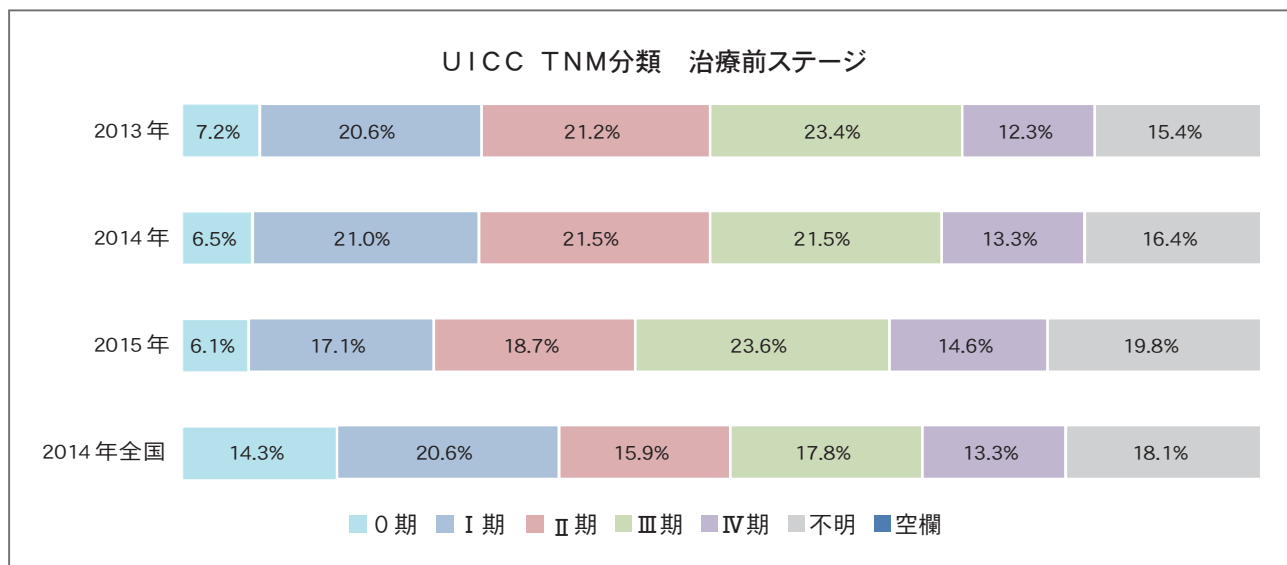


図8-2-6. UICC TNM分類 治療前ステージ別登録割合

表8-2-2. UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	術前治療後	不明	空欄	合計
2013年	18.4%	23.2%	23.8%	23.8%	9.5%	1.2%	0.0%	0.0%	608
2014年	14.8%	22.6%	26.9%	24.2%	10.3%	1.2%	0.0%	0.0%	594
2015年	22.1%	18.6%	26.5%	18.6%	12.3%	1.9%	0.0%	0.0%	592
2014年全国	30.3%	20.5%	19.4%	18.8%	8.1%	2.6%	0.3%	0.0%	72,964

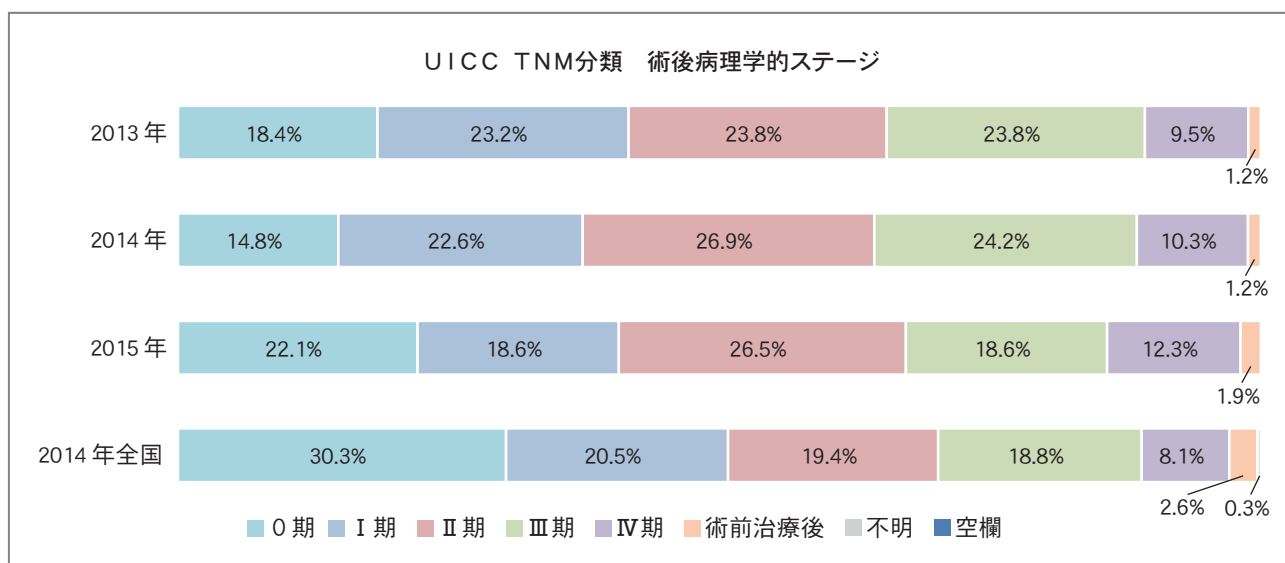


図8-2-7. UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録割合



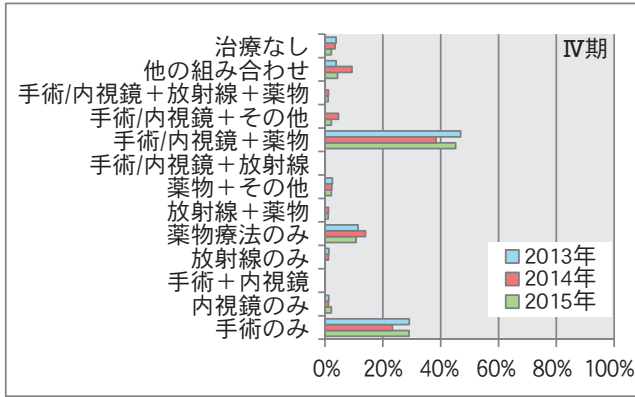
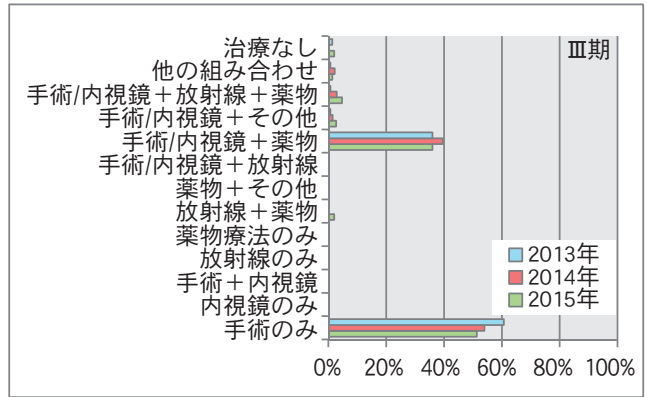
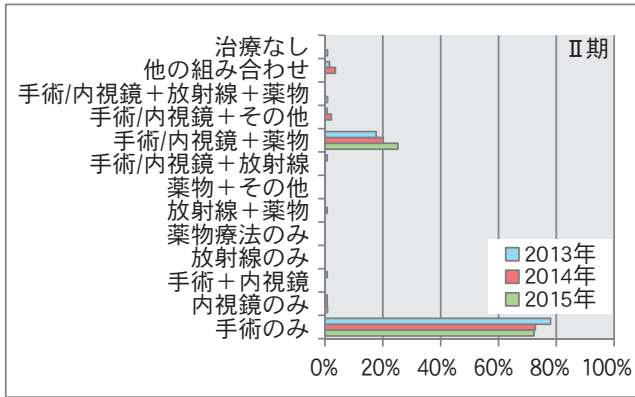
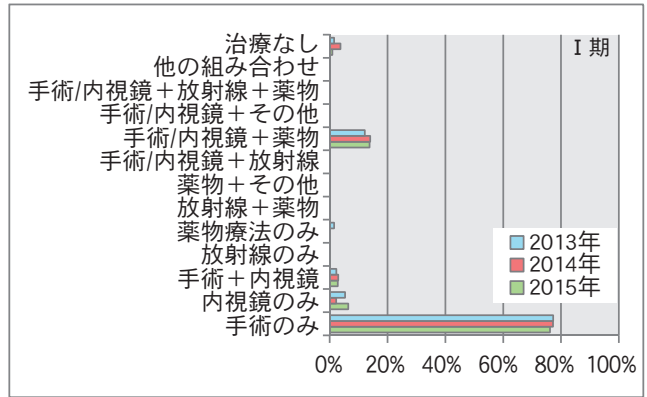
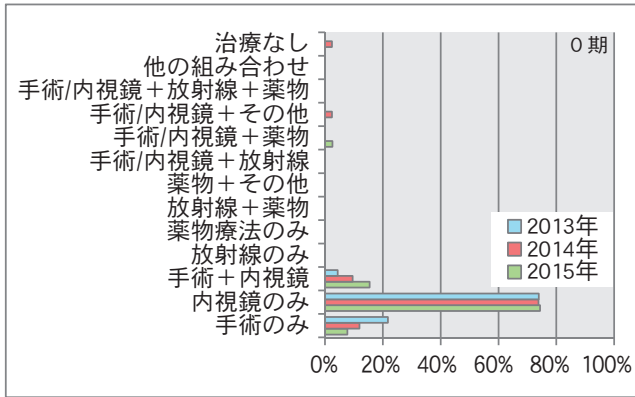


図8-2-8. UICC TNM分類 治療前ステージ別年別治療方法割合

## 8-3. 肝臓

拠点病院および推進病院で登録された肝がん症例のうち、自施設で初回治療が行われた件数は2013年186件、2014年194件、2015年149件となっています(図8-3-1)。年齢階級別にみると、70歳代の割合が高く、男女別では男性に多い傾向です(図8-3-2、図8-3-3)。

治療前ステージの登録割合は、I期が最も多く、2013年は47.6%、2014年は52.1%、2015年は42.6%です(表8-3-1、図8-3-6)。治療前ステージの組み合わせでは、ばらつきはあるものの、I期からⅢ期において薬物及びその他の治療法の組み合わせの割合が大きくなっています。Ⅳ期では、治療なしの割合も増え、さまざまな治療がされています(図8-3-9)。

※症例区分2・3のみを集計

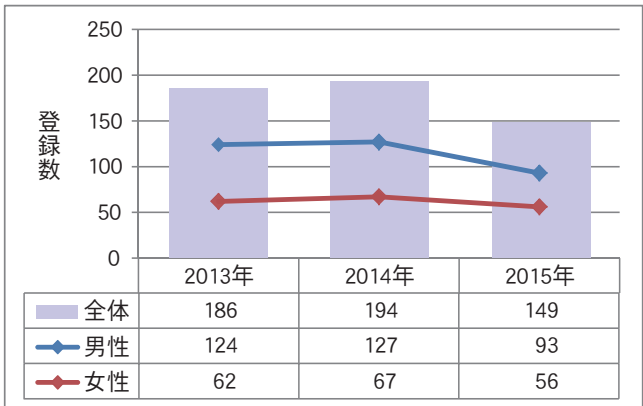


図8-3-1. 年別性別登録数

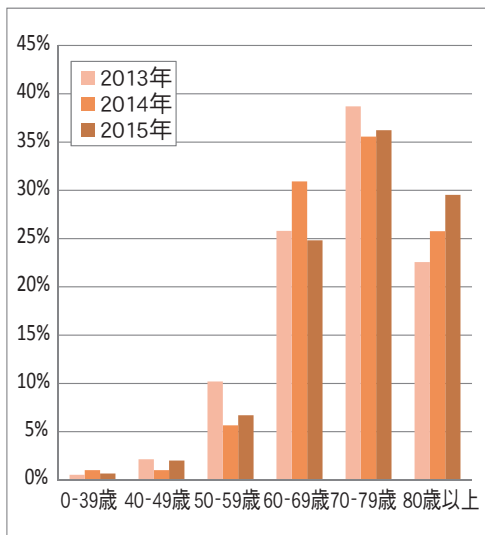


図8-3-2. 年齢階級別登録割合

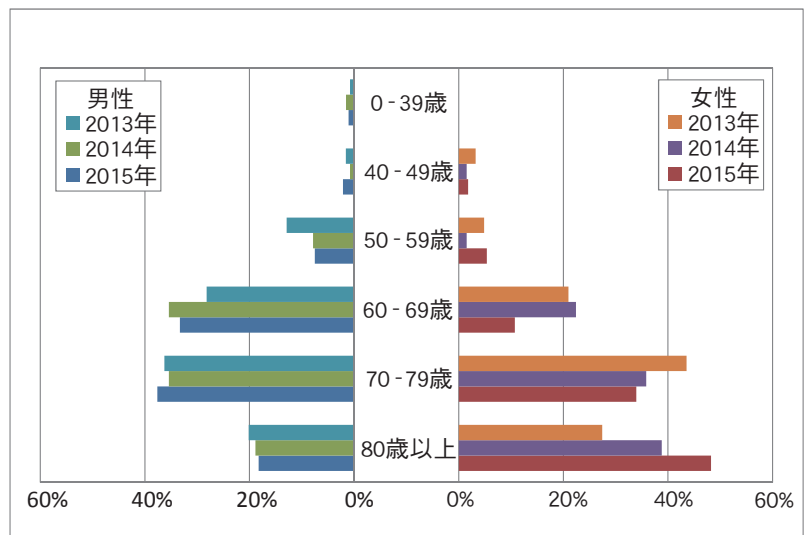


図8-3-3. 性別年齢階級別登録割合

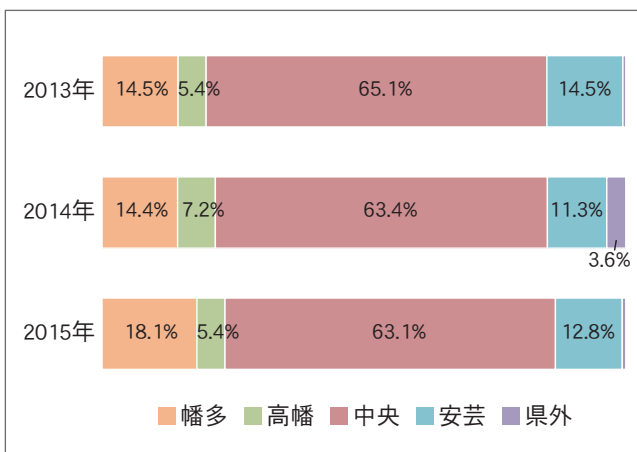


図8-3-4. 医療圏別登録割合

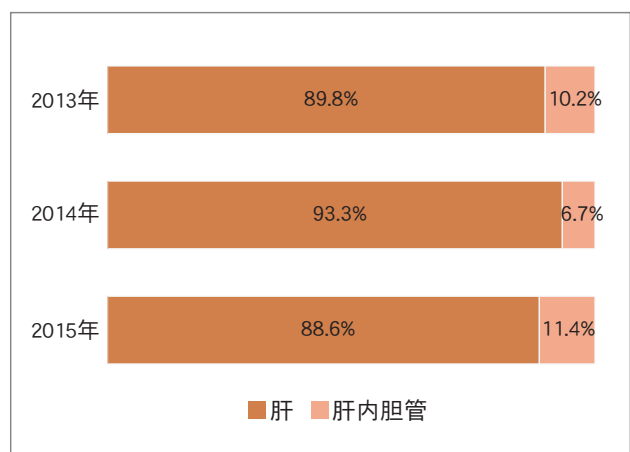


図8-3-5. 詳細部位別登録割合

※治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象の定義は、2頁を参照。

表8-3-1. UICC TNM分類 治療前ステージ別登録割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄	合計
2013年	0.0%	47.6%	19.5%	17.8%	12.4%	2.7%	0.0%	185
2014年	0.0%	52.1%	24.5%	14.6%	6.3%	2.6%	0.0%	192
2015年	0.0%	42.6%	29.1%	16.2%	10.1%	--	0.0%	148
2014年全国	0.0%	43.5%	24.4%	14.9%	13.2%	3.1%	0.8%	18,126

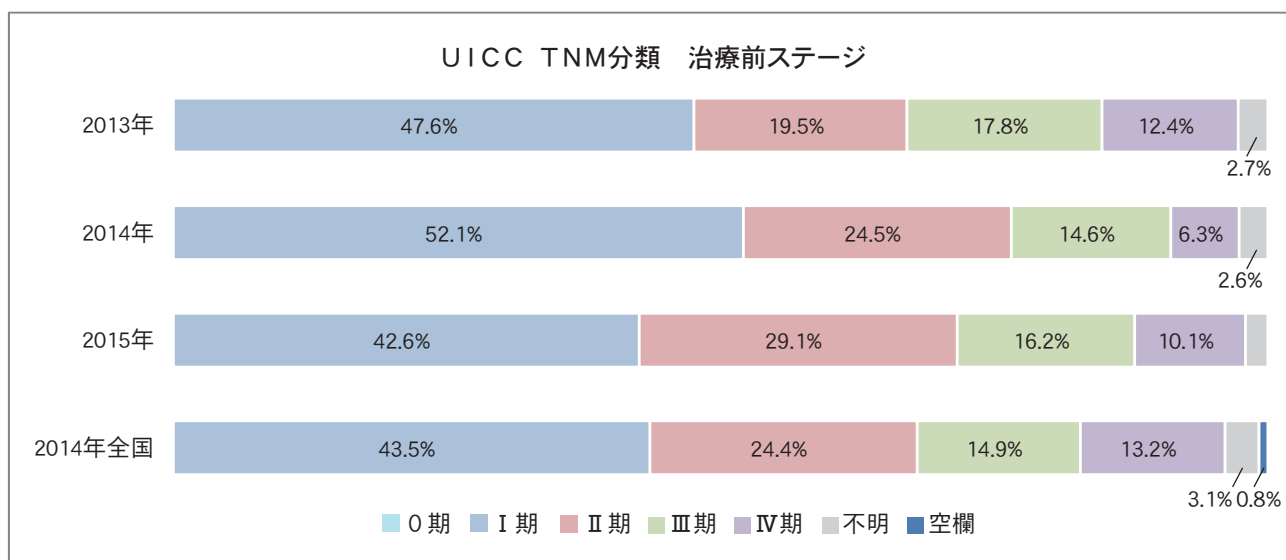


図8-3-6. UICC TNM分類 治療前ステージ別登録割合

表8-3-2. 肝癌取扱い規約分類ステージ別登録割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄	合計
2013年	0.0%	17.8%	37.8%	21.1%	20.5%	2.7%	0.0%	185
2014年	0.0%	20.8%	38.5%	22.4%	14.6%	--	1.6%	192
2015年	0.0%	14.2%	37.2%	25.7%	20.9%	--	0.0%	148
2014年全国	0.0%	19.6%	34.3%	21.7%	19.7%	3.4%	1.3%	18,126

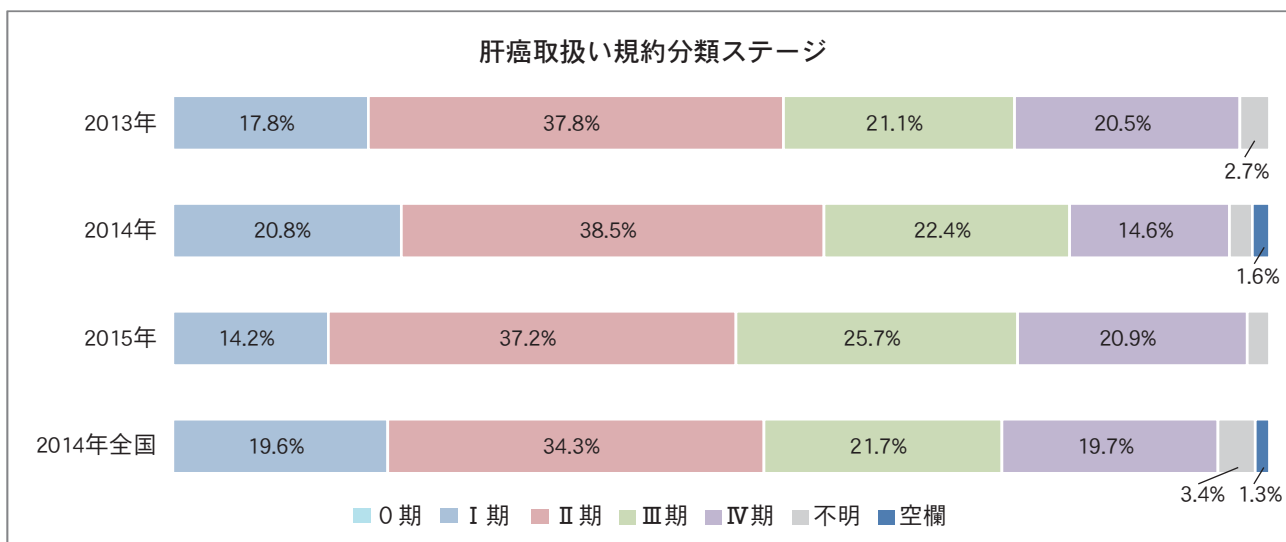


図8-3-7. 肝癌取扱い規約分類ステージ別登録割合

## 8-3. 肝臓

表8-3-3. UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	術前治療後	不明	空欄	合計
2013年	0.0%	49.1%	19.3%	14.0%	--	10.5%	0.0%	0.0%	57
2014年	0.0%	56.7%	13.3%	8.3%	--	16.7%	0.0%	0.0%	60
2015年	0.0%	46.2%	23.1%	13.5%	--	15.4%	0.0%	0.0%	52
2014年全国	0.0%	46.2%	30.2%	10.0%	5.8%	6.6%	0.5%	0.8%	5,301

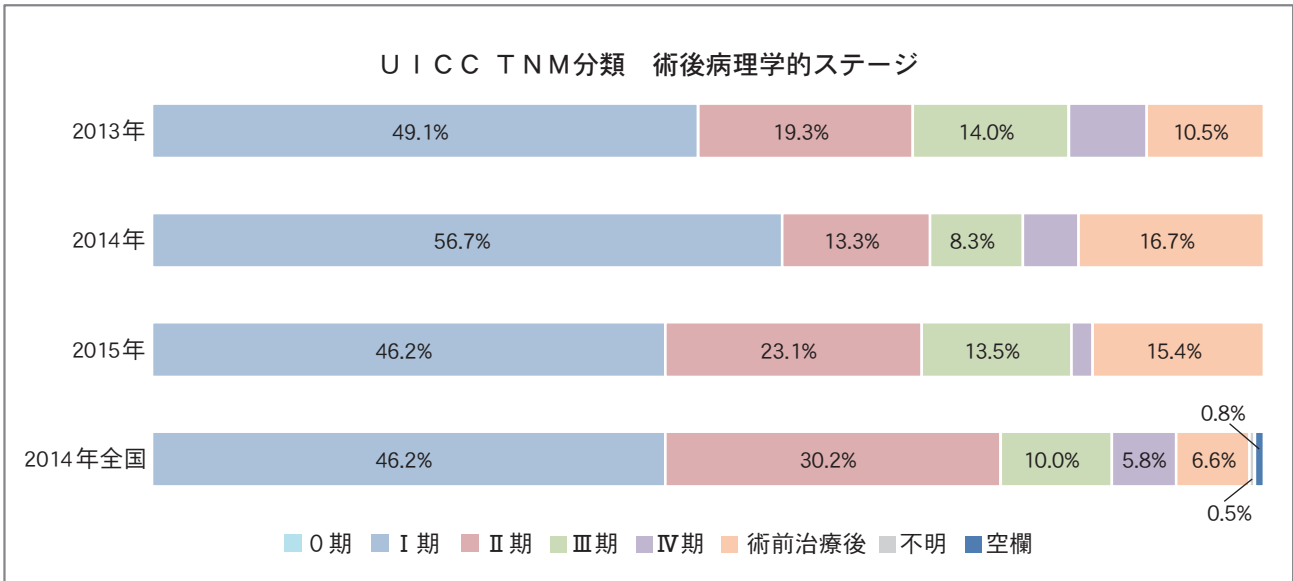


図8-3-8. UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録割合

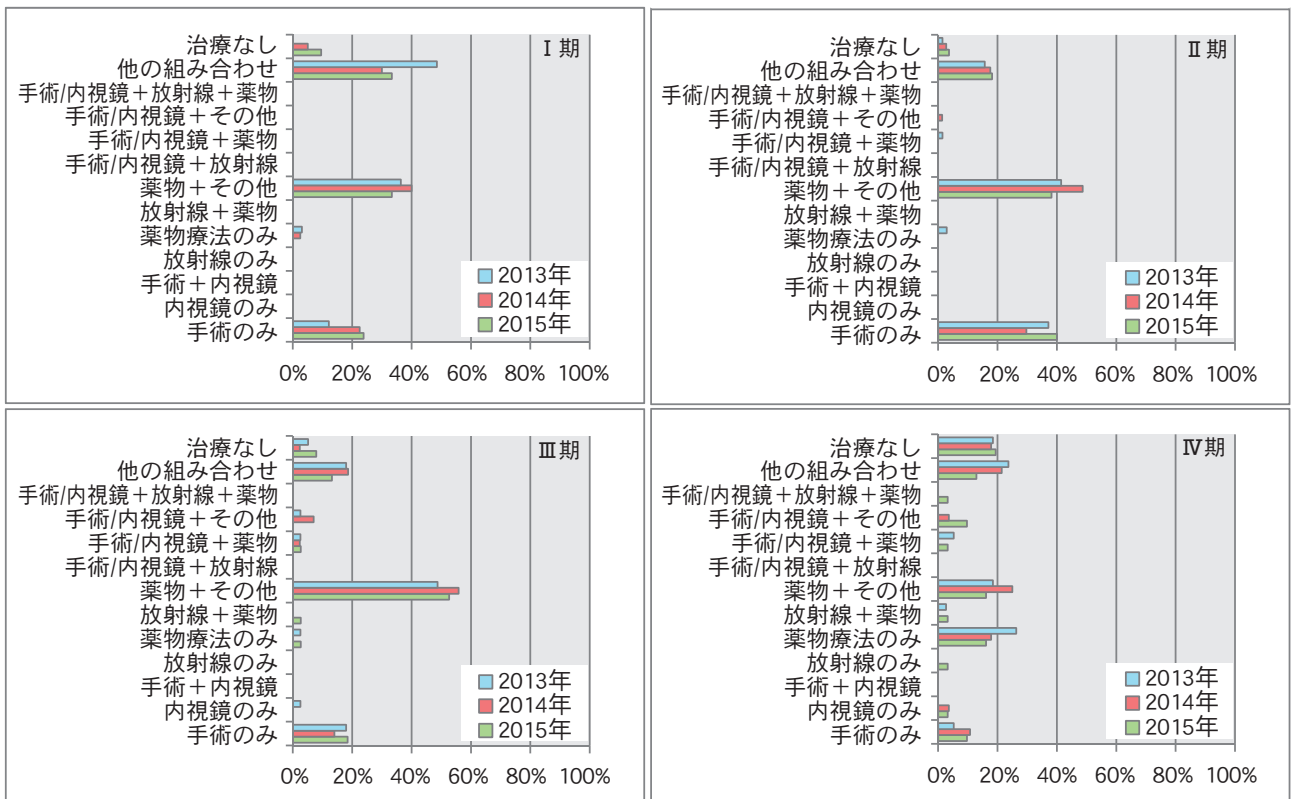


図8-3-9. 肝臓取扱い規約分類ステージ別年別治療方法割合

## 8-4. 肺

拠点病院および推進病院で登録された肺がんの登録件数は新たに診断されたものとして1,454件、男性982件（67.5%）、女性472件（32.5%）で部位別登録件数の第2位、男女比は2：1と男性が多く、性別に年齢階級別割合をみると、男女とも50歳代から増加しはじめ、60歳代で急増し、60歳代～70歳代での登録割合が多くなっています（図8-4-1、図8-4-3）。

医療圏別では、中央医療圏での登録割合が多く、詳細部位別では上葉が最も多く、ついで下葉となっています（図8-4-4、図8-4-5）。

治療前ステージは、Ⅰ期の割合が年々増加し、Ⅲ期・Ⅳ期が減少しています（表8-4-1、図8-4-6）。治療前ステージ別治療方法は、Ⅰ期・Ⅱ期では手術のみ、または手術/内視鏡+薬物が多く、Ⅲ期では手術が減少し、放射線+薬物が増加、Ⅳ期では薬物療法が治療方法の中心となっています（図8-4-8）。

※症例区分2・3のみを集計

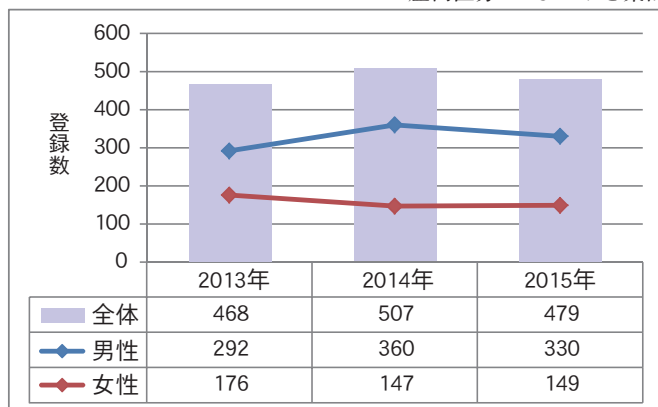


図8-4-1. 年別性別登録数

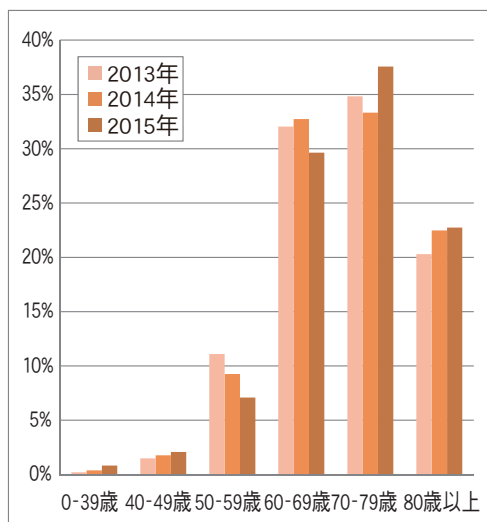


図8-4-2. 年齢階級別 登録割合

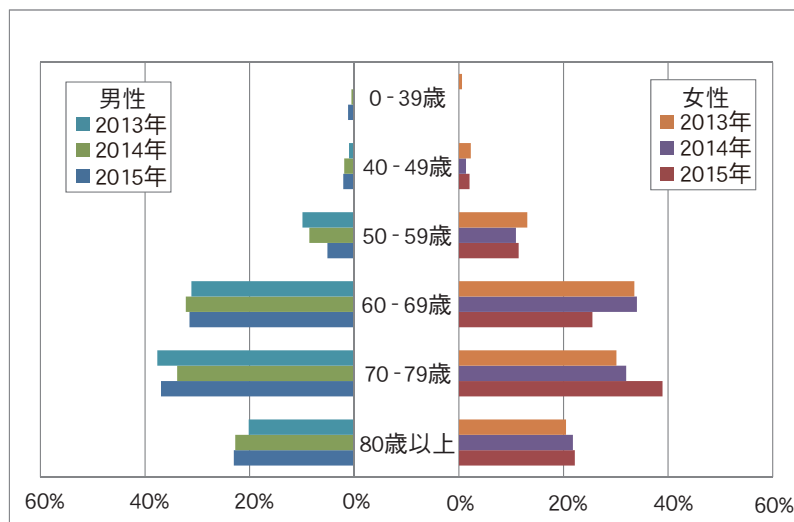


図8-4-3. 性別年齢階級別登録割合

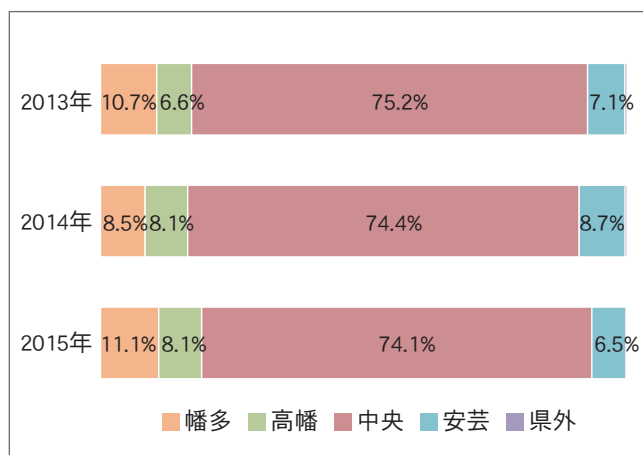


図8-4-4. 医療圏別登録割合

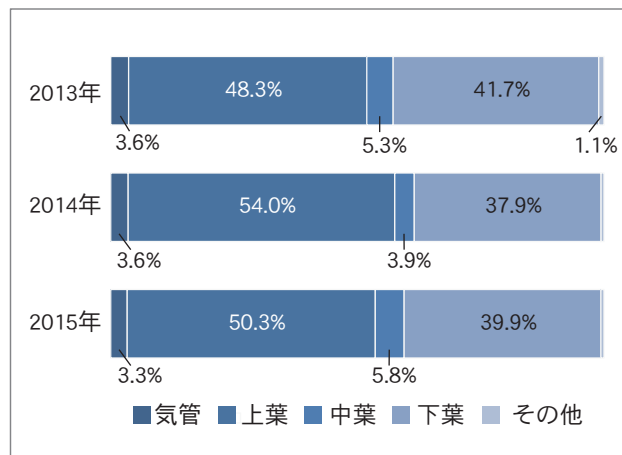


図8-4-5. 詳細部位別登録割合

## 8-4. 肺

※治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象の定義は、2頁を参照。

表8-4-1. UICC TNM分類 治療前ステージ別登録割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄	合計
2013年	0.0%	31.0%	8.4%	16.3%	31.0%	13.3%	0.0%	467
2014年	0.0%	32.0%	9.3%	16.0%	29.0%	13.8%	0.0%	507
2015年	0.0%	44.5%	7.3%	11.7%	28.8%	7.3%	--	479
2014年全国	0.1%	40.4%	8.1%	15.4%	32.1%	3.9%	0.1%	60,742

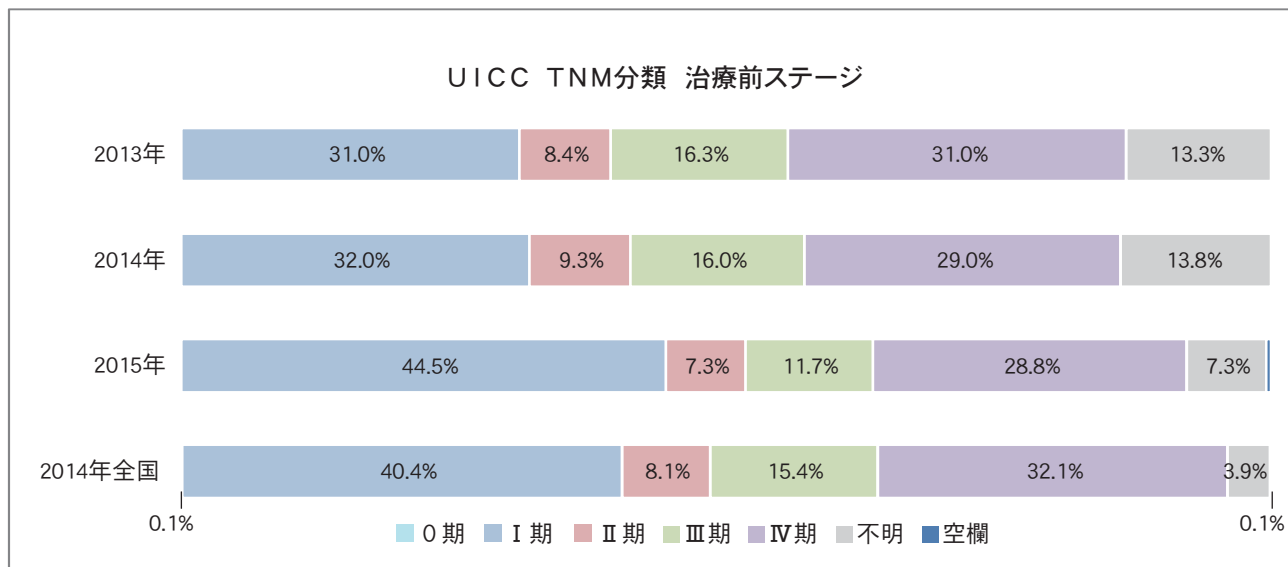


図8-4-6. UICC TNM分類 治療前ステージ別登録割合

表8-4-2. UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	術前治療後	不明	空欄	合計
2013年	0.0%	68.3%	16.1%	10.0%	2.0%	3.6%	0.0%	0.0%	249
2014年	--	64.6%	17.3%	10.8%	2.5%	4.0%	--	0.0%	277
2015年	0.0%	71.5%	14.4%	9.9%	--	2.8%	0.0%	--	284
2014年全国	0.8%	71.2%	13.5%	9.7%	2.5%	2.0%	0.3%	0.1%	27,992

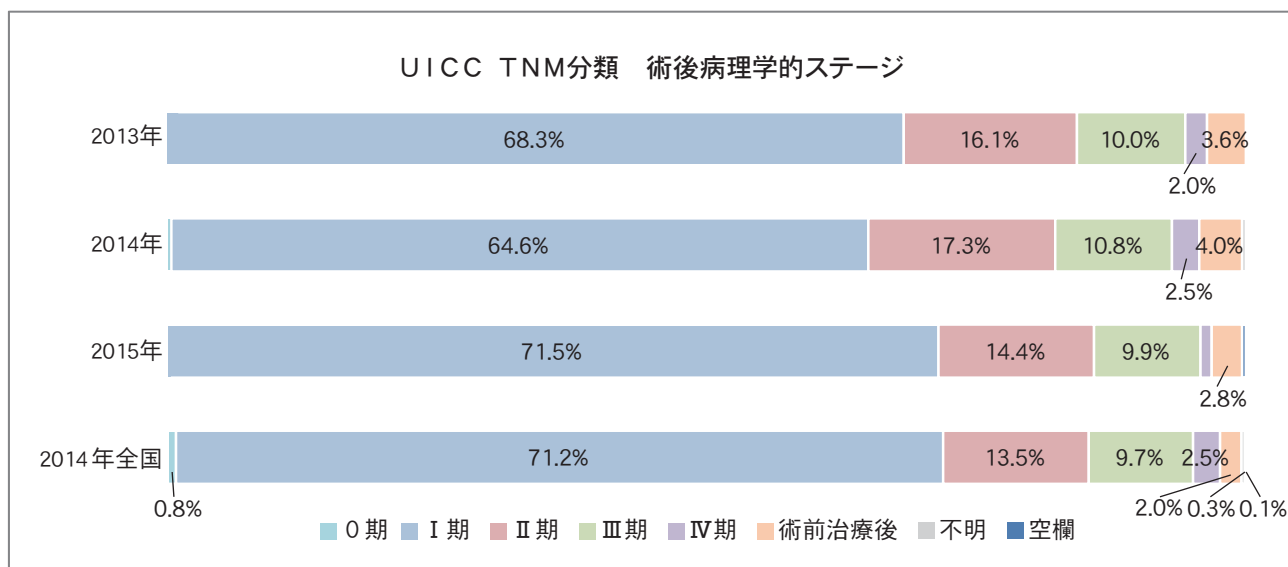


図8-4-7. UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録割合

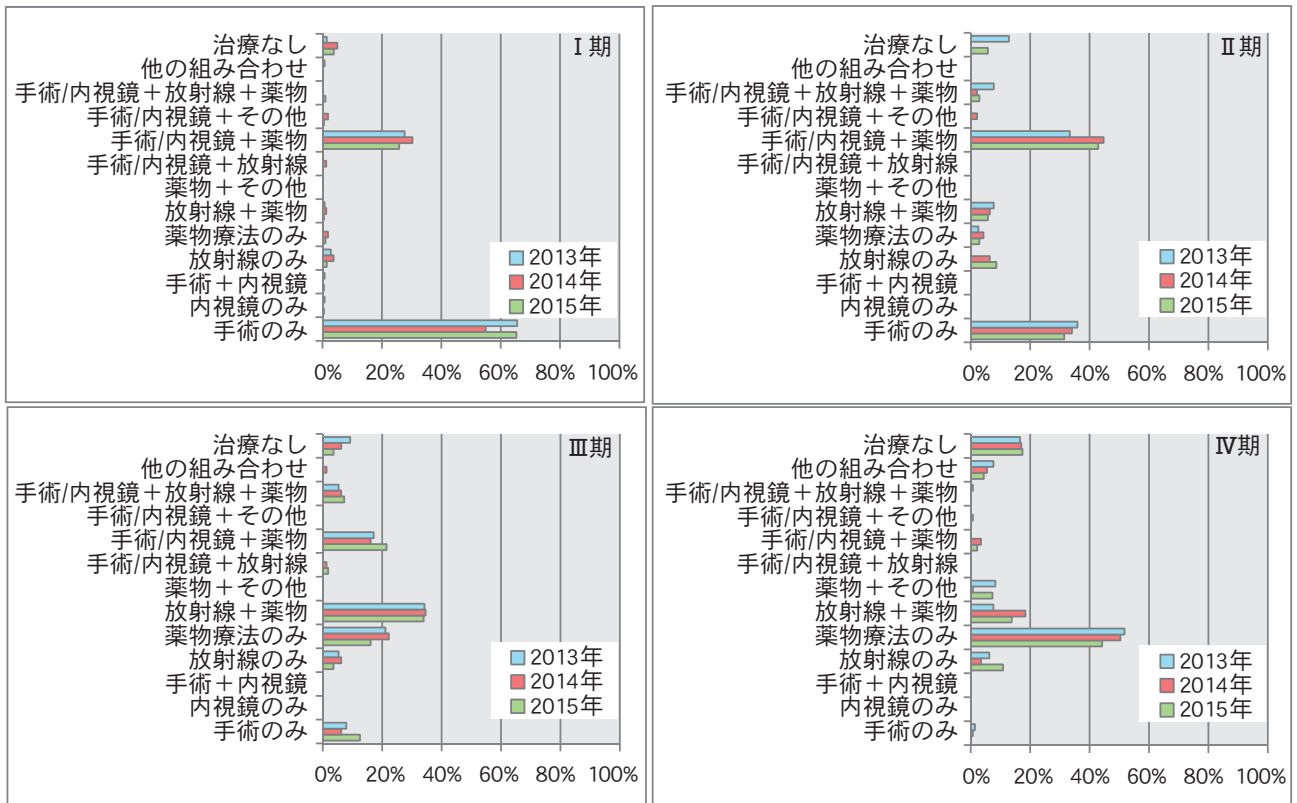


図8-4-8. UICC TNM分類 治療前ステージ別年別治療方法割合

## 8-5. 乳房

拠点病院および推進病院で登録された乳がん症例のうち、自施設で初回治療が行われた件数は2013年361件、2014年303件、2015年298件となっています(図8-5-1)。年齢階級別にみると、3年間とも60歳代の割合が最も高くなっていますが、他の部位に比べると、40歳代と50歳代の割合が高いことがわかります(図8-5-2)。

詳細部位の割合は、3年間とも上外側乳房(C)が最も多く、2番目に上内側乳房(A)となっています(図8-5-5)。

治療前ステージ別の登録割合は、0期からⅡ期が3年間とも約80%を占め、2013年から2015年ではⅠ期で減少傾向、Ⅲ期で増加傾向が認められます(表8-5-1、図8-5-6)。治療前ステージ別の初回治療の組み合わせでは、0期では手術のみが主たる治療となり、Ⅰ期からⅡ期では手術併用療法が主たる治療となっていますが、Ⅲ期より薬物療法のみが増加し、Ⅳ期では薬物療法のみが主たる治療となっています(図8-5-8)。

※症例区分2・3のみを集計

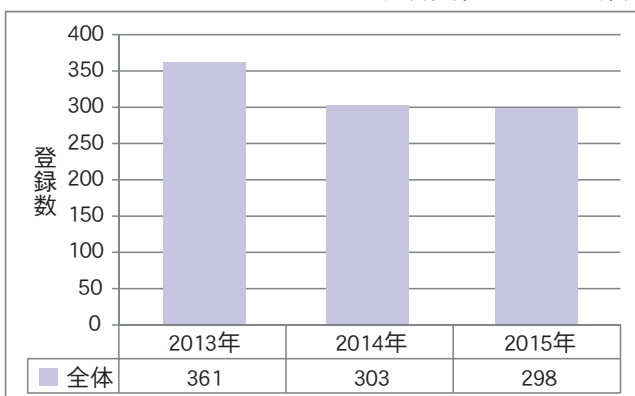


図8-5-1. 年別登録数

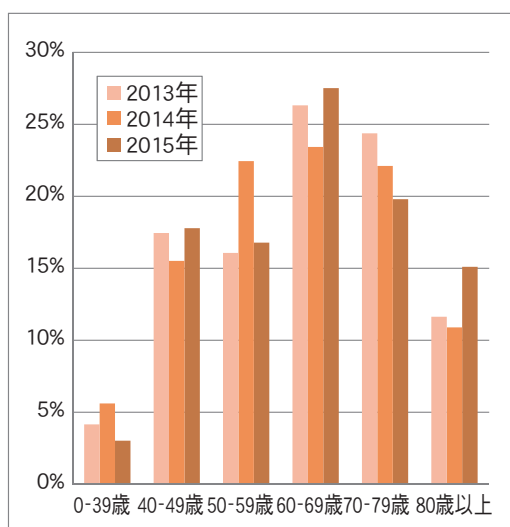


図8-5-2. 年齢階級別登録割合

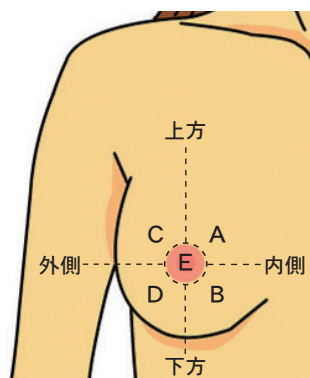


図8-5-3. 乳房の詳細部位

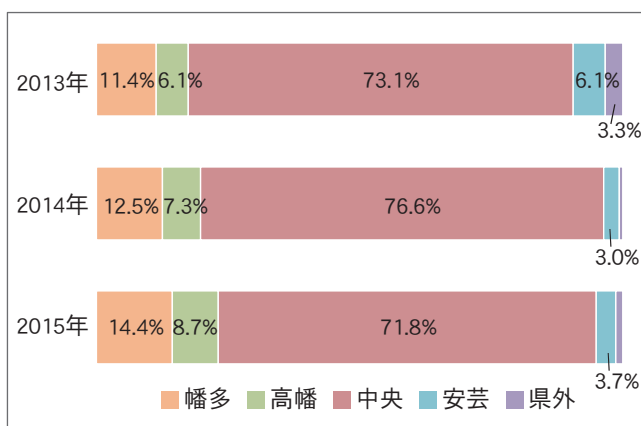


図8-5-4. 医療圏別登録割合

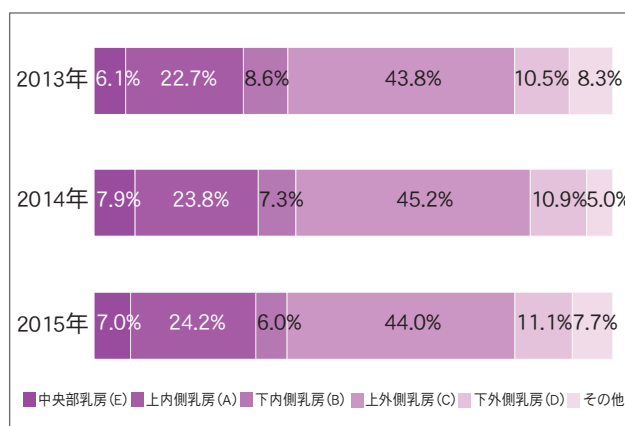


図8-5-5. 詳細部位別登録割合



※治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象の定義は、2頁を参照。

表8-5-1. UICC TNM分類 治療前ステージ別登録割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄	合計
2013年	11.6%	41.8%	31.6%	5.5%	6.4%	3.0%	0.0%	361
2014年	9.3%	38.7%	34.4%	7.3%	4.6%	5.6%	0.0%	302
2015年	10.1%	33.2%	34.9%	11.7%	6.0%	4.0%	0.0%	298
2014年全国	14.5%	39.0%	32.3%	7.6%	5.1%	1.6%	0.0%	48,531

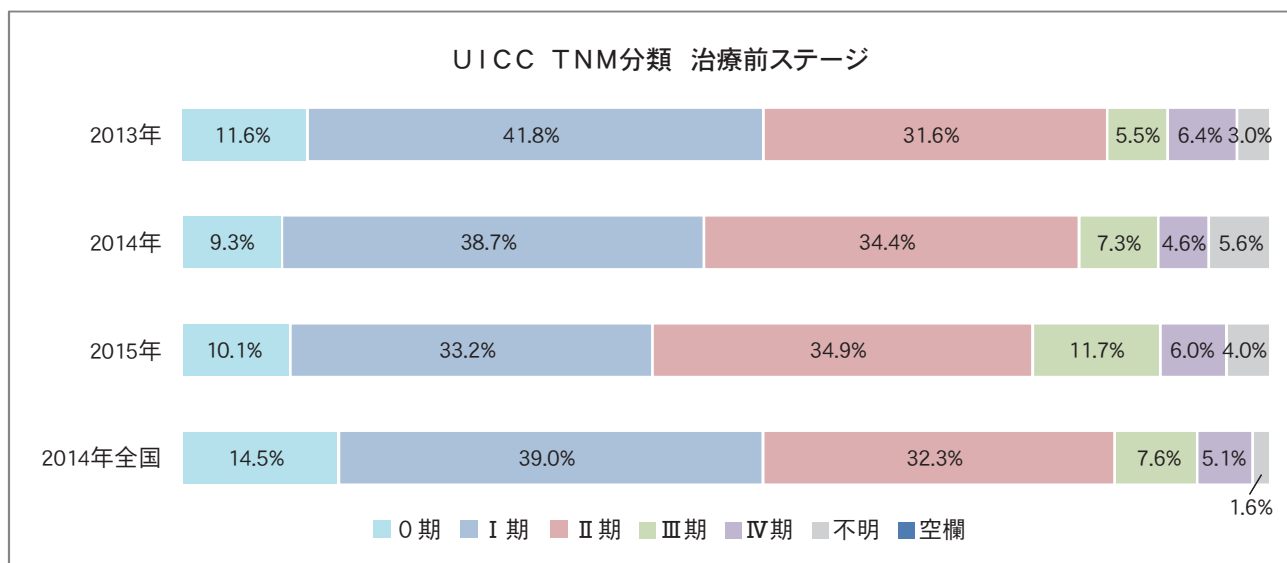


図8-5-6. UICC TNM分類 治療前ステージ別登録割合

表8-5-2. UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	術前治療後	不明	空欄	合計
2013年	15.3%	45.0%	25.1%	5.5%	--	8.5%	--	0.0%	307
2014年	8.3%	44.4%	29.0%	5.4%	0.0%	12.4%	--	0.0%	241
2015年	11.1%	41.1%	26.5%	7.1%	0.0%	14.2%	0.0%	0.0%	253
2014年全国	13.7%	39.8%	25.2%	6.2%	0.3%	14.6%	0.3%	0.0%	43,200

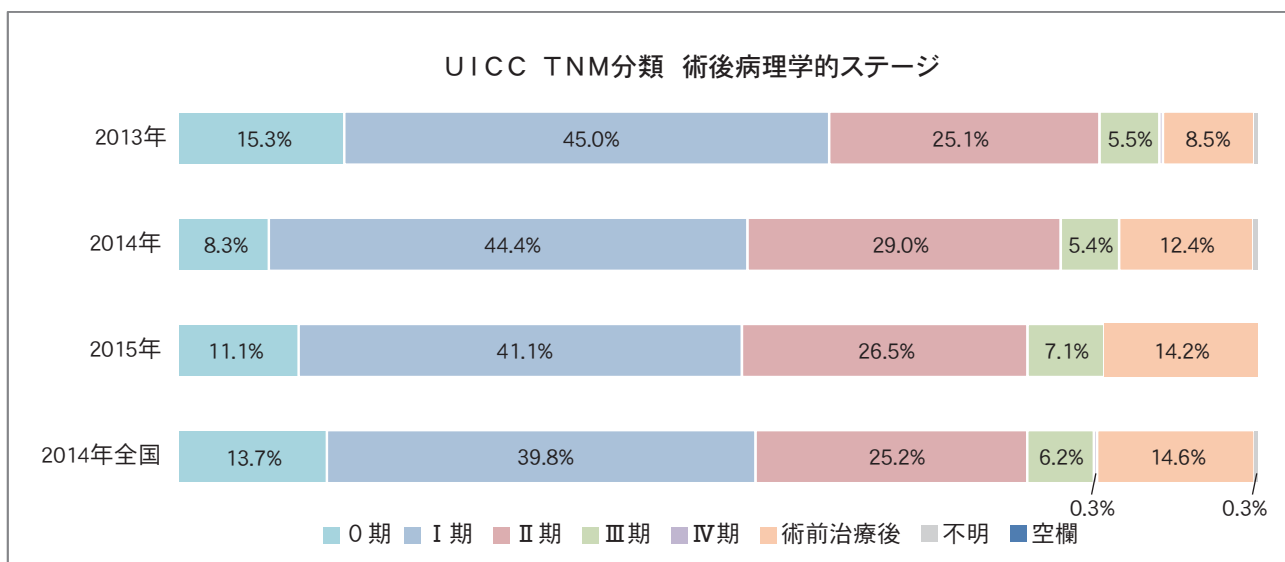


図8-5-7. UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録割合

## 8-5. 乳房

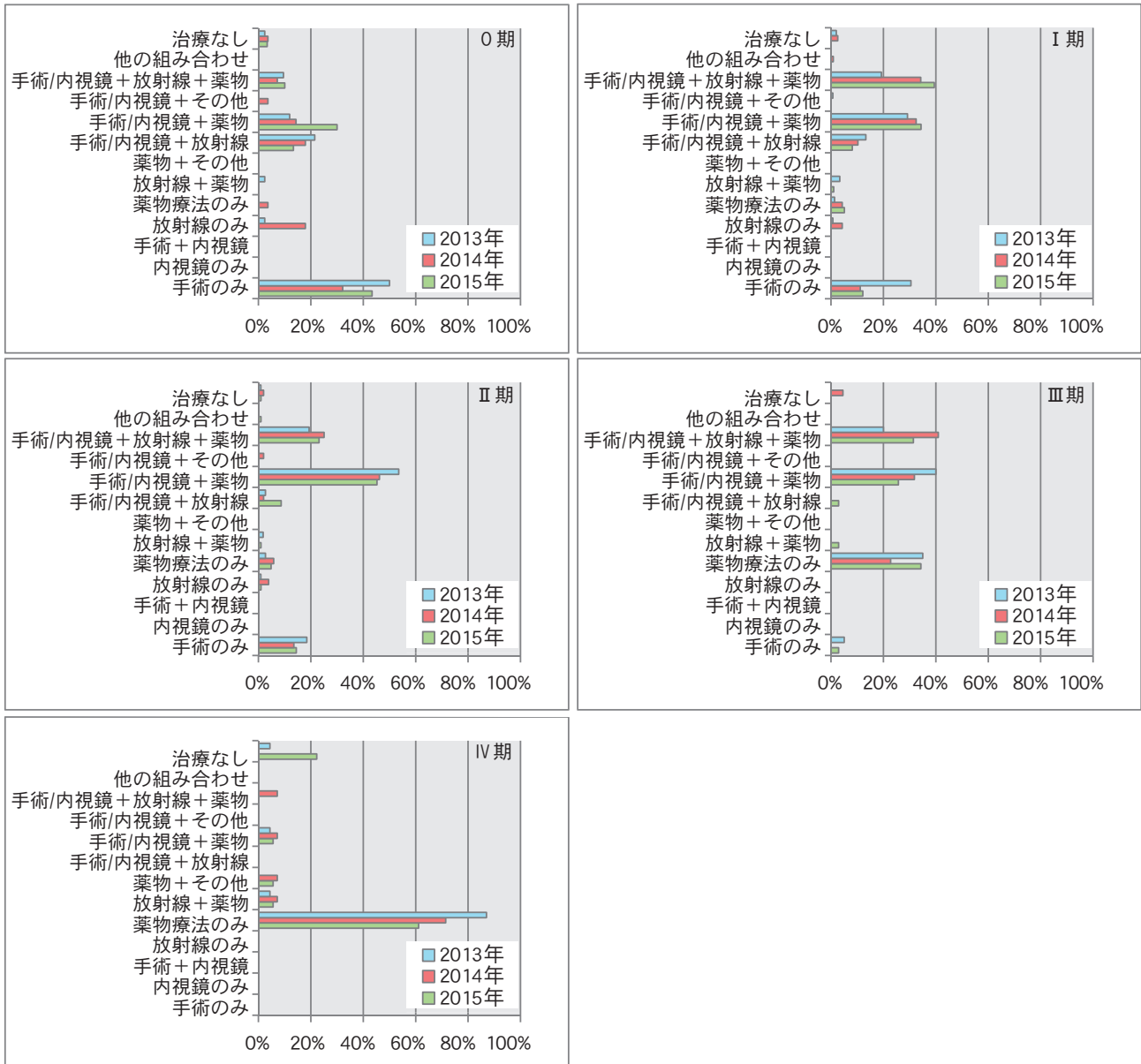


図8-5-8. UICC TNM分類 治療前ステージ別年別治療方法割合

## 8-6. 前立腺

我が国の前立腺がんの罹患率・死亡率は近年増加傾向にあり、2011年の男性患者の罹患数は胃がんについて第2位でした。年齢調整罹患率は2000年が22.9%、2011年で66.8%と10年で約3倍増加をしています。2015年の短期予測では罹患数は男性の第1位、死亡数は男性の第6位とされており、高知県においても拠点病院及び推進病院のデータを見ると、前回調査時の登録件数が、2010年で180件、今回の調査では2015年が305件と大幅な増加を示しています(図8-6-1)。高知県の登録症例のステージ分類では治療前ステージ・術後の病理学的ステージともに、ステージI及びII期の比較的早期の症例が70%を超えており、前立腺がん検診に使用される腫瘍マーカー検査(PSA測定)による早期発見が考えられ、全国平均と同様の傾向を示しています(表8-6-1、図8-6-6、表8-6-2、図8-6-7)。治療をみると、I期では手術症例が増加傾向にあり、侵襲の少ない腹腔鏡下手術(ロボット支援含む)が増えていることが考えられます。内分泌療法を主体とした薬物療法は前回調査と同じくI期からIV期まで広く実施され、前立腺がん治療の中心的役割を果たしています(図8-6-8)。

※症例区分2・3のみを集計

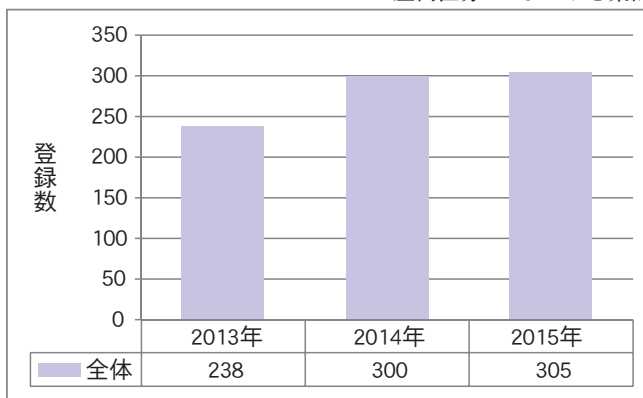


図8-6-1. 年別登録数

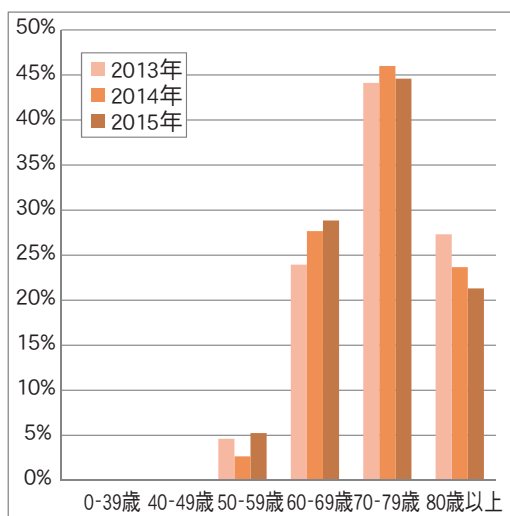


図8-6-2. 年齢階級別登録割合

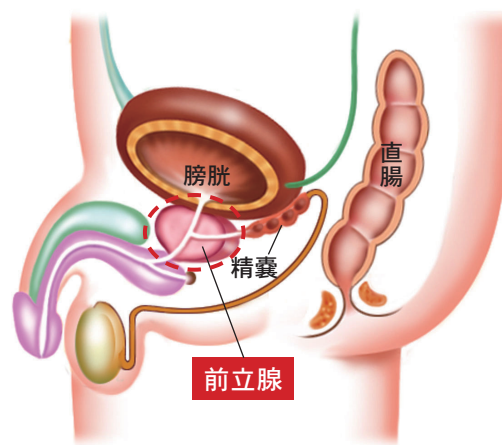


図8-6-3. 前立腺の位置

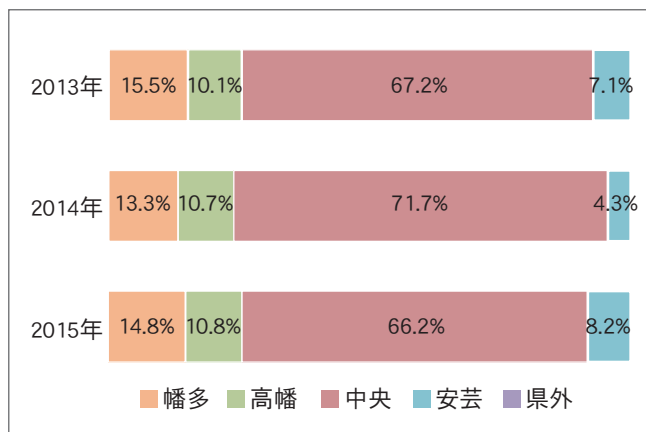


図8-6-4. 医療圏別登録割合

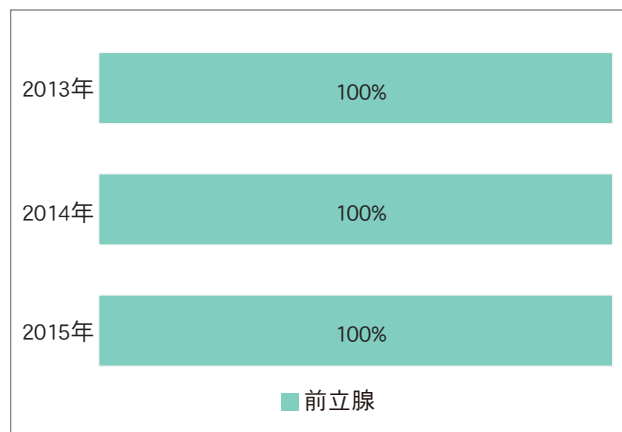


図8-6-5. 詳細部位別登録割合

## 8-6. 前立腺

※治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

表8-6-1. UICC TNM分類 治療前ステージ別登録割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄	合計
2013年	0.0%	52.5%	19.3%	4.6%	20.2%	2.9%	--	238
2014年	0.0%	56.7%	16.7%	8.7%	16.0%	1.7%	--	300
2015年	0.0%	53.8%	17.4%	9.2%	17.4%	2.3%	0.0%	305
2014年全国	0.0%	51.3%	21.4%	10.6%	14.0%	2.0%	0.7%	32,098

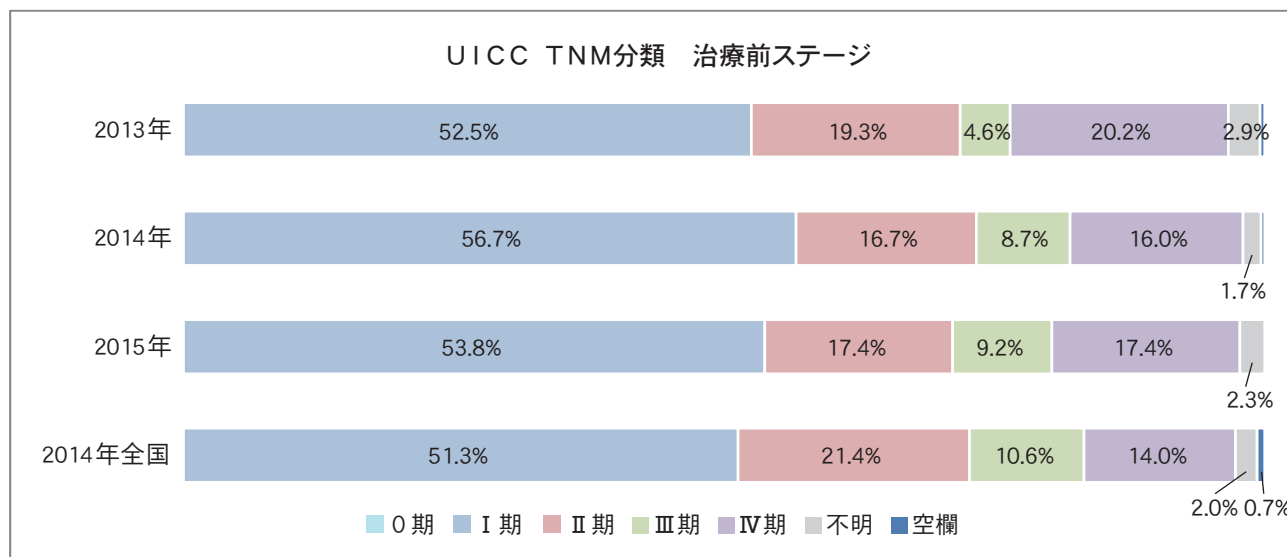


図8-6-6. UICC TNM分類 治療前ステージ別登録割合

表8-6-2. UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	術前治療後	不明	空欄	合計
2013年	0.0%	29.9%	46.3%	11.9%	--	--	--	0.0%	67
2014年	0.0%	41.7%	37.9%	15.5%	0.0%	4.9%	0.0%	0.0%	103
2015年	0.0%	46.0%	31.0%	13.0%	--	8.0%	0.0%	0.0%	100
2014年全国	0.0%	17.1%	47.8%	19.4%	2.5%	10.2%	2.3%	0.6%	10,342

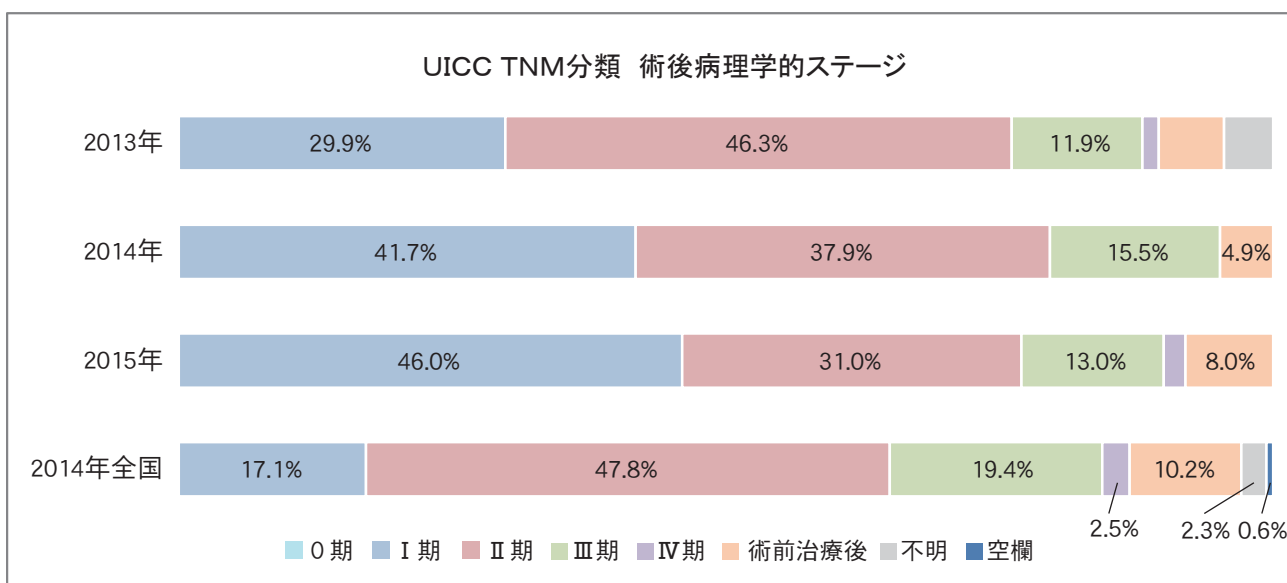


図8-6-7. UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録割合

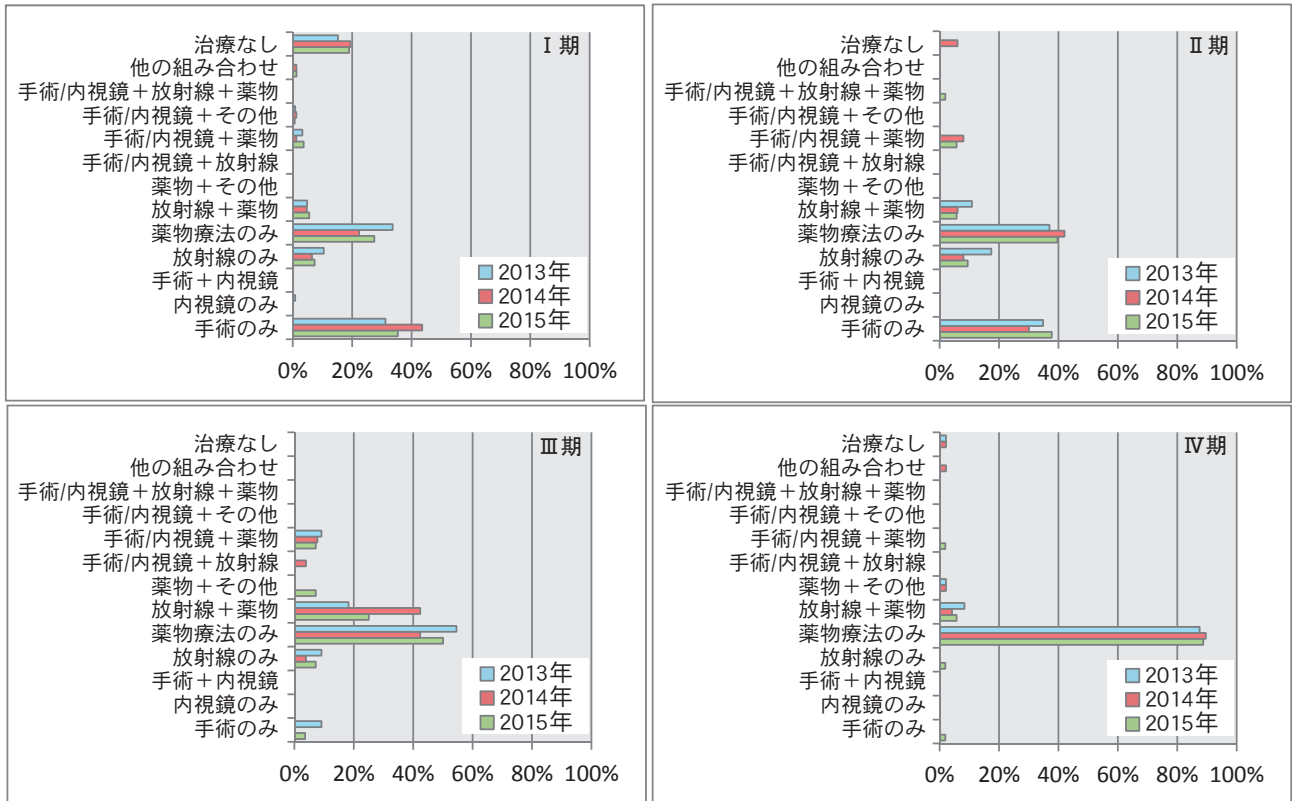


図8-6-8. UICC TNM分類 治療前ステージ別年別治療方法割合



# 施設別集計

(がん診療連携拠点病院および推進病院 個別集計)

平成29年4月1日時点





病院名	国立大学法人 高知大学医学部附属病院
住所	〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
ホームページ	http://www.kochi-ms.ac.jp/~hsptl/index.html

診療科	胃腸内科、肝・胆膵内科、内分泌・糖尿病内科、腎臓・膠原病内科、血液内科、呼吸器・感染症内科、循環器内科、神経内科、老年病科、小児科、精神科、子どものこころ診療部、皮膚科、放射線科、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、小児外科、臨床腫瘍・内視鏡外科、形成外科、麻酔科（麻酔・疼痛）、産科婦人科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、脳神経外科、泌尿器科、歯科口腔外科、総合診療部、病理診断科、救急科、リハビリテーション科
-----	--

病床数	613床（一般：583床、精神：30床）
-----	----------------------

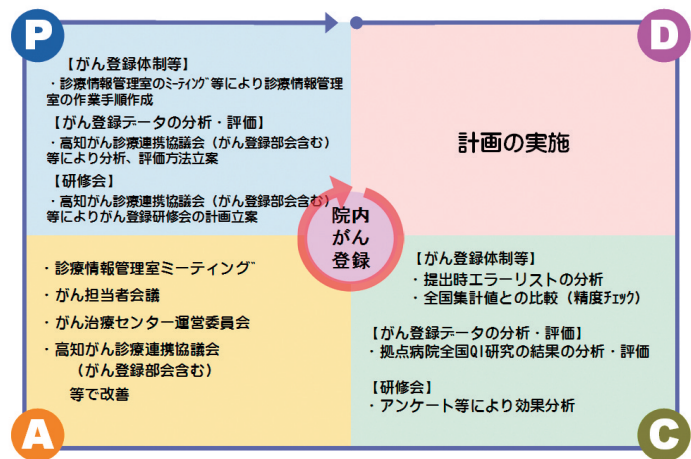
### がん診療

高知大学医学部附属病院は、都道府県の推薦をもとに厚生労働大臣が指定した「都道府県がん診療連携拠点病院」です。都道府県に概ね1か所設置され、当該都道府県におけるがん診療の質の向上、相談支援機能の強化、院内がん登録の質的向上及びがん診療連携協力体制の構築、PDCAサイクルの確保などについて、中心的な役割を担っています。

がん対策を実施するためには、正確ながんの実態把握が必須で、その中心的な役割を果すのが、がん登録です。高知大学では、右図のようなPDCAサイクルを実施し、登録候補のを見つけ出しや登録精度の向上のため努力しています。

さらに、がんに対する標準治療はもちろんのこと、全国の多施設と共同した臨床研究や新薬の開発治験を推進し、新しいがん治療の開発にも取り組んでいます。

さらに今後は、患者さんの心のケアも充実させていきたいと思っています。



（高知大学医学部附属病院 がん治療センター長 小林 道也）

### がん登録概況

高知大学医学部附属病院では、毎年約1,500件の院内がん登録を行っています。中央医療圏に位置しており、登録患者の診断時住所は約70%が中央医療圏であり、年齢別では60歳以上が約70%を占めています。症例区分については、症例区分2と3の割合が大きく、登録症例のほとんどが自施設で初回治療を行っています。当院は特定機能病院であるため、来院経路については他施設からの紹介が約80%を占めています。部位別登録数では2013年から2015年では前立腺が増加傾向となっています。

# 全部位

## 1. 登録数

### ◇登録件数

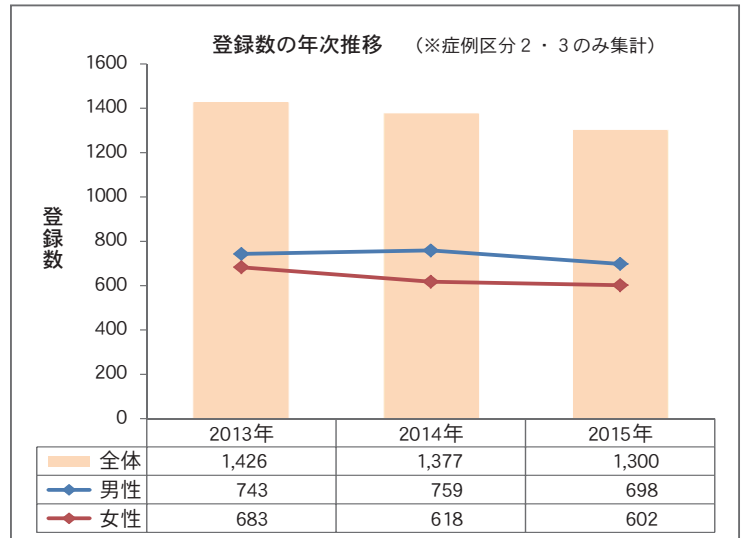
診断年	男性	女性	全体
2013年	856	770	1,626
2014年	862	698	1,560
2015年	810	706	1,516
合計	2,528	2,174	4,702

### ◇症例区分「8. その他」を除いて集計

診断年	男性	女性	全体
2013年	853	768	1,621
2014年	855	697	1,552
2015年	806	706	1,512
合計	2,514	2,171	4,685

### ◇症例区分2・3のみを集計

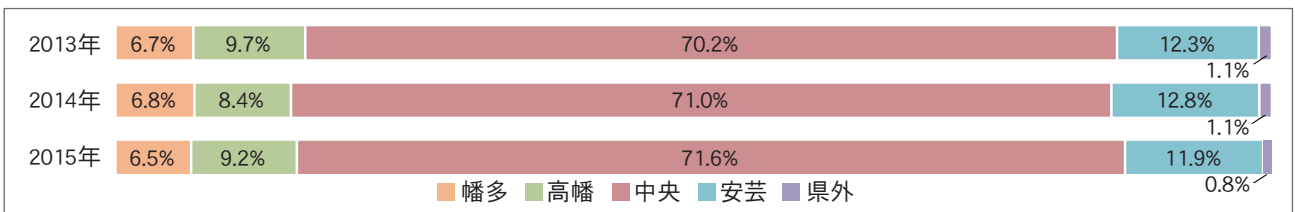
診断年	男性	女性	全体
2013年	743	683	1,426
2014年	759	618	1,377
2015年	698	602	1,300
合計	2,200	1,903	4,103



## 2. 診断時住所の医療圏別割合

※症例区分2・3のみを集計

医療圏	幡多 件数 (%)	高幡 件数 (%)	中央 件数 (%)	安芸 件数 (%)	県外 件数 (%)
2013年	96 (6.7)	138 (9.7)	1,001 (70.2)	175 (12.3)	16 (1.1)
2014年	94 (6.8)	115 (8.4)	977 (71.0)	176 (12.8)	15 (1.1)
2015年	85 (6.5)	119 (9.2)	931 (71.6)	155 (11.9)	10 (0.8)



## 3. 年齢階級別登録割合

※症例区分2・3のみを集計

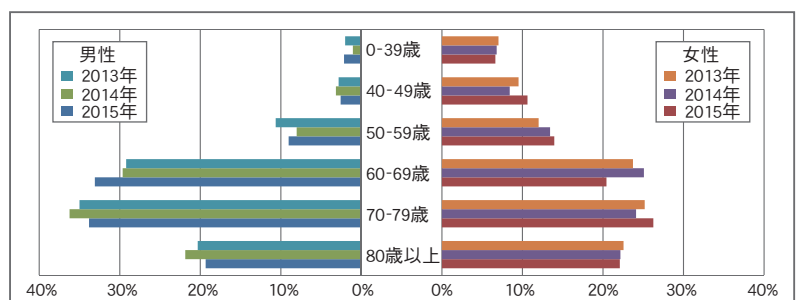
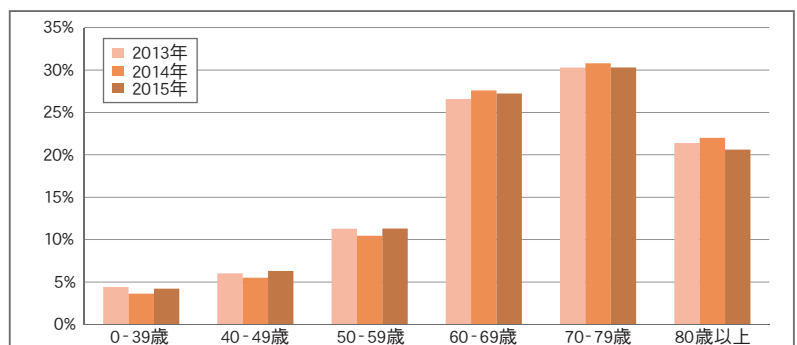
全体	2013年 件数 (%)	2014年 件数 (%)	2015年 件数 (%)
0-39歳	63 (4.4)	50 (3.6)	55 (4.2)
40-49歳	86 (6.0)	76 (5.5)	82 (6.3)
50-59歳	161 (11.3)	144 (10.5)	147 (11.3)
60-69歳	379 (26.6)	380 (27.6)	354 (27.2)
70-79歳	432 (30.3)	424 (30.8)	394 (30.3)
80歳以上	305 (21.4)	303 (22.0)	268 (20.6)

男性	2013年 件数 (%)	2014年 件数 (%)	2015年 件数 (%)
0-39歳	15 (2.0)	8 (1.1)	15 (2.1)
40-49歳	21 (2.8)	24 (3.2)	18 (2.6)
50-59歳	79 (10.6)	61 (8.0)	63 (9.0)
60-69歳	217 (29.2)	225 (29.6)	231 (33.1)
70-79歳	260 (35.0)	275 (36.2)	236 (33.8)
80歳以上	151 (20.3)	166 (21.9)	135 (19.3)

女性	2013年 件数 (%)	2014年 件数 (%)	2015年 件数 (%)
0-39歳	48 (7.0)	42 (6.8)	40 (6.6)
40-49歳	65 (9.5)	52 (8.4)	64 (10.6)
50-59歳	82 (12.0)	83 (13.4)	84 (14.0)
60-69歳	162 (23.7)	155 (25.1)	123 (20.4)
70-79歳	172 (25.2)	149 (24.1)	158 (26.2)
80歳以上	154 (22.5)	137 (22.2)	133 (22.1)

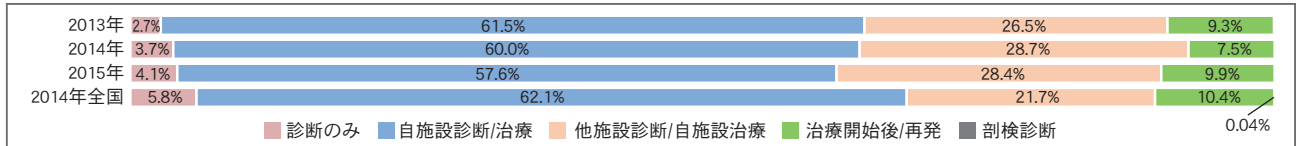


※症例区分「8. その他」を除いて集計

## 4. 症例区分

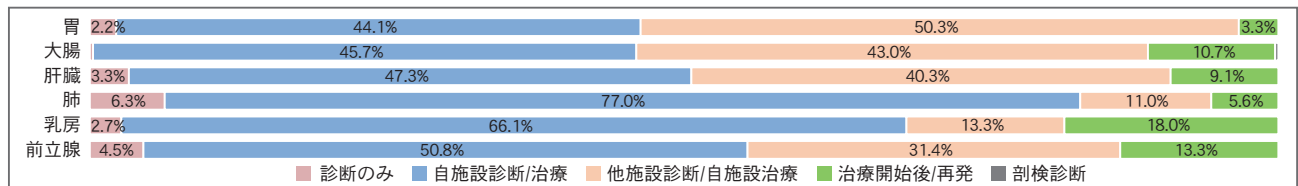
### 4-1. 症例区分

	診断のみ	自施設診断/治療	他施設診断/ 自施設治療	治療開始後/再発	剖検診断
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
2013年	43 (2.7)	997 (61.5)	429 (26.5)	151 (9.3)	-- --
2014年	58 (3.7)	931 (60.0)	446 (28.7)	117 (7.5)	0 (0.0)
2015年	62 (4.1)	871 (57.6)	429 (28.4)	150 (9.9)	0 (0.0)
2014年全国	37,126 (5.8)	399,409 (62.1)	139,655 (21.7)	67,032 (10.4)	258 (0.04)



### 4-2 症例区分 部位別 2013年-2015年

	診断のみ	自施設診断/治療	他施設診断/ 自施設治療	治療開始後/再発	剖検診断
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
胃	10 (2.2)	199 (44.1)	227 (50.3)	15 (3.3)	0 (0.0)
大腸	-- --	171 (45.7)	161 (43.0)	40 (10.7)	-- --
肝臓	8 (3.3)	115 (47.3)	98 (40.3)	22 (9.1)	0 (0.0)
肺	28 (6.3)	342 (77.0)	49 (11.0)	25 (5.6)	0 (0.0)
乳房	13 (2.7)	323 (66.1)	65 (13.3)	88 (18.0)	0 (0.0)
前立腺	19 (4.5)	214 (50.8)	132 (31.4)	56 (13.3)	0 (0.0)



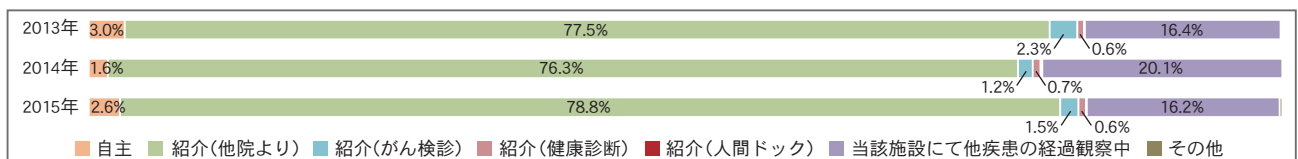
※大腸は結腸と直腸の合計

## 5. 来院経路

### 5-1. 来院経路

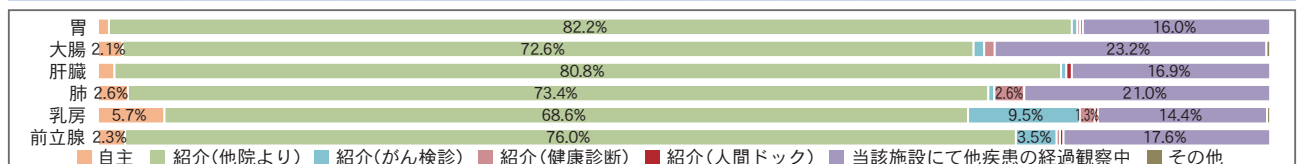
※症例区分2・3のみを集計

	自主	紹介 (他院より)	紹介 (がん検診)	紹介 (健康診断)	紹介 (人間ドック)	当該施設にて 他疾患の経過観察中	剖検にて	その他
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
2013年	43 (3.0)	1,105 (77.5)	33 (2.3)	8 (0.6)	-- --	234 (16.4)	0 (0.0)	-- --
2014年	22 (1.6)	1,050 (76.3)	17 (1.2)	9 (0.7)	-- --	277 (20.1)	0 (0.0)	0 (0.0)
2015年	34 (2.6)	1,024 (78.8)	20 (1.5)	8 (0.6)	-- --	210 (16.2)	0 (0.0)	-- --



### 5-2. 来院経路 部位別 2013年-2015年

	自主	紹介 (他院より)	紹介 (がん検診)	紹介 (健康診断)	紹介 (人間ドック)	当該施設にて 他疾患の経過観察中	剖検にて	その他
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
胃	-- --	350 (82.2)	-- --	-- --	-- --	68 (16.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
大腸	7 (2.1)	241 (72.6)	-- --	-- --	0 (0.0)	77 (23.2)	0 (0.0)	-- --
肝臓	-- --	172 (80.8)	-- --	0 (0.0)	-- --	36 (16.9)	0 (0.0)	0 (0.0)
肺	10 (2.6)	287 (73.4)	-- --	10 (2.6)	0 (0.0)	82 (21.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
乳房	22 (5.7)	266 (68.6)	37 (9.5)	5 (1.3)	-- --	56 (14.4)	0 (0.0)	-- --
前立腺	8 (2.3)	263 (76.0)	12 (3.5)	-- --	-- --	61 (17.6)	0 (0.0)	0 (0.0)



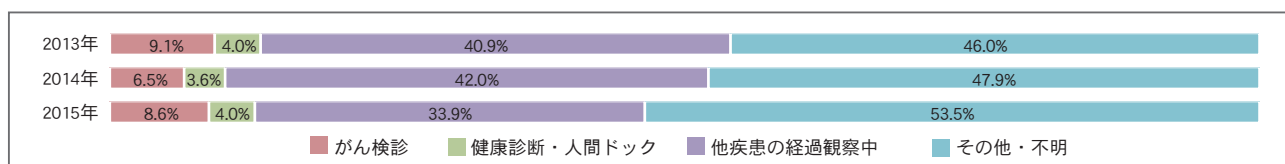
※大腸は結腸と直腸の合計

※症例区分2・3のみを集計

## 6. 発見経緯

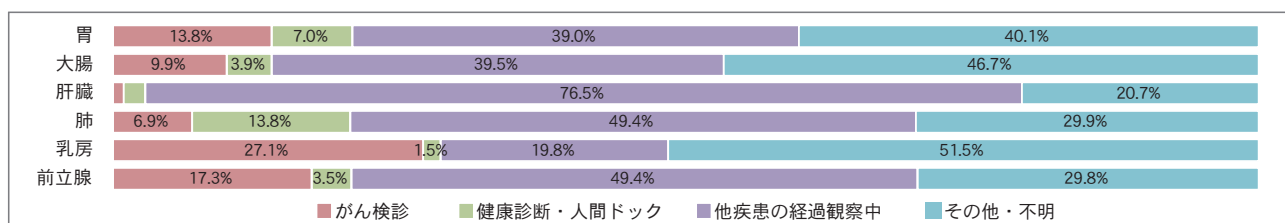
### 6-1. 発見経緯

	がん検診 件数 (%)	健康診断・人間ドック 件数 (%)	他疾患の経過観察中 件数 (%)	剖検発見 件数 (%)	その他・不明 件数 (%)
2013年	130 (9.1)	57 (4.0)	583 (40.9)	0 (0.0)	656 (46.0)
2014年	89 (6.5)	49 (3.6)	579 (42.0)	0 (0.0)	660 (47.9)
2015年	112 (8.6)	52 (4.0)	441 (33.9)	0 (0.0)	695 (53.5)



### 6-2. 発見経緯 部位別 2013年-2015年

	がん検診 件数 (%)	健康診断・人間ドック 件数 (%)	他疾患の経過観察中 件数 (%)	剖検発見 件数 (%)	その他・不明 件数 (%)
胃	59 (13.8)	30 (7.0)	166 (39.0)	0 (0.0)	171 (40.1)
大腸	33 (9.9)	13 (3.9)	131 (39.5)	0 (0.0)	155 (46.7)
肝臓	--	--	163 (76.5)	0 (0.0)	44 (20.7)
肺	27 (6.9)	54 (13.8)	193 (49.4)	0 (0.0)	117 (29.9)
乳房	105 (27.1)	6 (1.5)	77 (19.8)	0 (0.0)	200 (51.5)
前立腺	60 (17.3)	12 (3.5)	171 (49.4)	0 (0.0)	103 (29.8)



※大腸は結腸と直腸の合計

## 7. 部位

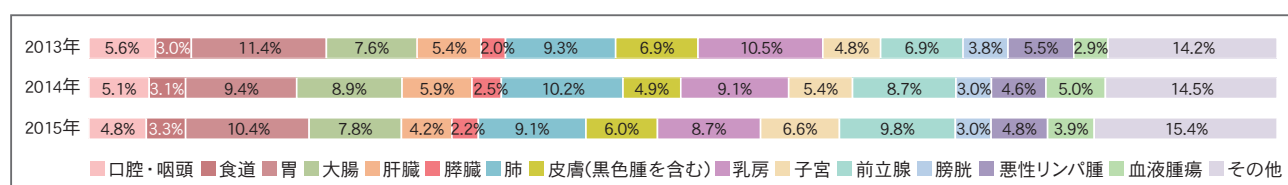
### 7-1. 部位別登録数の上位5部位

順位	2013年		2014年		2015年	
	部位名	件数 (%)	部位名	件数 (%)	部位名	件数 (%)
1	胃	162 (11.4)	肺	141 (10.2)	胃	135 (10.4)
2	乳房	150 (10.5)	胃	129 (9.4)	前立腺	127 (9.8)
3	肺	132 (9.3)	乳房	125 (9.1)	肺	118 (9.1)
4	皮膚	99 (6.9)	前立腺	120 (8.7)	乳房	113 (8.7)
5	前立腺	99 (6.9)	肝臓	81 (5.9)	皮膚	78 (6.0)

◇結腸・直腸の合計を『大腸』、子宮頸部・子宮体部・子宮の合計を『子宮』、多発性骨髄腫・白血病・その他の造血器の合計を『血液腫瘍』とした場合

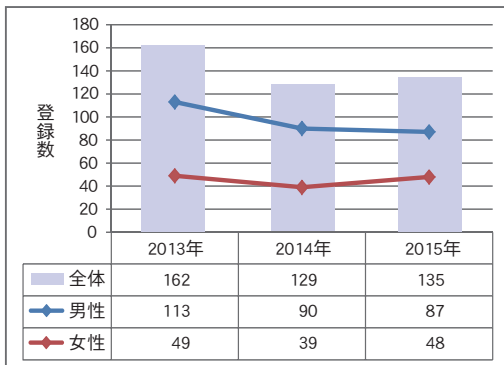
順位	2013年		2014年		2015年	
	部位名	件数 (%)	部位名	件数 (%)	部位名	件数 (%)
1	胃	162 (11.4)	肺	141 (10.2)	胃	135 (10.4)
2	乳房	150 (10.5)	胃	129 (9.4)	前立腺	127 (9.8)
3	肺	132 (9.3)	乳房	125 (9.1)	肺	118 (9.1)
4	大腸	109 (7.6)	大腸	122 (8.9)	乳房	113 (8.7)
5	皮膚	99 (6.9)	前立腺	120 (8.7)	大腸	101 (7.8)
5	前立腺	99 (6.9)				

### 7-2. 部位別の割合

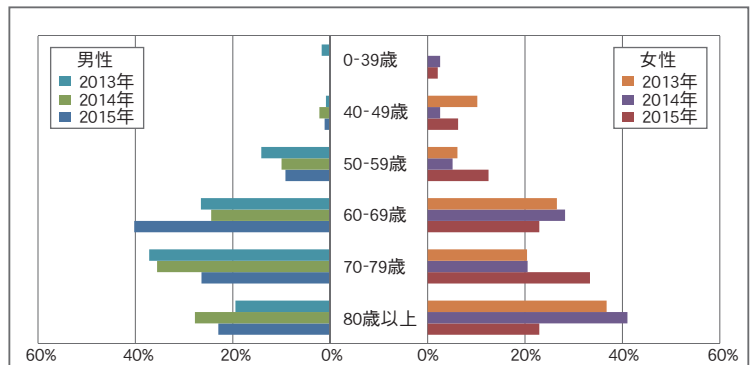


※症例区分2・3のみを集計

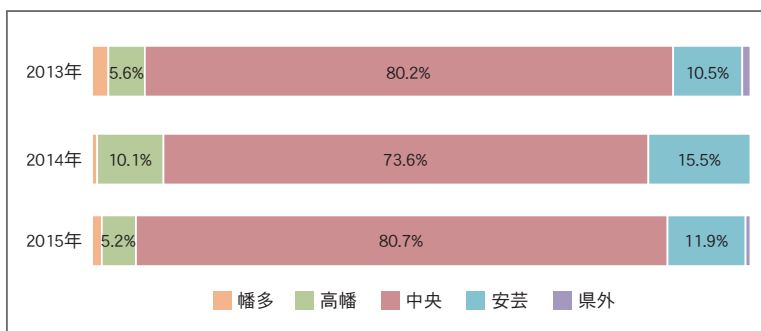
## 1. 登録数



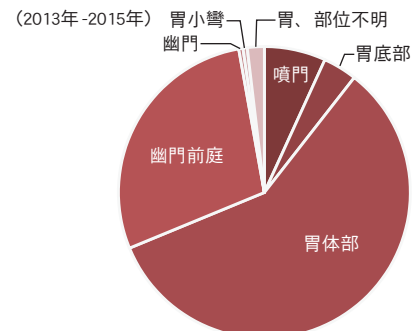
## 2. 性別 年齢階級別 登録割合



## 3. 医療圏別 登録割合

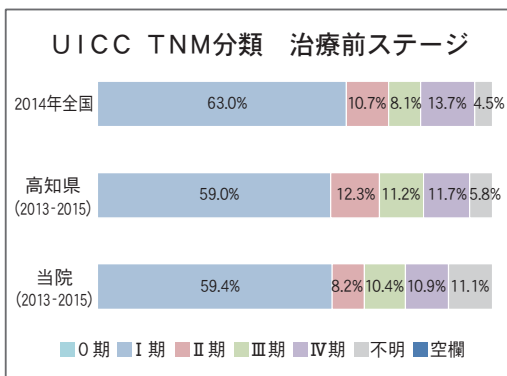


## 4. 詳細部位別 登録割合

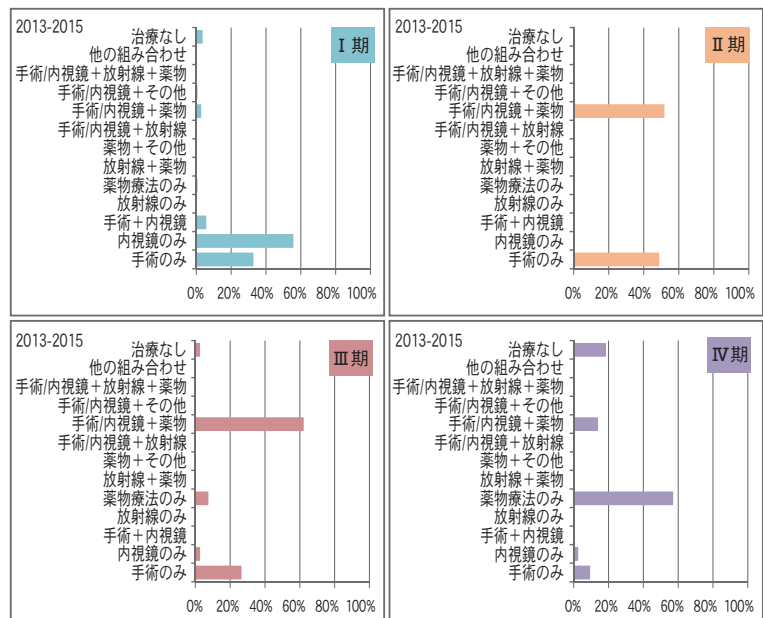


## 5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	0.0%	63.0%	10.7%	8.1%	13.7%	4.5%	0.0%
高知県 (2013年-2015年)	0.0%	59.0%	12.3%	11.2%	11.7%	5.8%	0.0%
当院 (2013年-2015年)	0.0%	59.4%	8.2%	10.4%	10.9%	11.1%	0.0%
件数	0	240	33	42	44	45	0



## 6. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合

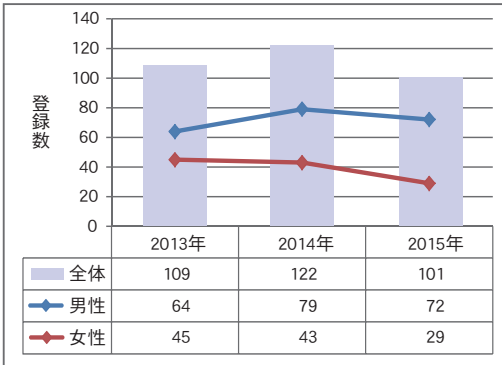


※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

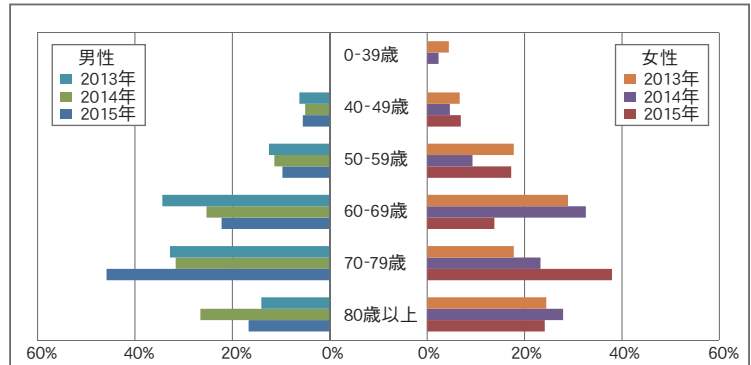
登録数は女性に比べ男性の方が多いですが、男性の登録数は2013年から2015年は減少傾向となっています。詳細部位別の割合では、胃体部が半数以上を占めており、次に幽門前庭が多くなっています。また、治療前ステージでは、I期の割合が59.4%を占め、発見経緯においてもがん検診・健康診断・人間ドックが20.8%を占めていること(38ページの6-2.参照)から、早期の発見治療がされているものと考えます。

※症例区分2・3のみを集計

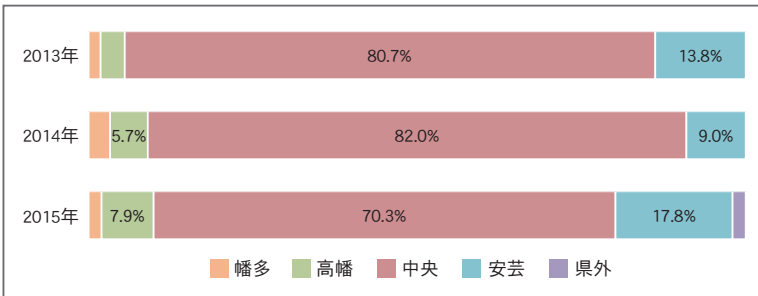
## 1. 登録数



## 2. 性別 年齢階級別 登録割合

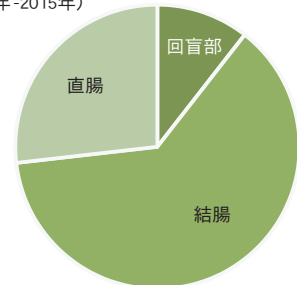


## 3. 医療圏別 登録割合



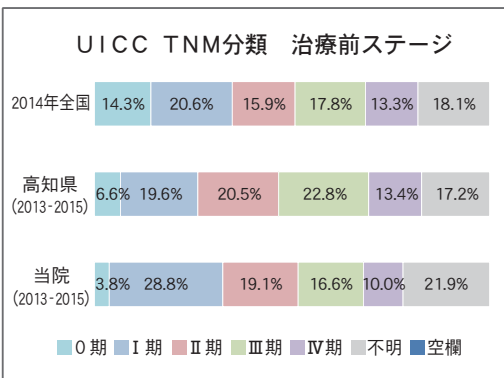
## 4. 詳細部位別 登録割合

(2013年-2015年)

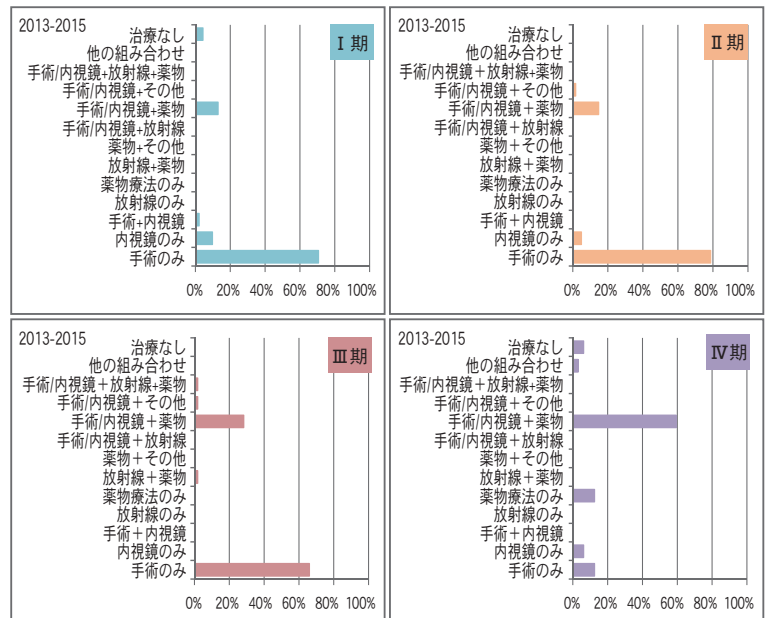


## 5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	14.3%	20.6%	15.9%	17.8%	13.3%	18.1%	0.0%
高知県 (2013年-2015年)	6.6%	19.6%	20.5%	22.8%	13.4%	17.2%	0.0%
当院 (2013年-2015年)	3.8%	28.8%	19.1%	16.6%	10.0%	21.9%	0.0%
件数	12	92	61	53	32	70	0



## 6. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合



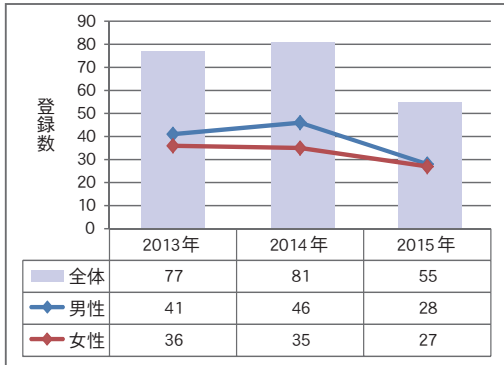
※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

登録数は女性に比べ男性の方が多く、女性の登録数は2013年から2015年は減少傾向となっています。性別年齢階級別登録割合では、男女ともに2015年の70歳代が最も大きくなっています。また、詳細部位別割合は、結腸が最も多く、次いで直腸、回盲部となっています。

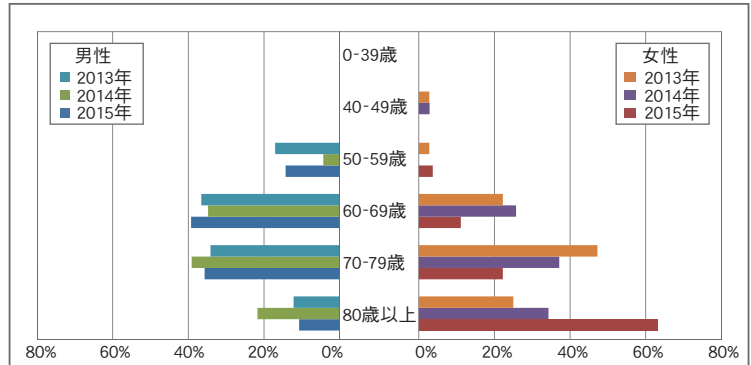
治療前ステージ別治療方法割合では、I期からIII期までは「手術のみ」が60%以上を占め、主たる治療となっています。

※症例区分2・3のみを集計

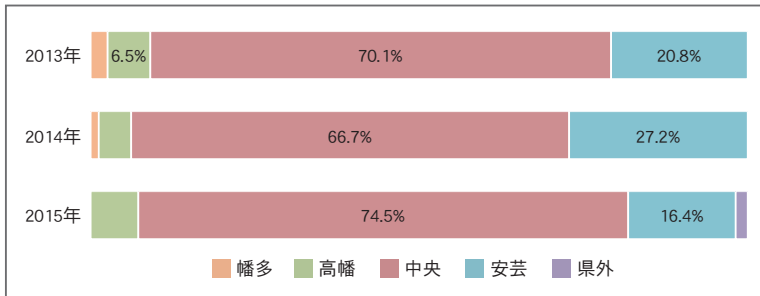
## 1. 登録数



## 2. 性別 年齢階級別 登録割合

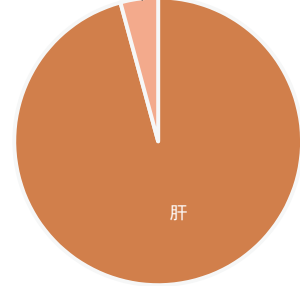


## 3. 医療圏別 登録割合



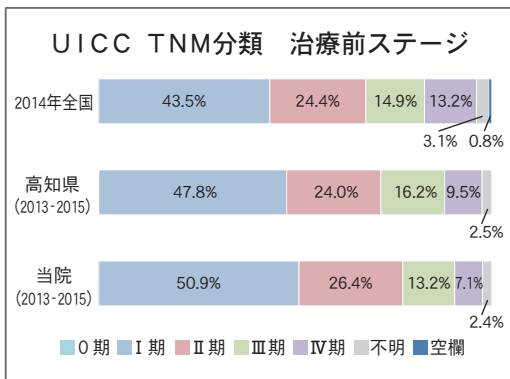
## 4. 詳細部位別 登録割合

(2013年-2015年)

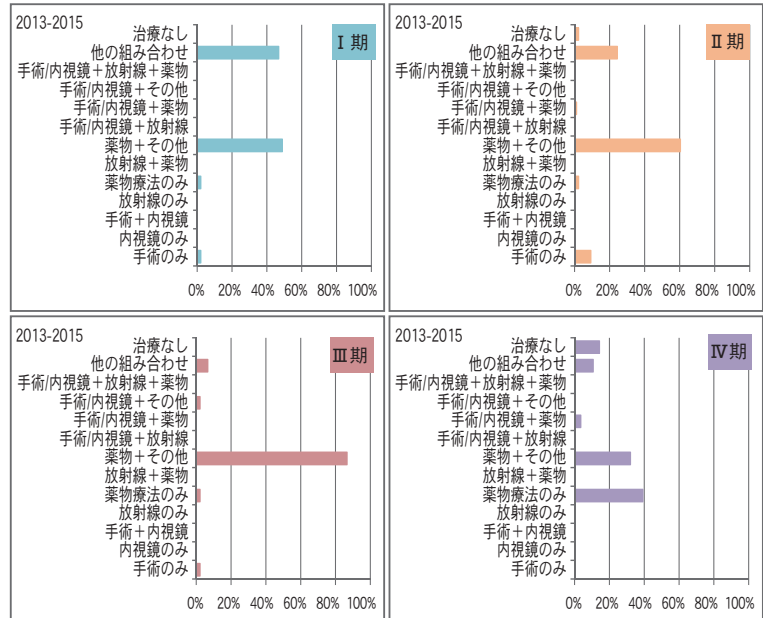


## 5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	0.0%	43.5%	24.4%	14.9%	13.2%	3.1%	0.8%
高知県 (2013年-2015年)	0.0%	47.8%	24.0%	16.2%	9.5%	2.5%	0.0%
当院 (2013年-2015年)	0.0%	50.9%	26.4%	13.2%	7.1%	2.4%	0.0%
件数	0	108	56	28	15	5	0



## 6. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合

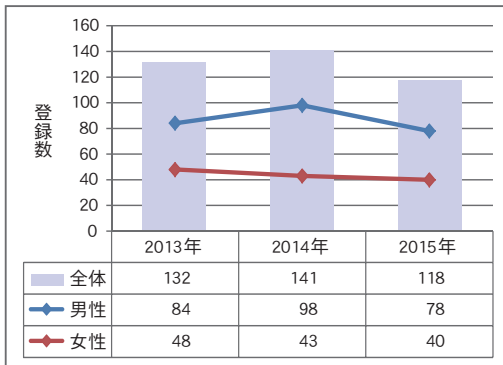


※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

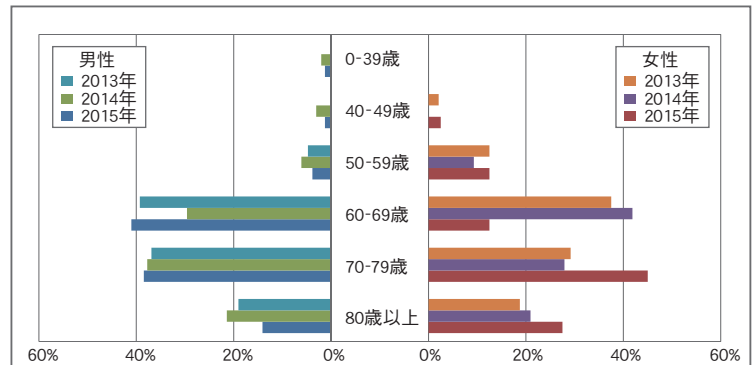
登録数は男性と女性に大きな差はなく、2013年から2015年では減少傾向となっています。治療前ステージでは、I期の割合が約半数を占めており、発見経緯は他疾患の経過観察中が76.5%と大きく占めています(38ページの6-2.参照)。また、治療前ステージ別治療方法割合では、I期からIII期までは「薬物+その他」が最も大きく占めており、III期では80%以上を占めています。

※症例区分2・3のみを集計

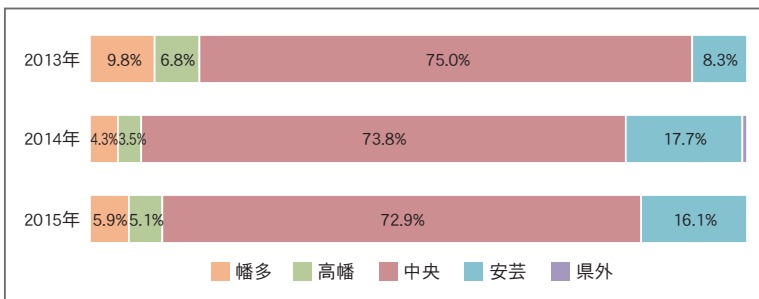
## 1. 登録数



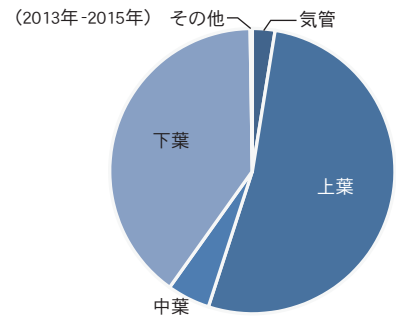
## 2. 性別 年齢階級別 登録割合



## 3. 医療圏別 登録割合

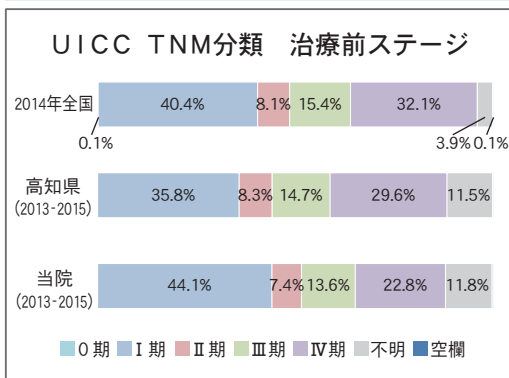


## 4. 詳細部位別 登録割合

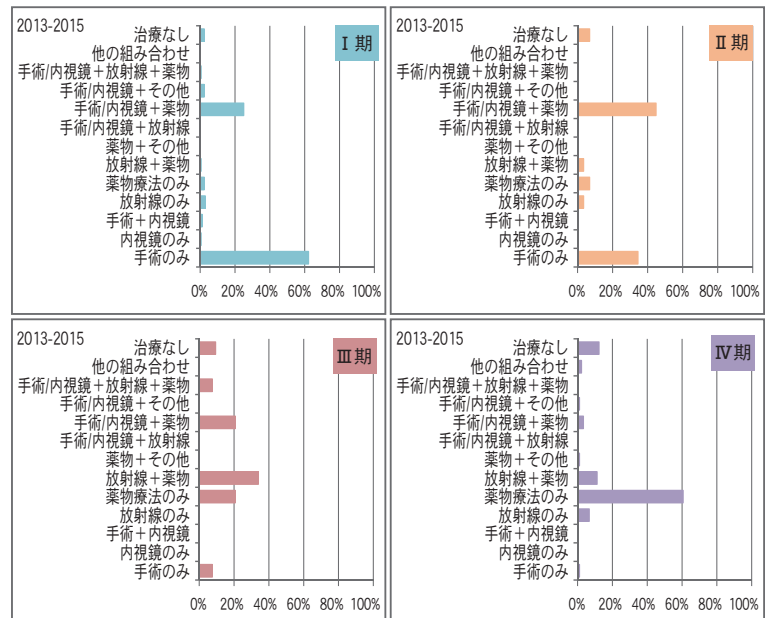


## 5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	0.1%	40.4%	8.1%	15.4%	32.1%	3.9%	0.1%
高知県 (2013年-2015年)	0.0%	35.8%	8.3%	14.7%	29.6%	11.5%	--
当院 (2013年-2015年)	0.0%	44.1%	7.4%	13.6%	22.8%	11.8%	--
件数	0	172	29	53	89	46	--



## 6. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合



※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

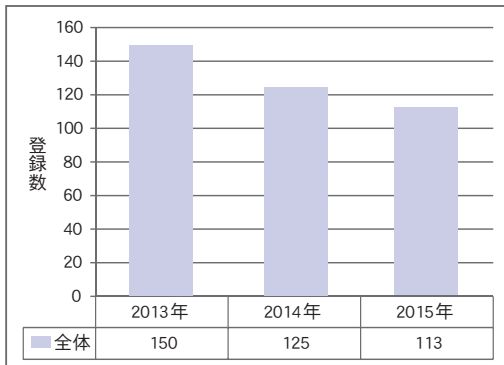
性別年齢階級別登録割合では、男女ともに60歳以上が85%以上を占めており、詳細部位の登録割合は、上葉と下葉が大きく占めています。

治療前ステージでは、I期が44.1%で最も多く、次いでIV期22.8%となっています。また、治療前ステージ別治療方法割合は、I期では「手術のみ」、IV期では「薬物療法のみ」が約60%を占め、主たる治療となっています。

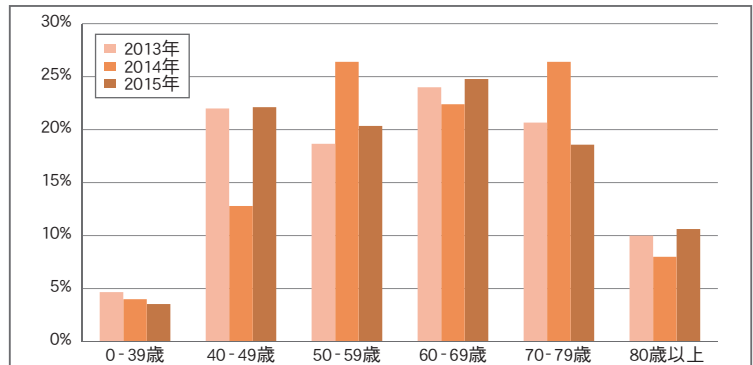


※症例区分2・3のみを集計

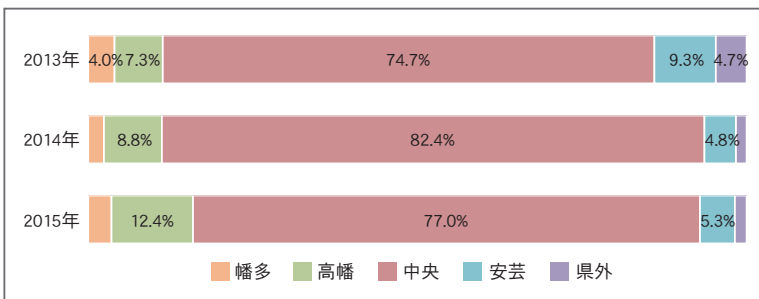
## 1. 登録数



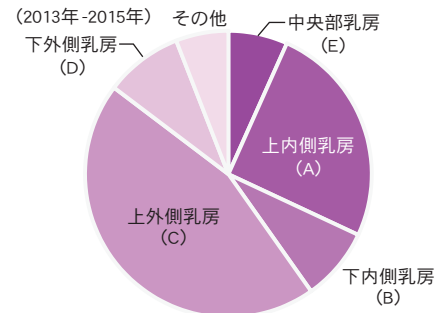
## 2. 性別 年齢階級別 登録割合



## 3. 医療圏別 登録割合

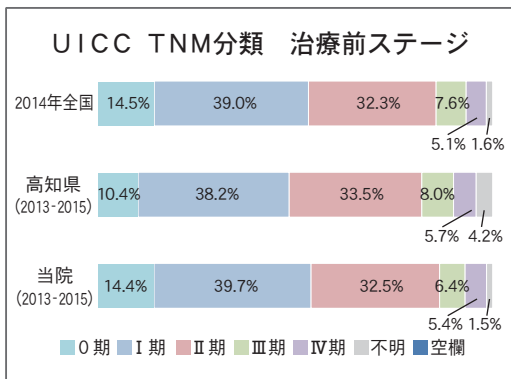


## 4. 詳細部位別 登録割合

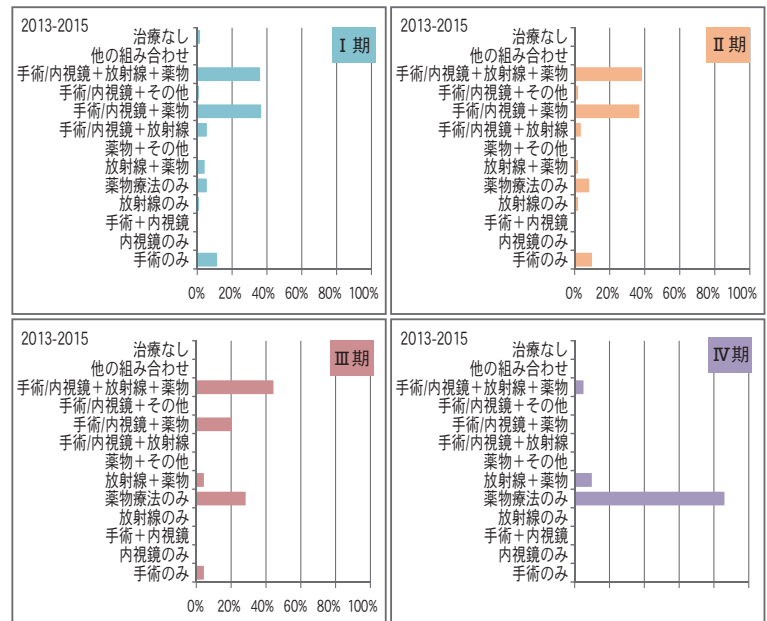


## 5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	14.5%	39.0%	32.3%	7.6%	5.1%	1.6%	0.0%
高知県 (2013年-2015年)	10.4%	38.2%	33.5%	8.0%	5.7%	4.2%	0.0%
当院 (2013年-2015年)	14.4%	39.7%	32.5%	6.4%	5.4%	1.5%	0.0%
件数	56	154	126	25	21	6	0



## 6. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合



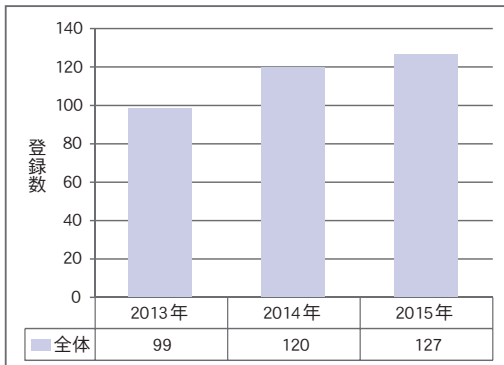
※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

登録数は2013年から2015年は減少傾向となっていますが、年齢階級別に見ると、40歳代より増加しており、他の部位と比較して若年であることが分かります。また、詳細部位別割合は、上外側乳房 (C) が最も多く、次いで上内側乳房 (A) となっています。

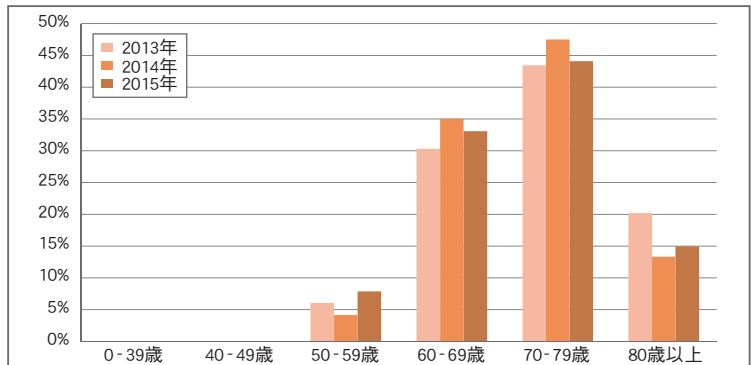
治療前ステージでは、0期からII期の割合が86.6%を占め、発見経緯においてもがん検診・健康診断・人間ドックが28.6%を占めていること (38ページの6-2.参照) から、早期の発見治療がされているものと考えます。

※症例区分2・3のみを集計

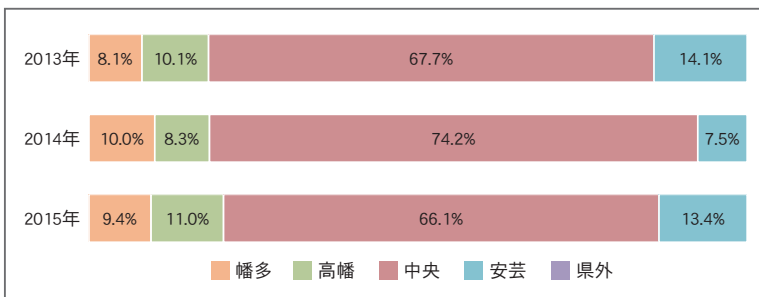
## 1. 登録数



## 2. 性別 年齢階級別 登録割合

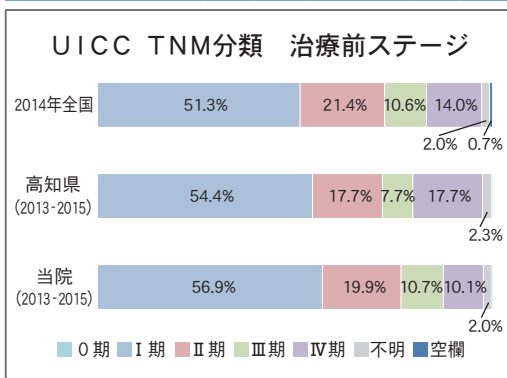


## 3. 医療圏別 登録割合

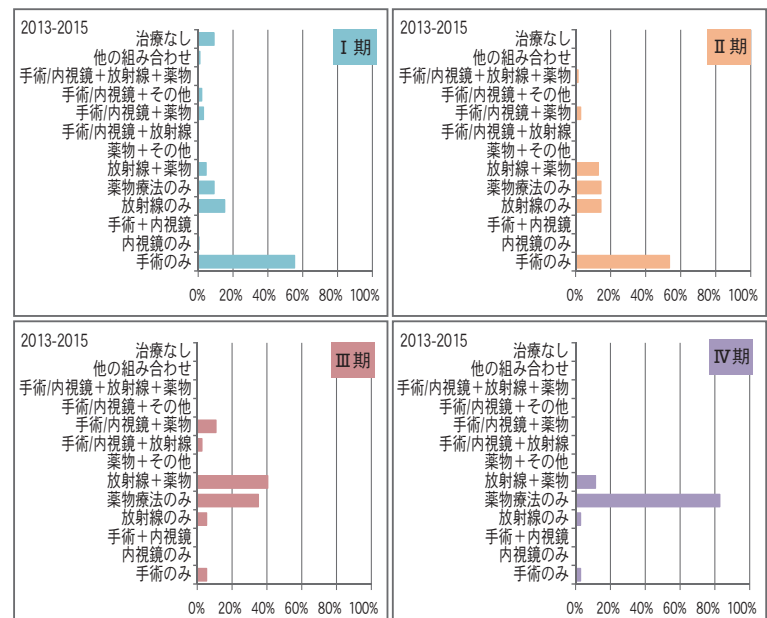


## 4. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	0.0%	51.3%	21.4%	10.6%	14.0%	2.0%	0.7%
高知県 (2013年-2015年)	0.0%	54.4%	17.7%	7.7%	17.7%	2.3%	--
当院 (2013年-2015年)	0.0%	56.9%	19.9%	10.7%	10.1%	2.0%	--
件数	0	197	69	37	35	7	--



## 5. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合



※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

登録数は2013年から2015年では増加傾向となっており、年齢階級別登録割合では、70歳代が最も多くなっています。

治療前ステージでは、I期の割合が56.9%を占め、発見経緯においてもがん検診・健康診断・人間ドックが20.8%を占めていること(38ページの6-2.参照)から、早期の発見治療がされているものと考えます。また、治療前ステージ別治療方法割合は、I期とII期では「手術のみ」、IV期では「薬物療法のみ」が最も大きく占めています。

<b>病院名</b>	<b>高知県・高知市病院企業団立高知医療センター</b>
<b>住所</b>	〒781-8555 高知県高知市池2125-1
<b>ホームページ</b>	<a href="http://www2.khsc.or.jp/">http://www2.khsc.or.jp/</a>

<b>診療科</b>	総合診療科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌科、血液内科・輸血科、腎臓内科・膠原病科、小児科、皮膚科、感染症科、ペインクリニック科、腫瘍内科、緩和ケア内科、地域医療科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、乳腺・甲状腺外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科・一般外科、整形外科、泌尿器科、移植外科、小児外科、形成外科、救命救急科、集中治療科、麻酔科、リハビリテーション科、産科、婦人科、生殖医療科、放射線療法科、放射線科、検査診断科、画像診断科、病理診断科、精神科
<b>病床数</b>	660床（うち療養病床0床、一般病床588床、特別療養環境室としている病床138床）
<b>がん診療</b>	
<p>高知医療センターは、高知県立中央病院と高知市立市民病院が統合されて2005年3月に開院した、高知県・高知市病院企業団立の病院です。高知県の中央部に位置し、災害拠点病院や救命救急センター、総合周産期母子医療センター等の役割を担う高知県の基幹病院です。また、2006年6月に制定されました「がん対策基本法」に則り、2008年2月に高知県で初めての「地域がん診療連携拠点病院」の認定を受けました。がんセンターでは地域がん診療連携拠点病院として、また、高知県におけるがん治療の最後の砦としての使命を全うするべく診療体制の整備・充実、診療実績の向上に努めております。</p> <p>2017年4月には、新しいがんセンターであります、がんサポートセンターがオープンし、高知県で3台目のPET-CTや中四国地域で初めての高精度放射線治療装置を導入し、外来がん化学療法室およびがん相談支援センターその他の充実も図っております。</p> <p style="text-align: right;">（高知医療センター がんセンター長 西岡 明人）</p>	
<b>がん登録概況</b>	
<p>高知医療センターでのがん登録数は、2013年1,497件、2014年1,543件、2015年1,605件と年々上昇傾向にあります。部位別では3年間を通じて胃が最も多く、続いて結腸、肺となっています。また上位5位以内に膵臓が含まれていることも特徴になります。来院経路の割合は8割近くが紹介による受診で最も高くなっており、続いて当該施設にて他疾患経過観察中が高くなっています。部位別で比較すると、乳房は自主とがん検診による来院が高く、肺と前立腺は当該施設にて他疾患経過観察中の割合が高くなっています。発見経緯は自覚症状が含まれるその他・不明が5割以上を占めており、続いて他疾患の経過観察中が多くなっています。部位別で比較すると、肝臓と前立腺はその他・不明の割合が低く、他疾患の経過観察中の割合が高くなっています。</p>	

# 全部位

## 1. 登録数

### ◇登録件数

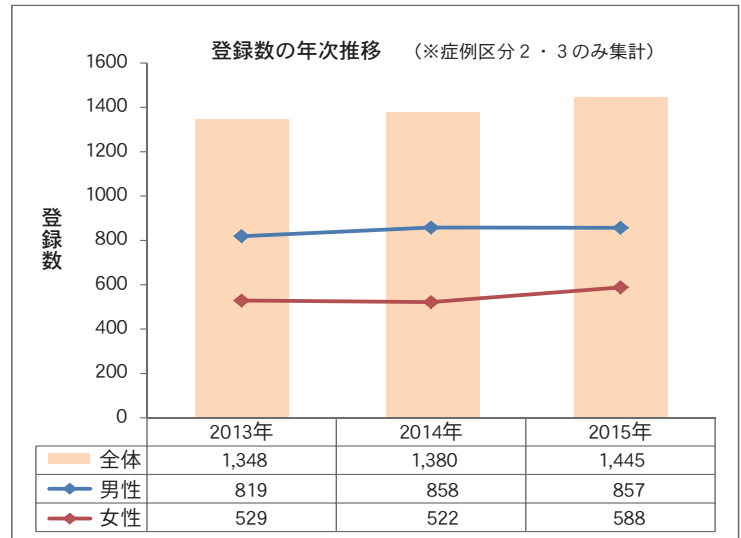
診断年	男性	女性	全体
2013年	883	614	1,497
2014年	933	610	1,543
2015年	939	666	1,605
合計	2,755	1,890	4,645

### ◇症例区分「8.その他」を除いて集計

診断年	男性	女性	全体
2013年	883	614	1,497
2014年	933	610	1,543
2015年	939	666	1,605
合計	2,755	1,890	4,645

### ◇症例区分2・3のみを集計

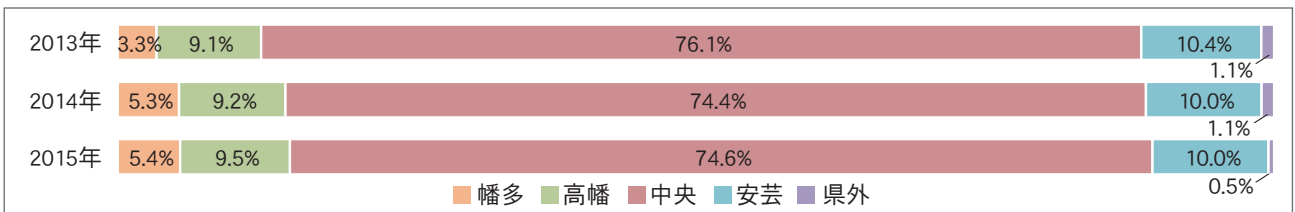
診断年	男性	女性	全体
2013年	819	529	1,348
2014年	858	522	1,380
2015年	857	588	1,445
合計	2,534	1,639	4,173



## 2. 診断時住所の医療圏別割合

※症例区分2・3のみを集計

医療圏	幡多 件数 (%)	高幡 件数 (%)	中央 件数 (%)	安芸 件数 (%)	県外 件数 (%)
2013年	45 (3.3)	122 (9.1)	1,026 (76.1)	140 (10.4)	15 (1.1)
2014年	73 (5.3)	127 (9.2)	1,027 (74.4)	138 (10.0)	15 (1.1)
2015年	78 (5.4)	137 (9.5)	1,078 (74.6)	145 (10.0)	7 (0.5)



## 3. 年齢階級別登録割合

※症例区分2・3のみを集計

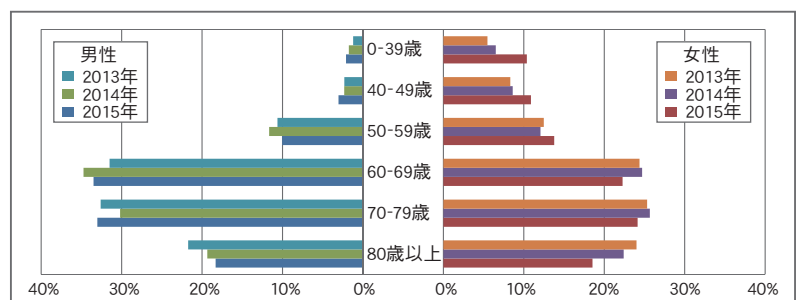
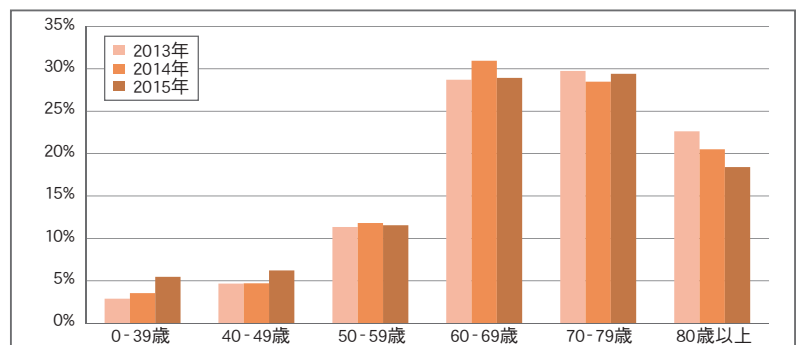
全体	2013年 件数 (%)	2014年 件数 (%)	2015年 件数 (%)
0-39歳	39 (2.9)	49 (3.6)	79 (5.5)
40-49歳	63 (4.7)	65 (4.7)	90 (6.2)
50-59歳	153 (11.4)	163 (11.8)	167 (11.6)
60-69歳	387 (28.7)	427 (30.9)	418 (28.9)
70-79歳	401 (29.7)	393 (28.5)	425 (29.4)
80歳以上	305 (22.6)	283 (20.5)	266 (18.4)

男性	2013年 件数 (%)	2014年 件数 (%)	2015年 件数 (%)
0-39歳	10 (1.2)	15 (1.7)	18 (2.1)
40-49歳	19 (2.3)	20 (2.3)	26 (3.0)
50-59歳	87 (10.6)	100 (11.7)	86 (10.0)
60-69歳	258 (31.5)	298 (34.7)	287 (33.5)
70-79歳	267 (32.6)	259 (30.2)	283 (33.0)
80歳以上	178 (21.7)	166 (19.3)	157 (18.3)

女性	2013年 件数 (%)	2014年 件数 (%)	2015年 件数 (%)
0-39歳	29 (5.5)	34 (6.5)	61 (10.4)
40-49歳	44 (8.3)	45 (8.6)	64 (10.9)
50-59歳	66 (12.5)	63 (12.1)	81 (13.8)
60-69歳	129 (24.4)	129 (24.7)	131 (22.3)
70-79歳	134 (25.3)	134 (25.7)	142 (24.1)
80歳以上	127 (24.0)	117 (22.4)	109 (18.5)

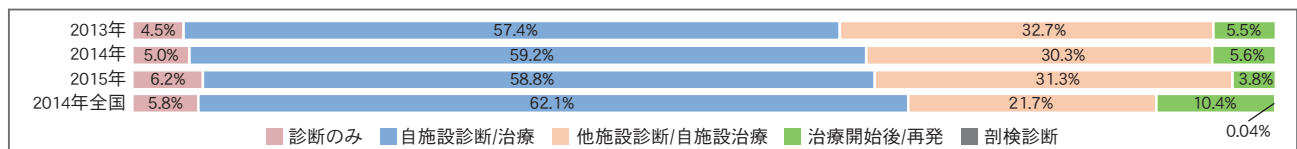


※症例区分「8. その他」を除いて集計

## 4. 症例区分

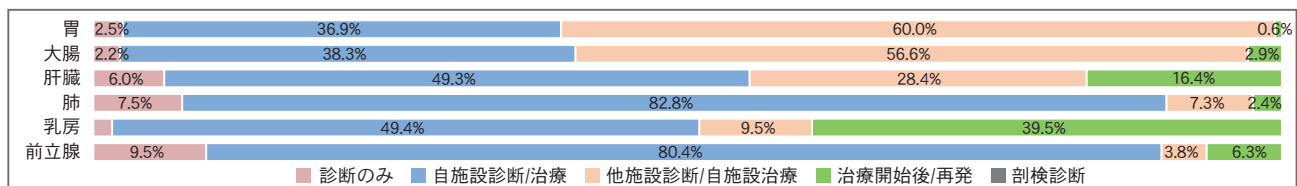
### 4-1. 症例区分

	診断のみ	自施設診断/治療	他施設診断/ 自施設治療	治療開始後/再発	剖検診断
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
2013年	67 (4.5)	859 (57.4)	489 (32.7)	82 (5.5)	0 (0.0)
2014年	77 (5.0)	913 (59.2)	467 (30.3)	86 (5.6)	0 (0.0)
2015年	99 (6.2)	943 (58.8)	502 (31.3)	61 (3.8)	0 (0.0)
2014年全国	37,126 (5.8)	399,409 (62.1)	139,655 (21.7)	67,032 (10.4)	258 (0.04)



### 4-2 症例区分 部位別 2013年-2015年

	診断のみ	自施設診断/治療	他施設診断/ 自施設治療	治療開始後/再発	剖検診断
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
胃	21 (2.5)	310 (36.9)	505 (60.0)	5 (0.6)	0 (0.0)
大腸	18 (2.2)	309 (38.3)	456 (56.6)	23 (2.9)	0 (0.0)
肝臓	12 (6.0)	99 (49.3)	57 (28.4)	33 (16.4)	0 (0.0)
肺	37 (7.5)	410 (82.8)	36 (7.3)	12 (2.4)	0 (0.0)
乳房	-- --	125 (49.4)	24 (9.5)	100 (39.5)	0 (0.0)
前立腺	15 (9.5)	127 (80.4)	6 (3.8)	10 (6.3)	0 (0.0)



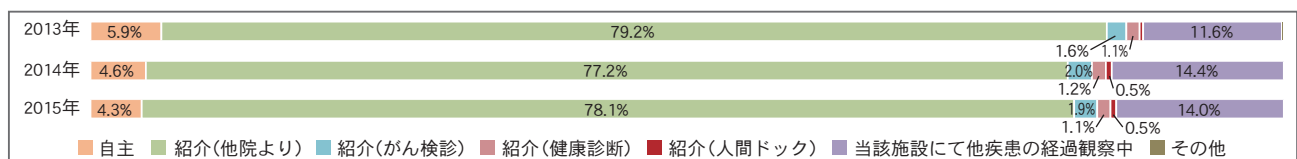
※大腸は結腸と直腸の合計

## 5. 来院経路

### 5-1. 来院経路

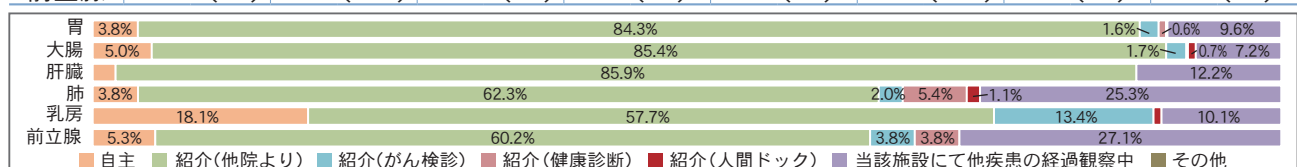
※症例区分2・3のみを集計

	自主	紹介 (他院より)	紹介 (がん検診)	紹介 (健康診断)	紹介 (人間ドック)	当該施設にて 他疾患の経過観察中	剖検にて	その他
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
2013年	80 (5.9)	1,068 (79.2)	22 (1.6)	15 (1.1)	-- --	157 (11.6)	0 (0.0)	-- --
2014年	64 (4.6)	1,066 (77.2)	28 (2.0)	16 (1.2)	7 (0.5)	199 (14.4)	0 (0.0)	0 (0.0)
2015年	62 (4.3)	1,129 (78.1)	28 (1.9)	16 (1.1)	7 (0.5)	203 (14.0)	0 (0.0)	0 (0.0)



### 5-2. 来院経路 部位別 2013年-2015年

	自主	紹介 (他院より)	紹介 (がん検診)	紹介 (健康診断)	紹介 (人間ドック)	当該施設にて 他疾患の経過観察中	剖検にて	その他
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
胃	31 (3.8)	687 (84.3)	13 (1.6)	5 (0.6)	-- --	78 (9.6)	0 (0.0)	0 (0.0)
大腸	38 (5.0)	653 (85.4)	13 (1.7)	-- --	5 (0.7)	55 (7.2)	0 (0.0)	0 (0.0)
肝臓	-- --	134 (85.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	19 (12.2)	0 (0.0)	0 (0.0)
肺	17 (3.8)	278 (62.3)	9 (2.0)	24 (5.4)	5 (1.1)	113 (25.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
乳房	27 (18.1)	86 (57.7)	20 (13.4)	0 (0.0)	-- --	15 (10.1)	0 (0.0)	0 (0.0)
前立腺	7 (5.3)	80 (60.2)	5 (3.8)	5 (3.8)	0 (0.0)	36 (27.1)	0 (0.0)	0 (0.0)



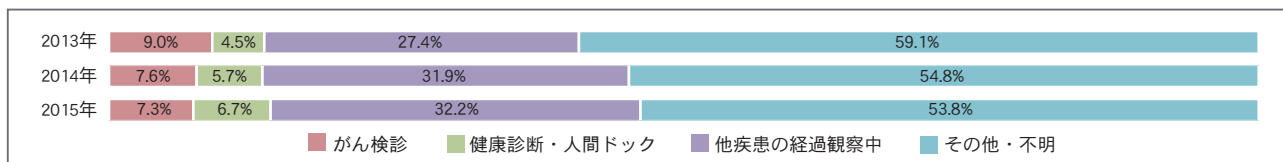
※大腸は結腸と直腸の合計

※症例区分2・3のみを集計

## 6. 発見経緯

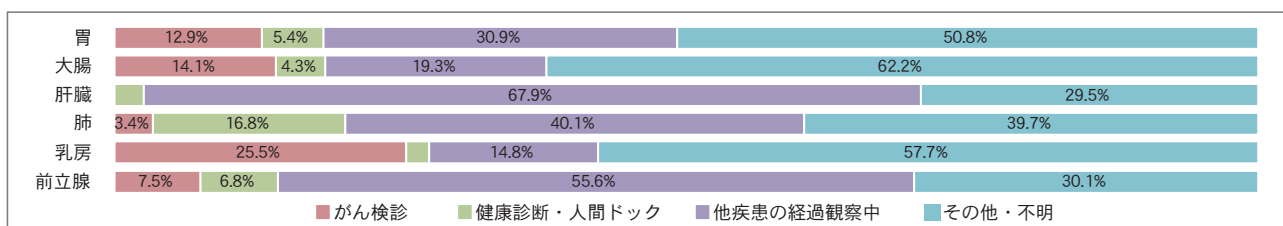
### 6-1. 発見経緯

	がん検診 件数 (%)	健康診断・人間ドック 件数 (%)	他疾患の経過観察中 件数 (%)	剖検発見 件数 (%)	その他・不明 件数 (%)
2013年	121 (9.0)	61 (4.5)	369 (27.4)	0 (0.0)	797 (59.1)
2014年	105 (7.6)	79 (5.7)	440 (31.9)	0 (0.0)	756 (54.8)
2015年	106 (7.3)	97 (6.7)	465 (32.2)	0 (0.0)	777 (53.8)



### 6-2. 発見経緯 部位別 2013年-2015年

	がん検診 件数 (%)	健康診断・人間ドック 件数 (%)	他疾患の経過観察中 件数 (%)	剖検発見 件数 (%)	その他・不明 件数 (%)
胃	105 (12.9)	44 (5.4)	252 (30.9)	0 (0.0)	414 (50.8)
大腸	108 (14.1)	33 (4.3)	148 (19.3)	0 (0.0)	476 (62.2)
肝臓	0 (0.0)	--	106 (67.9)	0 (0.0)	46 (29.5)
肺	15 (3.4)	75 (16.8)	179 (40.1)	0 (0.0)	177 (39.7)
乳房	38 (25.5)	--	22 (14.8)	0 (0.0)	86 (57.7)
前立腺	10 (7.5)	9 (6.8)	74 (55.6)	0 (0.0)	40 (30.1)



※大腸は結腸と直腸の合計

## 7. 部位

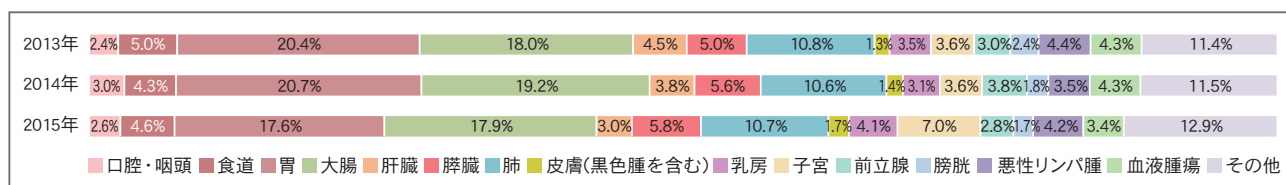
### 7-1. 部位別登録数の上位5部位

順位	2013年		2014年		2015年	
	部位名	件数 (%)	部位名	件数 (%)	部位名	件数 (%)
1	胃	275 (20.4)	胃	285 (20.7)	胃	255 (17.6)
2	結腸	162 (12.0)	結腸	171 (12.4)	結腸	159 (11.0)
3	肺	145 (10.8)	肺	146 (10.6)	肺	155 (10.7)
4	直腸	80 (5.9)	直腸	94 (6.8)	直腸	99 (6.9)
5	膵臓	68 (5.0)	膵臓	77 (5.6)	膵臓	84 (5.8)
					子宮頸部	84 (5.8)

◇結腸・直腸の合計を『大腸』、子宮頸部・子宮体部・子宮の合計を『子宮』、多発性骨髄腫・白血病・その他の造血器の合計を『血液腫瘍』とした場合

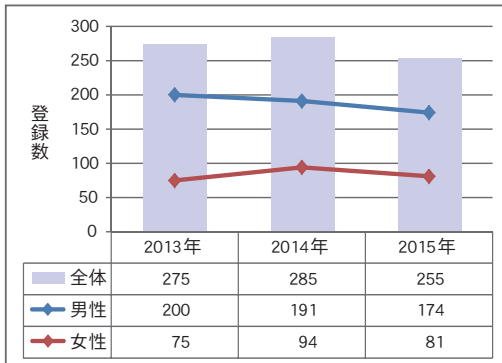
順位	2013年		2014年		2015年	
	部位名	件数 (%)	部位名	件数 (%)	部位名	件数 (%)
1	胃	275 (20.4)	胃	285 (20.7)	大腸	258 (17.9)
2	大腸	242 (18.0)	大腸	265 (19.2)	胃	255 (17.6)
3	肺	145 (10.8)	肺	146 (10.6)	肺	155 (10.7)
4	膵臓	68 (5.0)	膵臓	77 (5.6)	子宮	101 (7.0)
5	食道	67 (5.0)	食道	60 (4.3)	膵臓	84 (5.8)

### 7-2. 部位別の割合

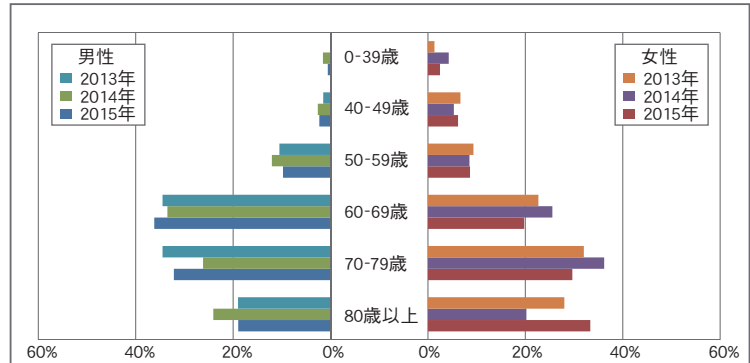


※症例区分2・3のみを集計

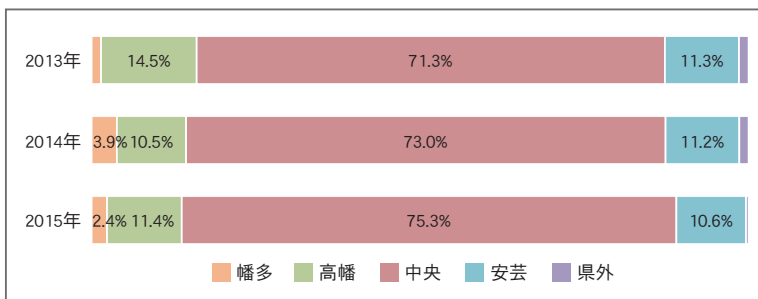
## 1. 登録数



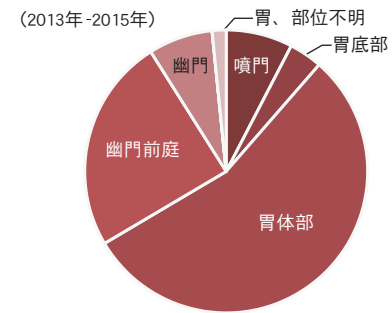
## 2. 性別 年齢階級別 登録割合



## 3. 医療圏別 登録割合

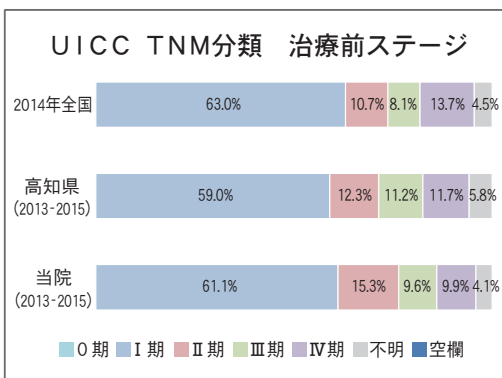


## 4. 詳細部位別 登録割合

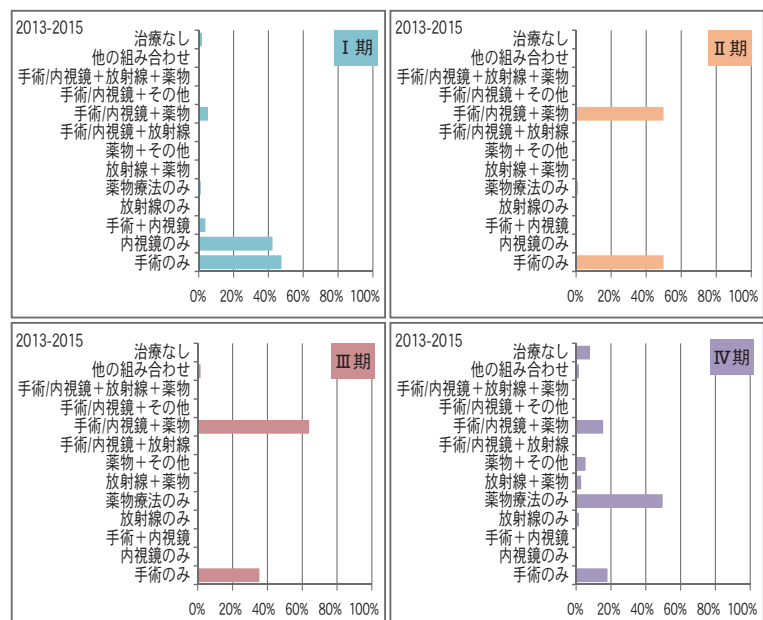


## 5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	0.0%	63.0%	10.7%	8.1%	13.7%	4.5%	0.0%
高知県 (2013年-2015年)	0.0%	59.0%	12.3%	11.2%	11.7%	5.8%	0.0%
当院 (2013年-2015年)	0.0%	61.1%	15.3%	9.6%	9.9%	4.1%	0.0%
件数	0	490	123	77	79	33	0



## 6. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合



※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

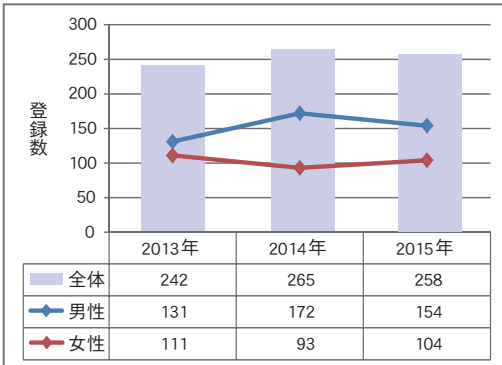
高知医療センターで登録された胃の症例のうち、自施設で初回治療された件数は、2013年275件、2014年285件、2015年255件となっています。年齢階級別では60歳以上の割合が高く、男女別では男性に多くなっています。治療前ステージ別の登録割合はI期が最も多く、2014年全国、高知県全体と比較すると、II期の割合は高く、IV期の割合が低くなっています。I期の治療方法の割合は、手術のみの症例が最も多く、続いて内視鏡のみの症例が多くなっていますが、高知県全体では内視鏡のみの症例が最も多くなっています。

# 大腸

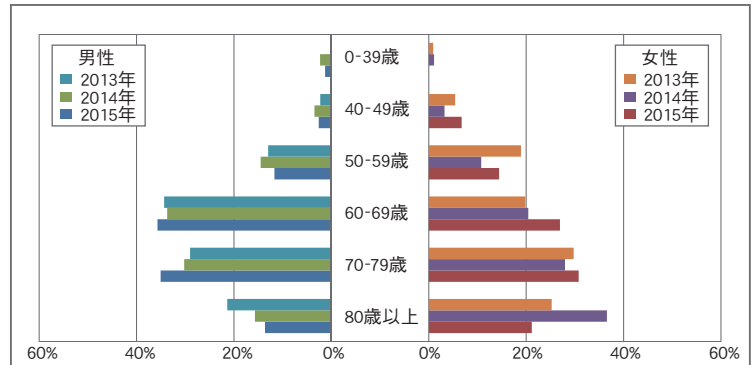
高知医療センター

※症例区分2・3のみを集計

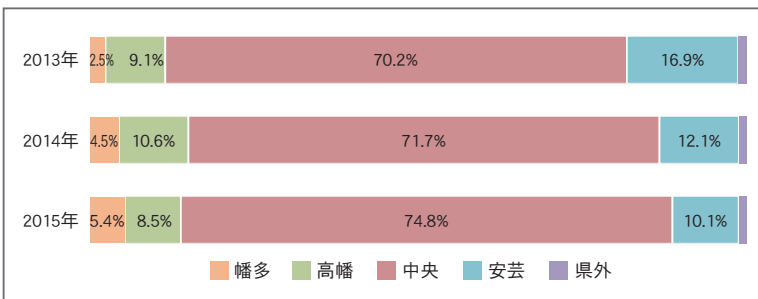
## 1. 登録数



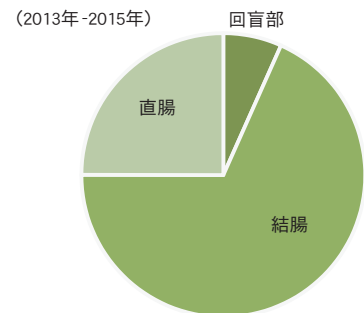
## 2. 性別 年齢階級別 登録割合



## 3. 医療圏別 登録割合

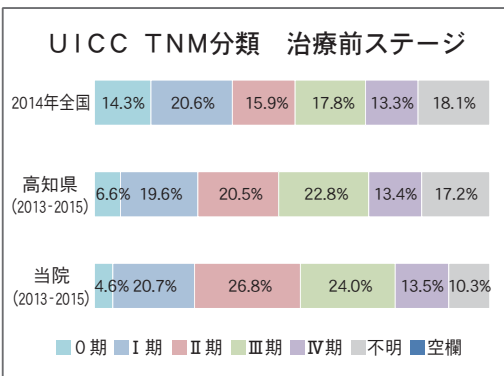


## 4. 詳細部位別 登録割合

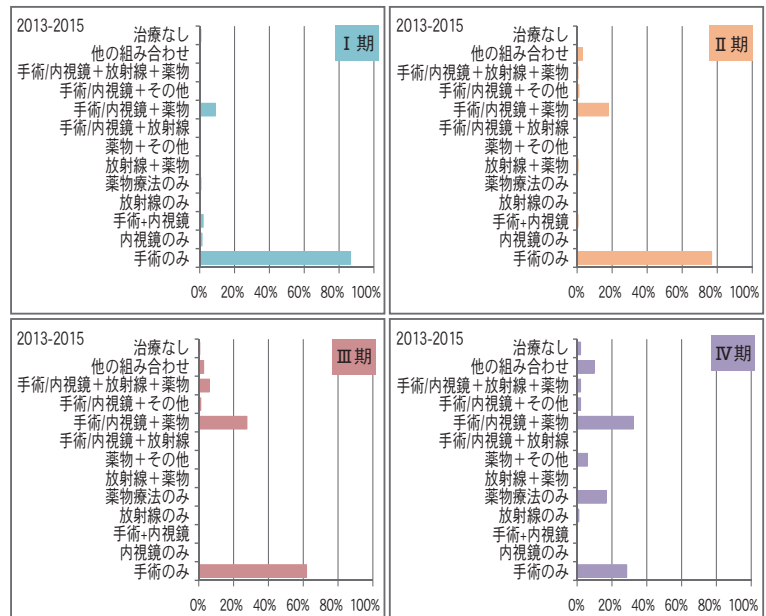


## 5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	14.3%	20.6%	15.9%	17.8%	13.3%	18.1%	0.0%
高知県 (2013年-2015年)	6.6%	19.6%	20.5%	22.8%	13.4%	17.2%	0.0%
当院 (2013年-2015年)	4.6%	20.7%	26.8%	24.0%	13.5%	10.3%	0.0%
件数	35	156	202	181	102	78	0



## 6. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合



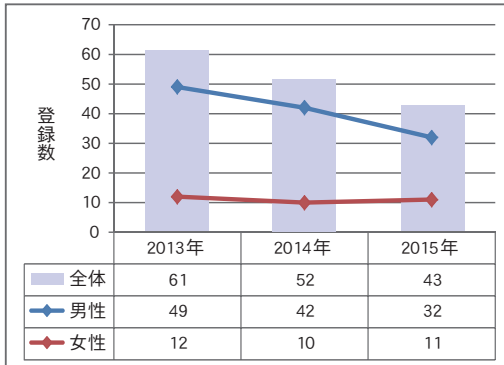
※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

高知医療センターで登録された大腸の症例のうち、自施設で初回治療された件数は、2013年242件、2014年265件、2015年258件となっています。年齢階級別では60歳以上の割合が高く、男女別では男性に多くなっています。治療前ステージの登録割合は、2014年全国、高知県全体と比較すると0期の割合が低く、II期とIII期の割合が高くなっています。治療方法割合はI期、II期、III期ともに手術のみの症例が最も多く、続いて手術もしくは内視鏡に薬物療法を併用した症例が多くなっています。

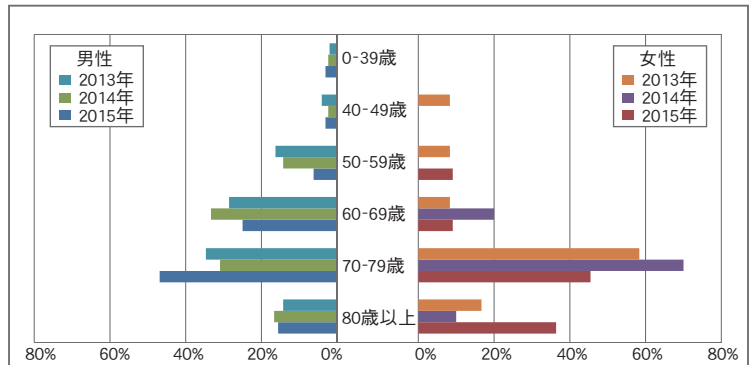


※症例区分2・3のみを集計

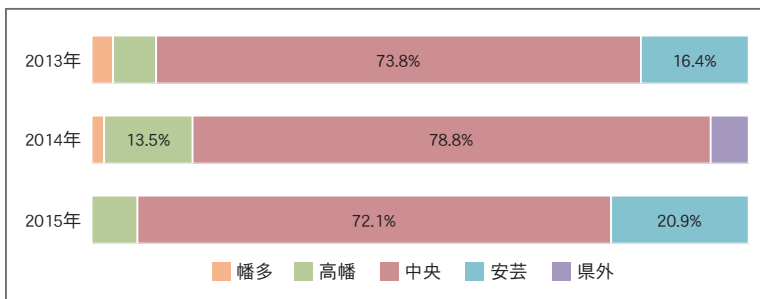
## 1. 登録数



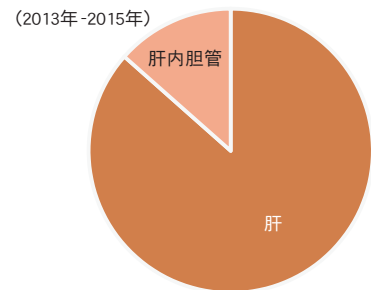
## 2. 性別 年齢階級別 登録割合



## 3. 医療圏別 登録割合

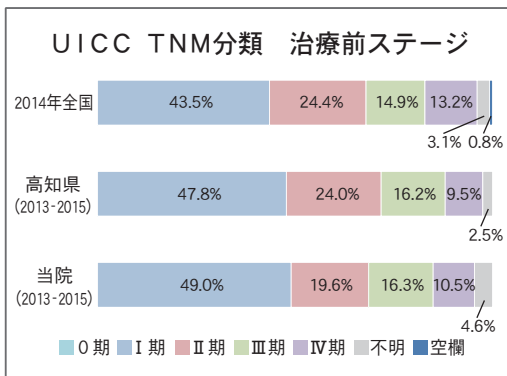


## 4. 詳細部位別 登録割合

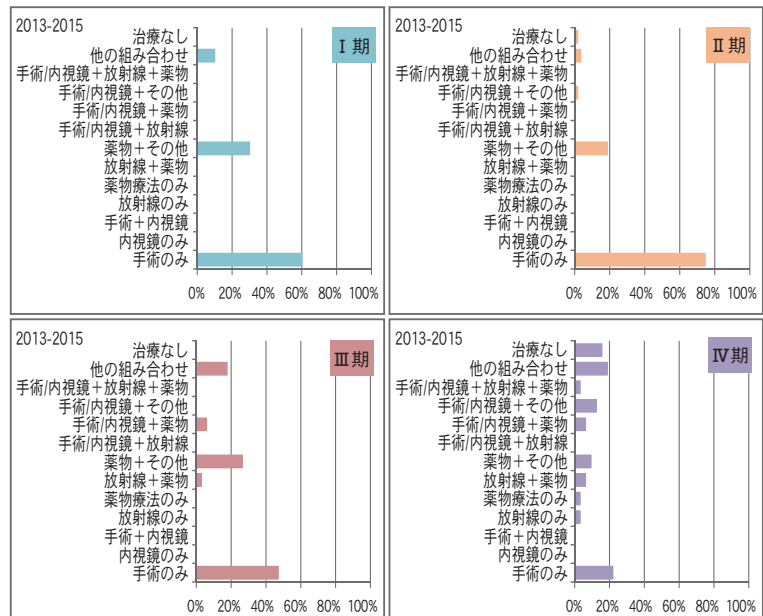


## 5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	0.0%	43.5%	24.4%	14.9%	13.2%	3.1%	0.8%
高知県 (2013年-2015年)	0.0%	47.8%	24.0%	16.2%	9.5%	2.5%	0.0%
当院 (2013年-2015年)	0.0%	49.0%	19.6%	16.3%	10.5%	4.6%	0.0%
件数	0	75	30	25	16	7	0



## 6. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合

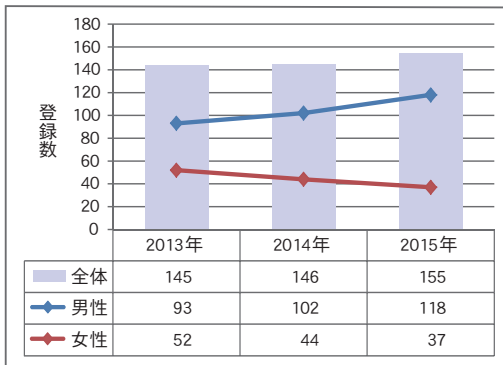


※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

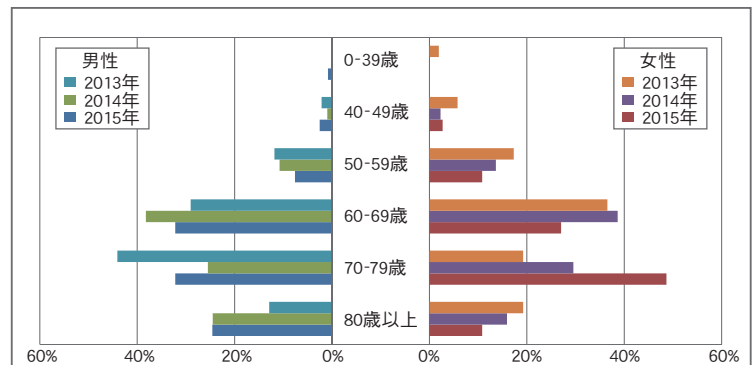
高知医療センターで登録された肝臓の症例のうち、自施設で初回治療された件数は、2013年61件、2014年52件、2015年43件となっています。年齢階級別では70歳代の割合が最も高く、男女別では男性に多くなっています。治療前ステージの登録割合はI期が最も高く、II期は2014年全国、高知県全体と比較して低くなっています。治療方法割合は、I期、II期、III期ともに手術のみの症例が最も多く、続いて薬物療法にその他の治療を併用した症例が多くなっています。IV期では治療方法にばらつきがみられます。

※症例区分2・3のみを集計

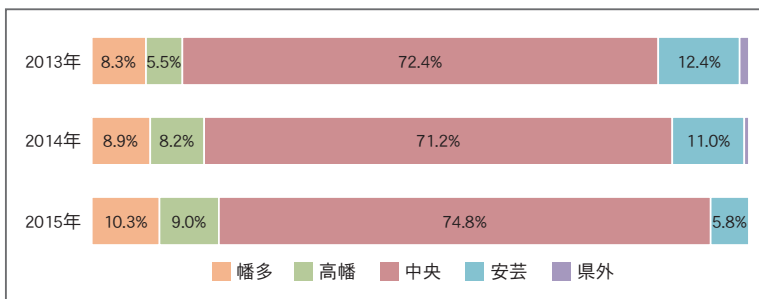
## 1. 登録数



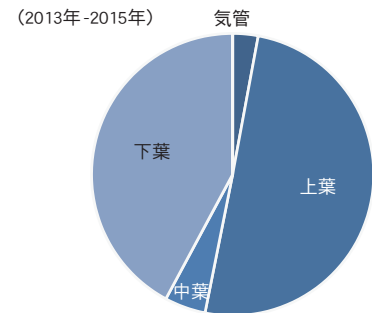
## 2. 性別 年齢階級別 登録割合



## 3. 医療圏別 登録割合

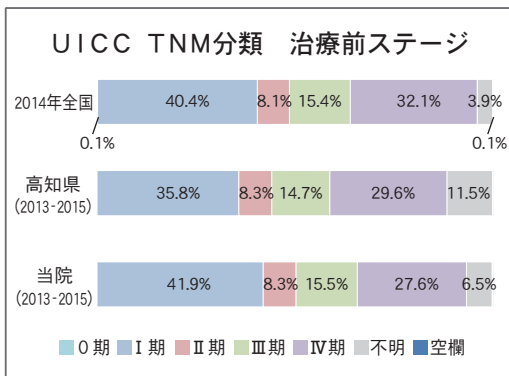


## 4. 詳細部位別 登録割合

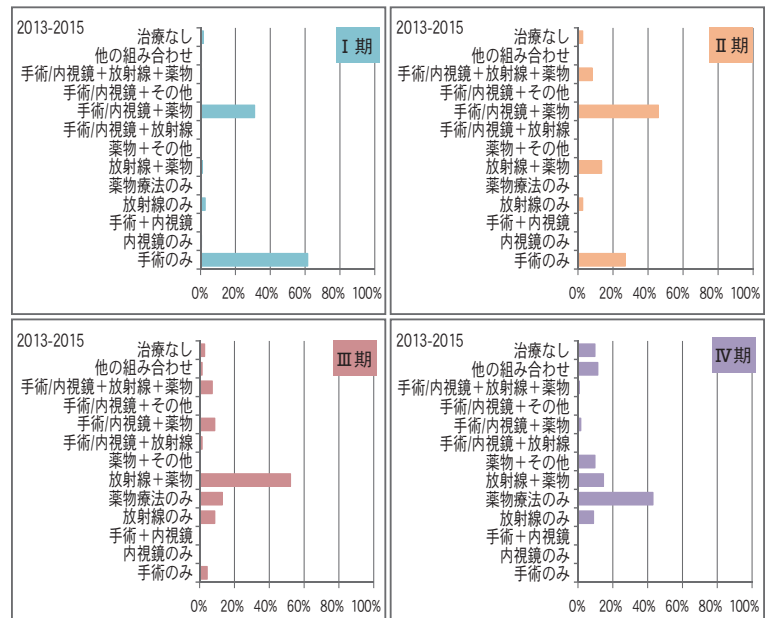


## 5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	0.1%	40.4%	8.1%	15.4%	32.1%	3.9%	0.1%
高知県 (2013年-2015年)	0.0%	35.8%	8.3%	14.7%	29.6%	11.5%	--
当院 (2013年-2015年)	0.0%	41.9%	8.3%	15.5%	27.6%	6.5%	--
件数	0	187	37	69	123	29	--



## 6. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合

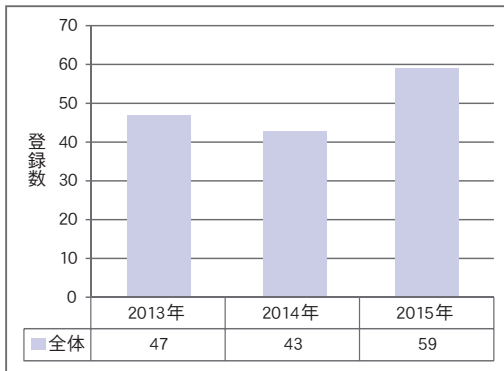


※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

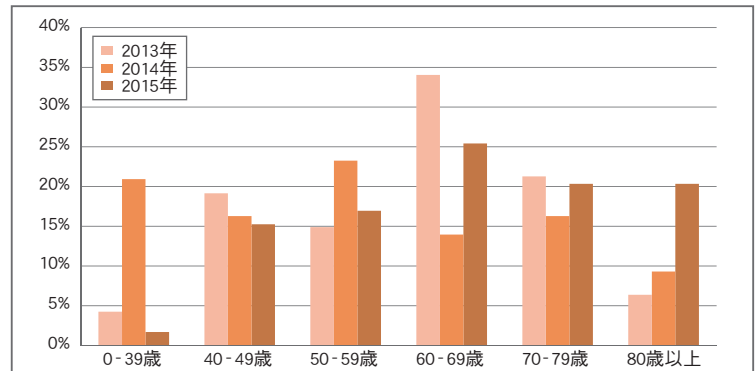
高知医療センターで登録された肺の症例のうち、自施設で初回治療された件数は、2013年145件、2014年146件、2015年155件となっています。年齢階級別では60歳以上の割合が高く、男女別では大きな差はありません。治療前ステージ別の登録割合はI期が最も多く、2014年全国集計とほぼ同等ですが高知県全体と比べると早期発見が多いと思われます。I期に次いで多いのはIV期になります。治療方法ではI期の場合、手術のみの症例が60%と半数以上を占めていますがIV期になると手術のみの症例は0件となっています。

※症例区分2・3のみを集計

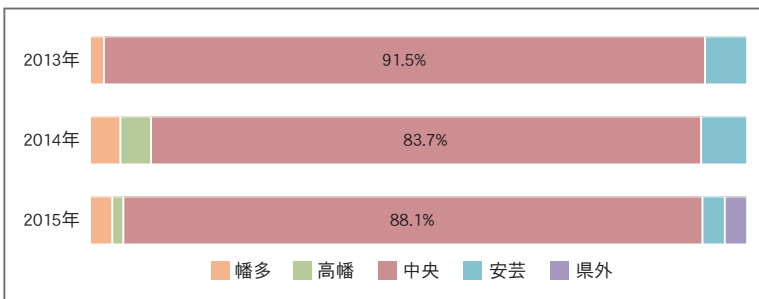
## 1. 登録数



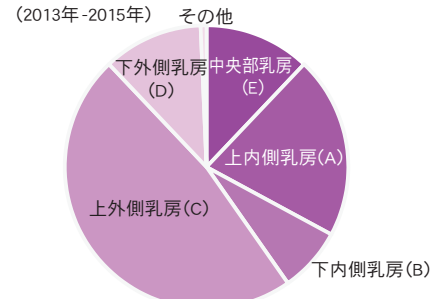
## 2. 性別 年齢階級別 登録割合



## 3. 医療圏別 登録割合

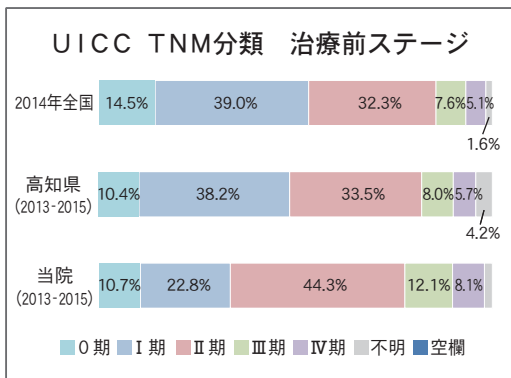


## 4. 詳細部位別 登録割合

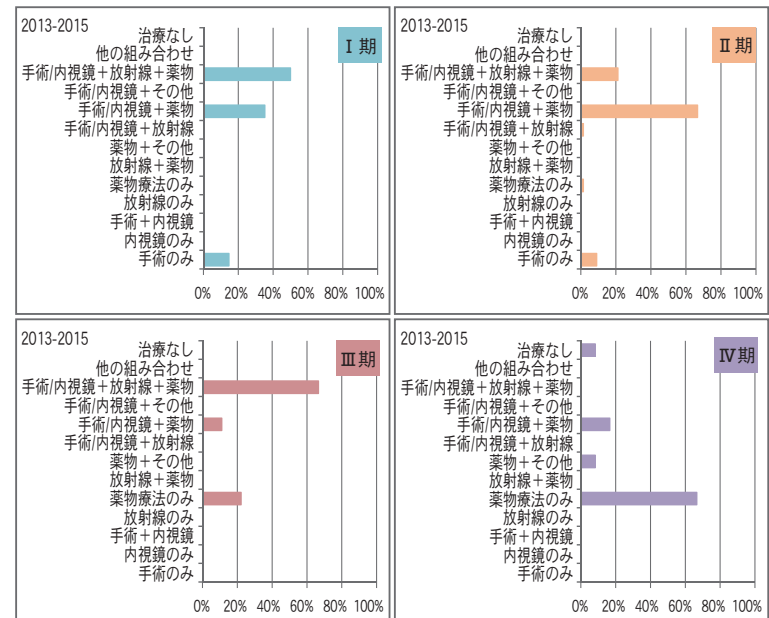


## 5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	14.5%	39.0%	32.3%	7.6%	5.1%	1.6%	0.0%
高知県 (2013年-2015年)	10.4%	38.2%	33.5%	8.0%	5.7%	4.2%	0.0%
当院 (2013年-2015年)	10.7%	22.8%	44.3%	12.1%	8.1%	--	0.0%
件数	16	34	66	18	12	--	0



## 6. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合



※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

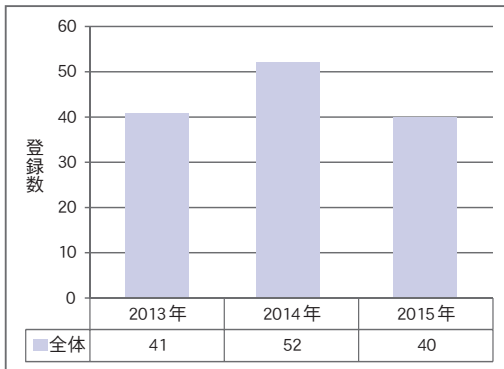
高知医療センターで登録された乳房の症例のうち、自施設で初回治療された件数は、2013年47件、2014年43件、2015年59件となっています。年齢階級別では、39歳までの方が大幅に減少傾向にあるのと比べて、80歳以上の方は年々増加傾向にあります。治療前ステージ別の登録割合では、2014年全国、高知県全体ともに最も多いのはI期になりますが、当院での最も多い治療前ステージはII期になります。治療方法ではI期からIII期では、手術、薬物、放射線療法の組み合わせが多いですがIV期になると薬物療法のみが最も多くなっています。

# 前立腺

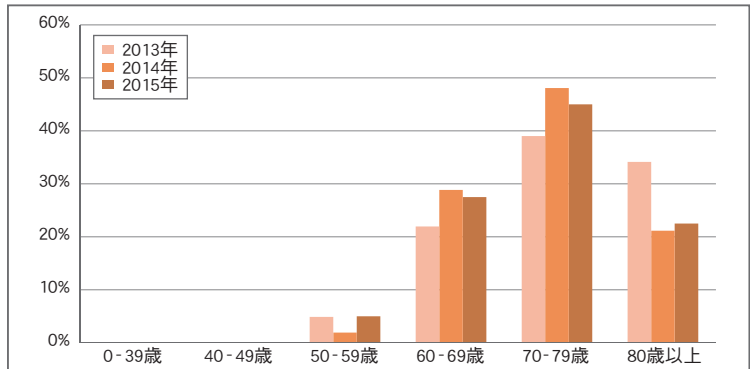
高知医療センター

※症例区分2・3のみを集計

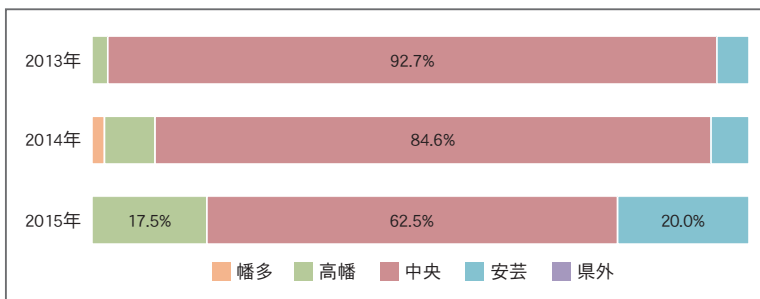
## 1. 登録数



## 2. 性別 年齢階級別 登録割合

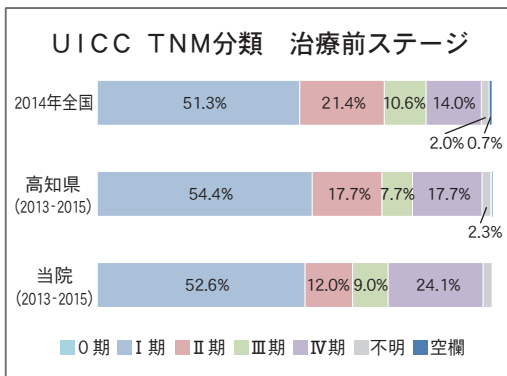


## 3. 医療圏別 登録割合

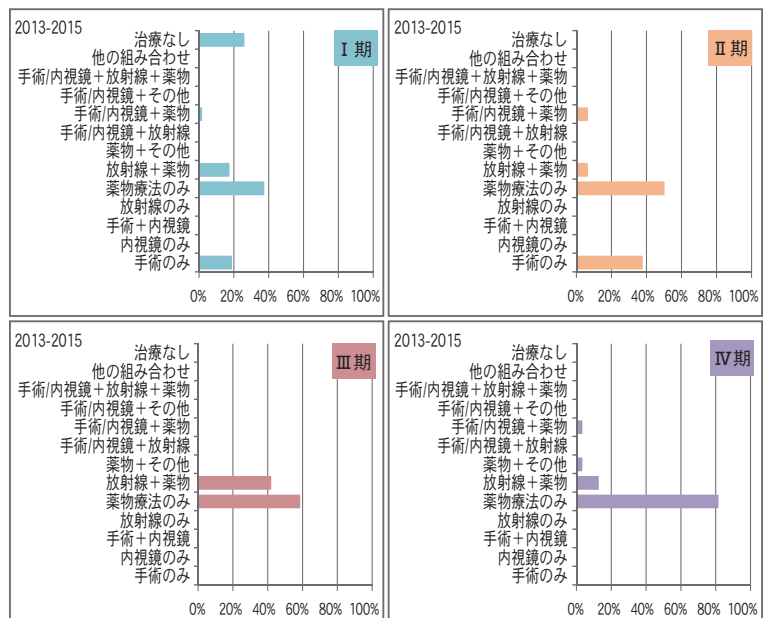


## 4. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	0.0%	51.3%	21.4%	10.6%	14.0%	2.0%	0.7%
高知県 (2013年-2015年)	0.0%	54.4%	17.7%	7.7%	17.7%	2.3%	--
当院 (2013年-2015年)	0.0%	52.6%	12.0%	9.0%	24.1%	--	0.0%
件数	0	70	16	12	32	--	0



## 5. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合



※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

高知医療センターで登録された前立腺の症例のうち、自施設で初回治療された件数は、2013年41件、2014年52件、2015年40件となっています。年齢階級別では、60歳代から増加傾向になり70歳代が最も多くなっています。治療前ステージ別の登録割合は、2014年全国、高知県全体と同じく I 期が最も多くなっています。治療方法では I 期の場合、治療なしの経過観察を選択される割合も多く、また、I 期から IV 期を通して薬物療法での治療が多いことがわかります。

病院名	日本赤十字社 高知赤十字病院
住所	〒780-8562 高知県高知市新本町2-13-51
ホームページ	<a href="http://kochi-med.jrc.or.jp/">http://kochi-med.jrc.or.jp/</a>

診療科	循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、糖尿病腎臓内科、外科、呼吸器外科、脳神経外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、小児科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科、精神科、心療内科、神経内科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、病理診断科部
病床数	468床（一般：456床、特別療養環境室としている病床121床） 平成29年4月1日現在

高知赤十字病院は、昭和3年の創立以来、人道・博愛の赤十字精神を基に、医療機能の充実、医療の質の向上、保健衛生に関わる社会活動などに力を入れ、地域の皆様から愛され親しまれ信頼される病院を目指してきました。また、地域のがん診療の中核病院として、高知県からがん診療連携推進病院として指定を受け、がん診療の体制を更に充実させ、患者さん1人ひとりに最先端の情報と高度の医療が提供できるよう努めています。

当院では各種のがんに対し、それぞれの専門医が標準的な診療を行うとともに、手術治療、放射線治療、薬物療法を効果的に組み合わせた「集学的治療」を行っています。特に外科的治療においては、適応のある症例には腹腔鏡・胸腔鏡・内視鏡の治療を実施し身体的負担の軽減と在院日数の短縮を図り、安心・安全な手術を心掛けています。

また、がん診療の早期から、多職種からなる「緩和ケアチーム」が、痛みや気持ちのつらさ、不安を緩和しながら治療を受けるサポートを行っています。その他、がん相談員が、がんに関するさまざまなご相談をお受けする「がん相談支援センター」や、がん患者さんやそのご家族が悩みや不安、体験、生活上の工夫などを安心して語り合っていたくための場所として、「にっせきサロンとさみずき」を開催しています。サロンでは多職種からのミニ勉強会と、栄養課からおやつを提供を行い参加しやすいよう取り組んでいます。さらに、市民公開講座の開催や、地域住民を対象としたがんや緩和ケアについてのミニ講座に出向くなど、がんに関するさまざまな情報提供を行っています。なお、新病院建設は、平成31年春の開院に向け現在建築が進んでいます。高知県全体のがん登録集計が冊子としてまとめられることで、高知県全体のがん診療の実態が明らかになり、それぞれの医療機関、そして当院のがん診療に対する特徴が把握できます。今後は、これらの情報を活用し、他のがん診療連携病院と連携を取りながら、ひとりでも多くのがん患者さんへ、安全で質の高い切れ目のない医療が提供できるよう高知県のがん医療に貢献して参りたいと考えます。

（高知赤十字病院 院長 浜口 伸正）

#### ＜施設別集計について＞

当院のがん登録件数は年々増加し、2013年から2015年で90件ほど増えています。部位別登録数については、登録上位3部位（胃・結腸・肺）は変化を認めませんが、2015年には乳房を抜いて前立腺が4位となっています。医療圏でみると当院が位置する中央医療圏からの来院患者が多く90%前後を占めています。年齢別構成では、70歳以上の割合（61.4%）が高知県（53.4%）と比べ高く、また、症例区分では、自施設診断／治療の割合（68.6%）が高知県（61.3%）と比べ高いという特徴が見られました。

# 全部位

## 1. 登録数

### ◇登録件数

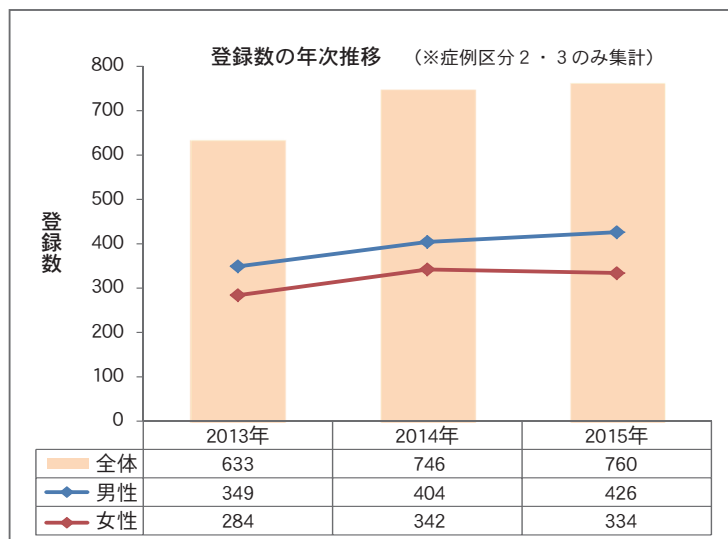
診断年	男性	女性	全体
2013年	447	385	832
2014年	466	400	866
2015年	510	410	920
合計	1,423	1,195	2,618

### ◇症例区分「8. その他」を除いて集計

診断年	男性	女性	全体
2013年	447	385	832
2014年	466	400	866
2015年	510	410	920
合計	1,423	1,195	2,618

### ◇症例区分2・3のみを集計

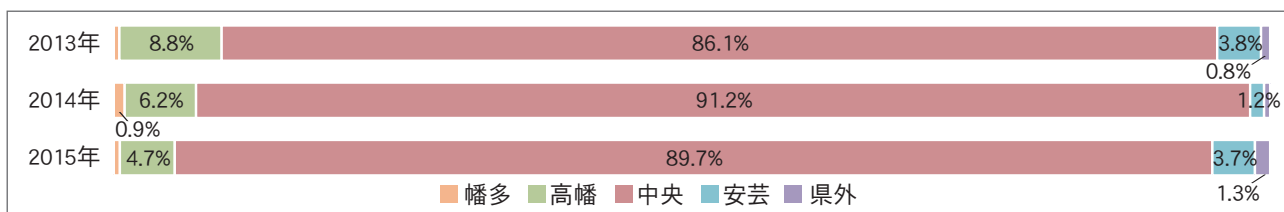
診断年	男性	女性	全体
2013年	349	284	633
2014年	404	342	746
2015年	426	334	760
合計	1,179	960	2,139



## 2. 診断時住所の医療圏別割合

※症例区分2・3のみを集計

医療圏	幡多 件数 (%)	高幡 件数 (%)	中央 件数 (%)	安芸 件数 (%)	県外 件数 (%)
2013年	-- --	56 (8.8)	545 (86.1)	24 (3.8)	5 (0.8)
2014年	7 (0.9)	46 (6.2)	680 (91.2)	9 (1.2)	-- --
2015年	-- --	36 (4.7)	682 (89.7)	28 (3.7)	10 (1.3)



## 3. 年齢階級別登録割合

※症例区分2・3のみを集計

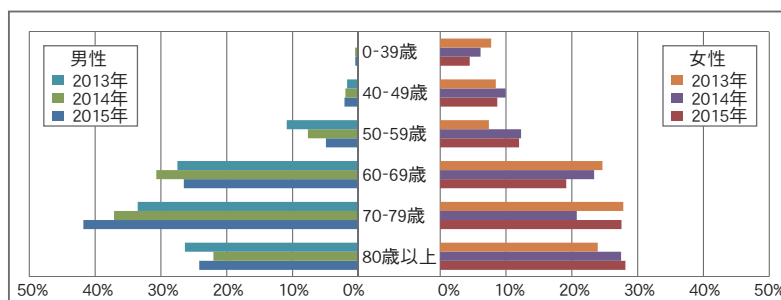
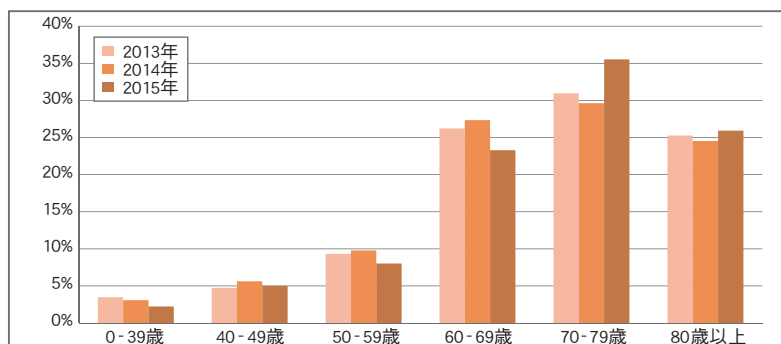
全体	2013年 件数 (%)	2014年 件数 (%)	2015年 件数 (%)
0-39歳	22 (3.5)	23 (3.1)	17 (2.2)
40-49歳	30 (4.7)	42 (5.6)	38 (5.0)
50-59歳	59 (9.3)	73 (9.8)	61 (8.0)
60-69歳	166 (26.2)	204 (27.3)	177 (23.3)
70-79歳	196 (31.0)	221 (29.6)	270 (35.5)
80歳以上	160 (25.3)	183 (24.5)	197 (25.9)

男性	2013年 件数 (%)	2014年 件数 (%)	2015年 件数 (%)
0-39歳	0 (0.0)	-- --	-- --
40-49歳	6 (1.7)	8 (2.0)	9 (2.1)
50-59歳	38 (10.9)	31 (7.7)	21 (4.9)
60-69歳	96 (27.5)	124 (30.7)	113 (26.5)
70-79歳	117 (33.5)	150 (37.1)	178 (41.8)
80歳以上	92 (26.4)	89 (22.0)	103 (24.2)

女性	2013年 件数 (%)	2014年 件数 (%)	2015年 件数 (%)
0-39歳	22 (7.7)	21 (6.1)	15 (4.5)
40-49歳	24 (8.5)	34 (9.9)	29 (8.7)
50-59歳	21 (7.4)	42 (12.3)	40 (12.0)
60-69歳	70 (24.6)	80 (23.4)	64 (19.2)
70-79歳	79 (27.8)	71 (20.8)	92 (27.5)
80歳以上	68 (23.9)	94 (27.5)	94 (28.1)

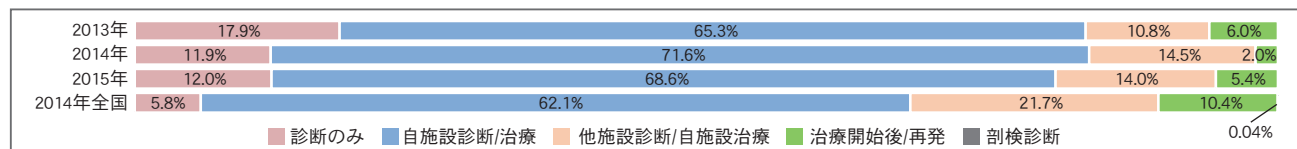


※症例区分「8. その他」を除いて集計

## 4. 症例区分

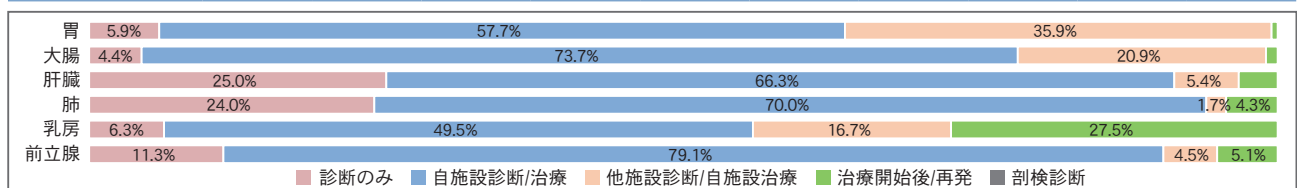
### 4-1. 症例区分

	診断のみ	自施設診断/治療	他施設診断/ 自施設治療	治療開始後/再発	剖検診断
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
2013年	149 (17.9)	543 (65.3)	90 (10.8)	50 (6.0)	0 (0.0)
2014年	103 (11.9)	620 (71.6)	126 (14.5)	17 (2.0)	0 (0.0)
2015年	110 (12.0)	631 (68.6)	129 (14.0)	50 (5.4)	0 (0.0)
2014年全国	37,126 (5.8)	399,409 (62.1)	139,655 (21.7)	67,032 (10.4)	258 (0.04)



### 4-2 症例区分 部位別 2013年-2015年

	診断のみ	自施設診断/治療	他施設診断/ 自施設治療	治療開始後/再発	剖検診断
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
胃	23 (5.9)	225 (57.7)	140 (35.9)	--	0 (0.0)
大腸	18 (4.4)	300 (73.7)	85 (20.9)	--	0 (0.0)
肝臓	23 (25.0)	61 (66.3)	5 (5.4)	--	0 (0.0)
肺	72 (24.0)	210 (70.0)	5 (1.7)	13 (4.3)	0 (0.0)
乳房	14 (6.3)	110 (49.5)	37 (16.7)	61 (27.5)	0 (0.0)
前立腺	20 (11.3)	140 (79.1)	8 (4.5)	9 (5.1)	0 (0.0)



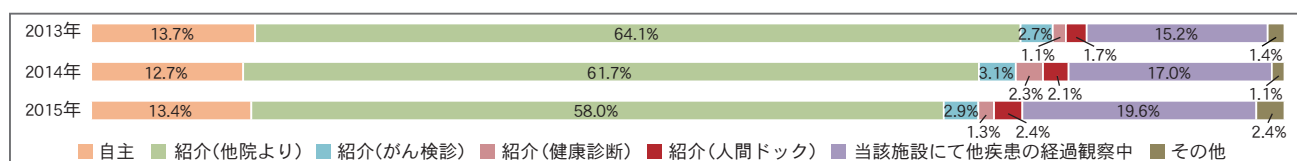
※大腸は結腸と直腸の合計

## 5. 来院経路

### 5-1. 来院経路

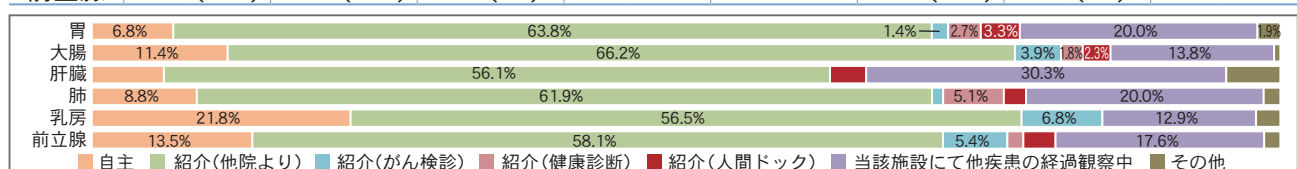
※症例区分2・3のみを集計

	自主	紹介 (他院より)	紹介 (がん検診)	紹介 (健康診断)	紹介 (人間ドック)	当該施設にて 他疾患の経過観察中	剖検にて	その他
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
2013年	87 (13.7)	406 (64.1)	17 (2.7)	7 (1.1)	11 (1.7)	96 (15.2)	0 (0.0)	9 (1.4)
2014年	95 (12.7)	460 (61.7)	23 (3.1)	17 (2.3)	16 (2.1)	127 (17.0)	0 (0.0)	8 (1.1)
2015年	102 (13.4)	441 (58.0)	22 (2.9)	10 (1.3)	18 (2.4)	149 (19.6)	0 (0.0)	18 (2.4)



### 5-2. 来院経路 部位別 2013年-2015年

	自主	紹介 (他院より)	紹介 (がん検診)	紹介 (健康診断)	紹介 (人間ドック)	当該施設にて 他疾患の経過観察中	剖検にて	その他
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
胃	25 (6.8)	233 (63.8)	5 (1.4)	10 (2.7)	12 (3.3)	73 (20.0)	0 (0.0)	7 (1.9)
大腸	44 (11.4)	255 (66.2)	15 (3.9)	7 (1.8)	9 (2.3)	53 (13.8)	0 (0.0)	--
肝臓	--	37 (56.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	--	20 (30.3)	0 (0.0)	--
肺	19 (8.8)	133 (61.9)	--	11 (5.1)	--	43 (20.0)	0 (0.0)	--
乳房	32 (21.8)	83 (56.5)	10 (6.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	19 (12.9)	0 (0.0)	--
前立腺	20 (13.5)	86 (58.1)	8 (5.4)	--	--	26 (17.6)	0 (0.0)	--



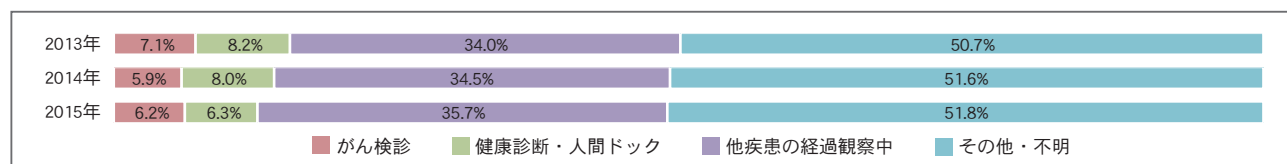
※大腸は結腸と直腸の合計

※症例区分2・3のみを集計

## 6. 発見経緯

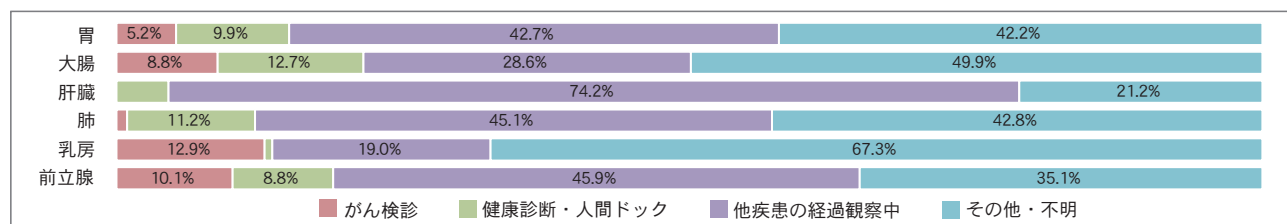
### 6-1. 発見経緯

	がん検診 件数 (%)	健康診断・人間ドック 件数 (%)	他疾患の経過観察中 件数 (%)	剖検発見 件数 (%)	その他・不明 件数 (%)
2013年	45 (7.1)	52 (8.2)	215 (34.0)	0 (0.0)	321 (50.7)
2014年	44 (5.9)	60 (8.0)	257 (34.5)	0 (0.0)	385 (51.6)
2015年	47 (6.2)	48 (6.3)	271 (35.7)	0 (0.0)	394 (51.8)



### 6-2. 発見経緯 部位別 2013年-2015年

	がん検診 件数 (%)	健康診断・人間ドック 件数 (%)	他疾患の経過観察中 件数 (%)	剖検発見 件数 (%)	その他・不明 件数 (%)
胃	19 (5.2)	36 (9.9)	156 (42.7)	0 (0.0)	154 (42.2)
大腸	34 (8.8)	49 (12.7)	110 (28.6)	0 (0.0)	192 (49.9)
肝臓	0 (0.0)	-- --	49 (74.2)	0 (0.0)	14 (21.2)
肺	-- --	24 (11.2)	97 (45.1)	0 (0.0)	92 (42.8)
乳房	19 (12.9)	-- --	28 (19.0)	0 (0.0)	99 (67.3)
前立腺	15 (10.1)	13 (8.8)	68 (45.9)	0 (0.0)	52 (35.1)



※大腸は結腸と直腸の合計

## 7. 部位

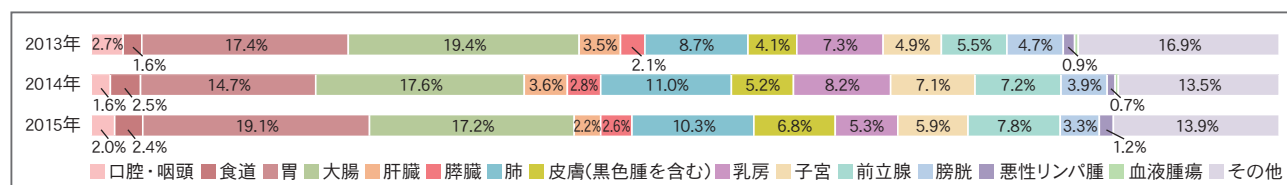
### 7-1. 部位別登録数の上位5部位

順位	2013年		2014年		2015年	
	部位名	件数 (%)	部位名	件数 (%)	部位名	件数 (%)
1	胃	110 (17.4)	胃	110 (14.7)	胃	145 (19.1)
2	結腸	79 (12.5)	結腸	97 (13.0)	結腸	83 (10.9)
3	肺	55 (8.7)	肺	82 (11.0)	肺	78 (10.3)
4	乳房	46 (7.3)	乳房	61 (8.2)	前立腺	59 (7.8)
5	直腸	44 (7.0)	前立腺	54 (7.2)	皮膚	52 (6.8)

◇結腸・直腸の合計を『大腸』、子宮頸部・子宮体部・子宮の合計を『子宮』、多発性骨髄腫・白血病・その他の造血器の合計を『血液腫瘍』とした場合

順位	2013年		2014年		2015年	
	部位名	件数 (%)	部位名	件数 (%)	部位名	件数 (%)
1	大腸	123 (19.4)	大腸	131 (17.6)	胃	145 (19.1)
2	胃	110 (17.4)	胃	110 (14.7)	大腸	131 (17.2)
3	肺	55 (8.7)	肺	82 (11.0)	肺	78 (10.3)
4	乳房	46 (7.3)	乳房	61 (8.2)	前立腺	59 (7.8)
5	前立腺	35 (5.5)	前立腺	54 (7.2)	皮膚	52 (6.8)

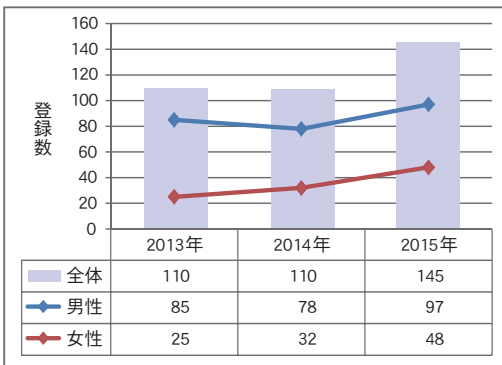
### 7-2. 部位別の割合



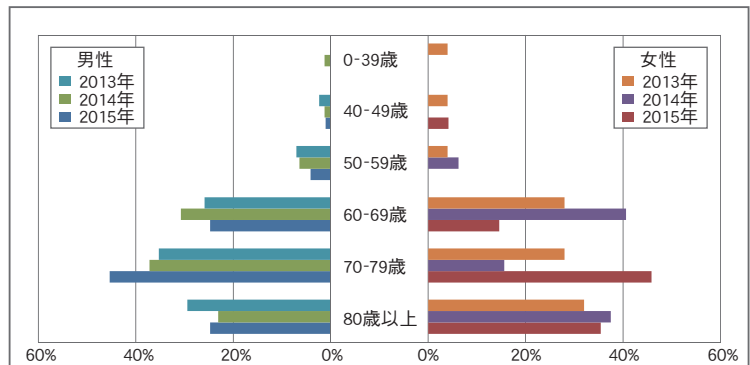


※症例区分2・3のみを集計

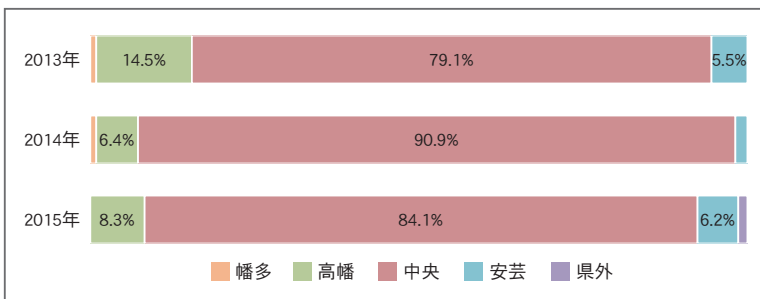
### 1. 登録数



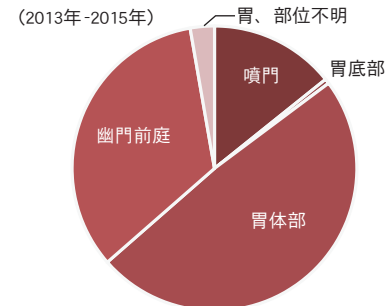
### 2. 性別 年齢階級別 登録割合



### 3. 医療圏別 登録割合

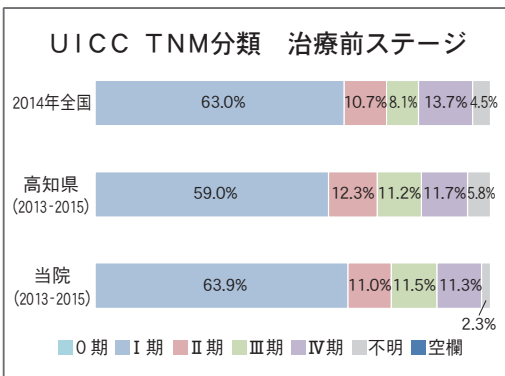


### 4. 詳細部位別 登録割合

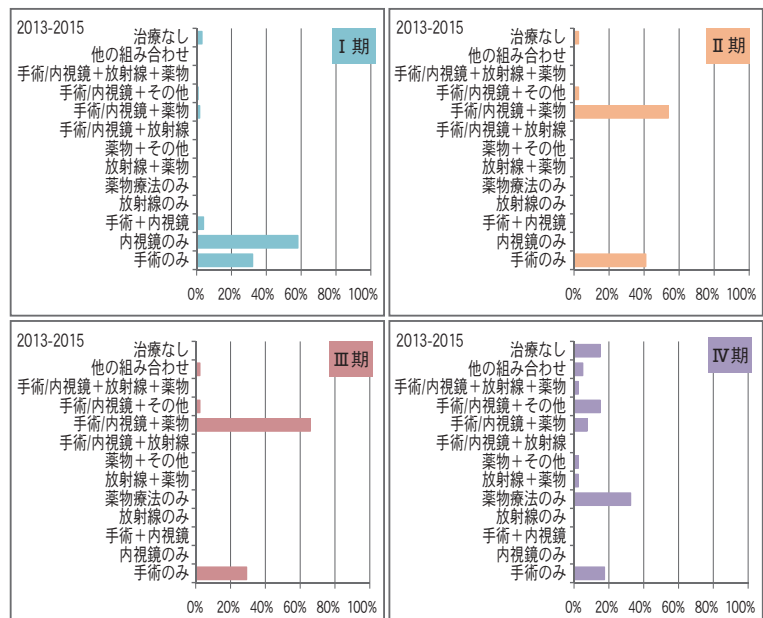


### 5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	0.0%	63.0%	10.7%	8.1%	13.7%	4.5%	0.0%
高知県 (2013年-2015年)	0.0%	59.0%	12.3%	11.2%	11.7%	5.8%	0.0%
当院 (2013年-2015年)	0.0%	63.9%	11.0%	11.5%	11.3%	2.3%	0.0%
件数	0	227	39	41	40	8	0



### 6. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合

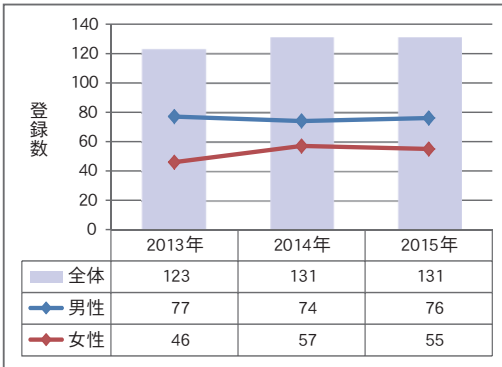


※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

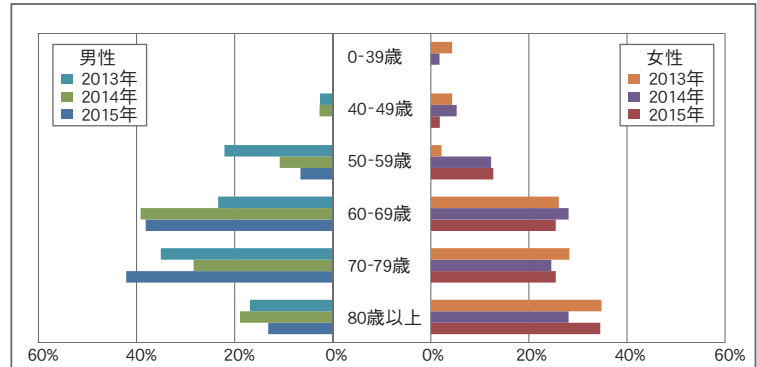
当院の胃がん患者は2013～2014年は横ばいであったが、2015年は大幅に増加している。ステージ別に見るとI期の早期がんが多く、治療もI期のうちIa期は内視鏡的切除（ESD）によるものが多数を占めており、これは他施設で早期胃がんと診断され内視鏡的切除（ESD）目的に当院に紹介される患者が増加していることを示している。I期のうちのIb期とII期は外科的手術が主で、腹腔鏡下手術が主体となっている。III期は手術と化学療法、IV期は化学療法主体となっており、治療ガイドラインに沿った治療を実施している。

※症例区分2・3のみを集計

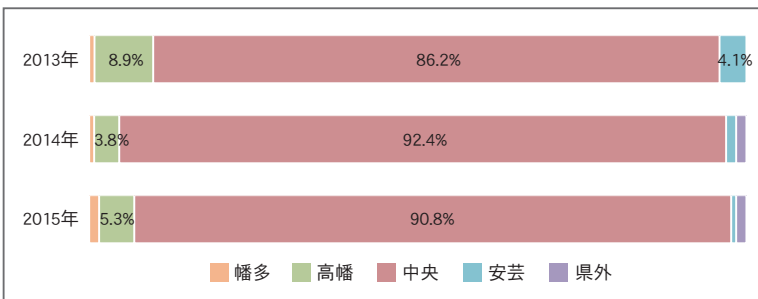
## 1. 登録数



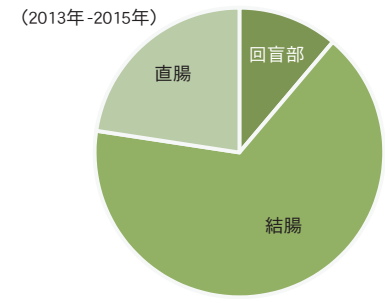
## 2. 性別 年齢階級別 登録割合



## 3. 医療圏別 登録割合

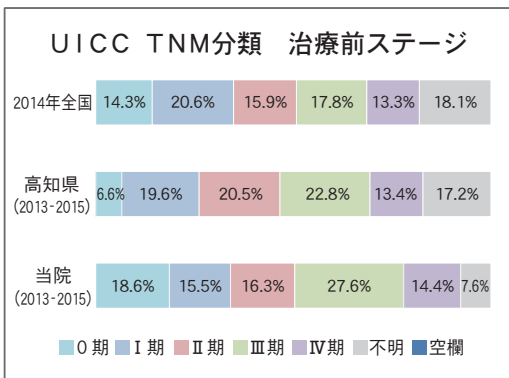


## 4. 詳細部位別 登録割合

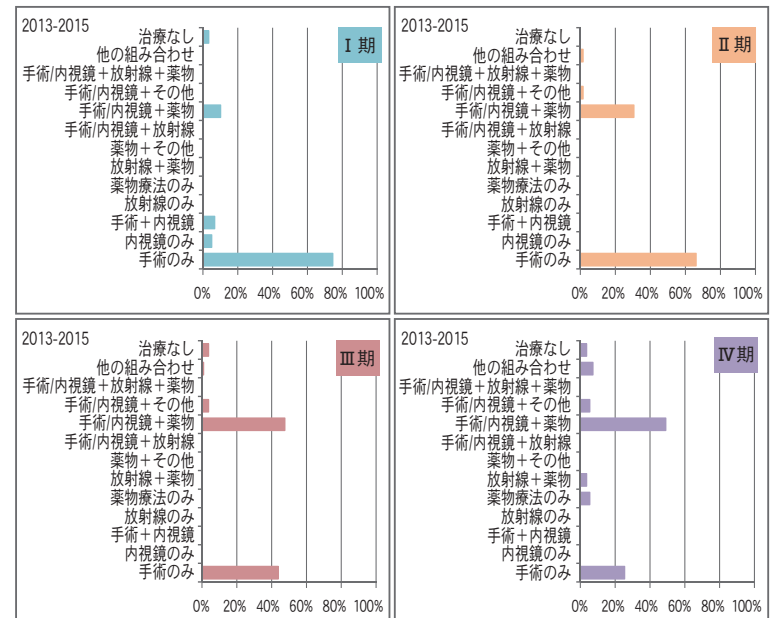


## 5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	14.3%	20.6%	15.9%	17.8%	13.3%	18.1%	0.0%
高知県 (2013年-2015年)	6.6%	19.6%	20.5%	22.8%	13.4%	17.2%	0.0%
当院 (2013年-2015年)	18.6%	15.5%	16.3%	27.6%	14.4%	7.6%	0.0%
件数	71	59	62	105	55	29	0



## 6. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合

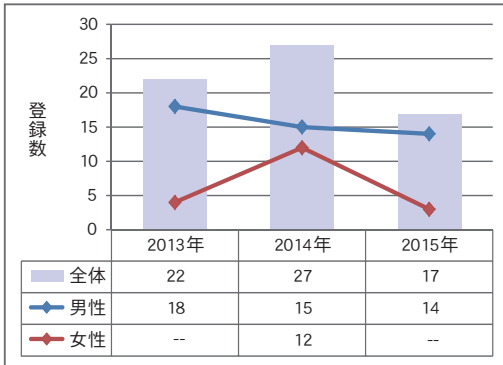


※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

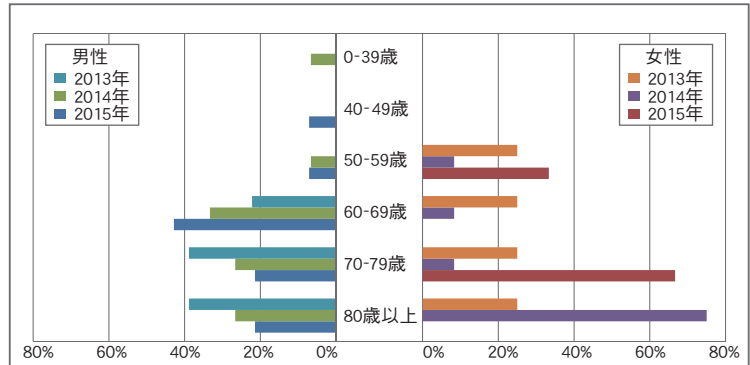
当院の大腸がん患者は結腸がんの比率が高い。治療前ステージは0期（上皮内がん）とIII期の進行がんの割合が他施設より多い。治療は病巣切除が主な治療であり、0期は内視鏡的切除（EMR）による治療がほとんどであり、I期以上は外科における腹腔鏡下切除が多く、在院日数の短縮や身体的負担軽減が図られている。III期やIV期の進行大腸がんに対しては、外科的手術に加え術前・術後の化学療法を実施し、治療ガイドラインに準じた治療を行っている。来院経路は他施設からの紹介が多い。

※症例区分2・3のみを集計

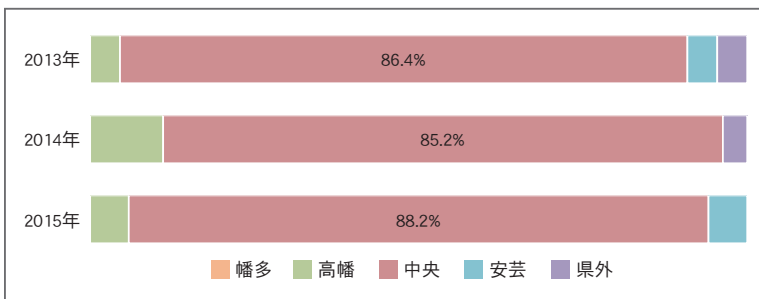
## 1. 登録数



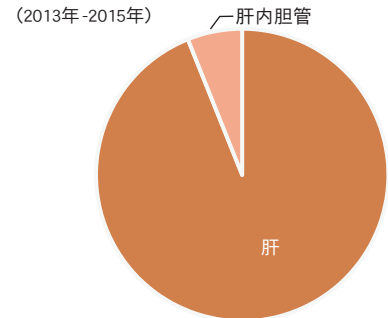
## 2. 性別 年齢階級別 登録割合



## 3. 医療圏別 登録割合

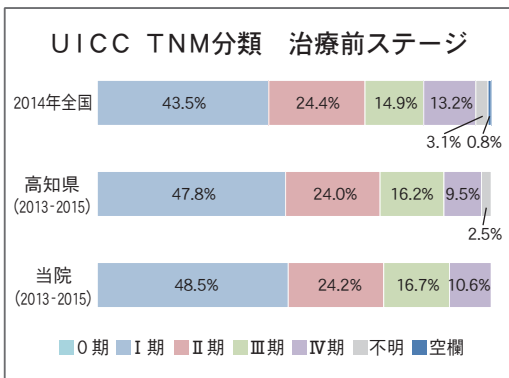


## 4. 詳細部位別 登録割合

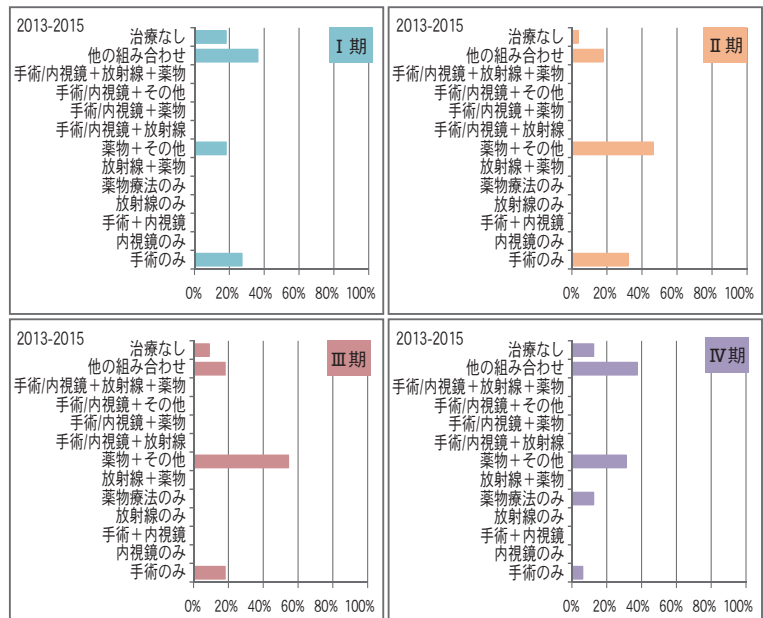


## 5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	0.0%	43.5%	24.4%	14.9%	13.2%	3.1%	0.8%
高知県 (2013年-2015年)	0.0%	47.8%	24.0%	16.2%	9.5%	2.5%	0.0%
当院 (2013年-2015年)	0.0%	48.5%	24.2%	16.7%	10.6%	0.0%	0.0%
件数	0	32	16	11	7	0	0



## 6. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合

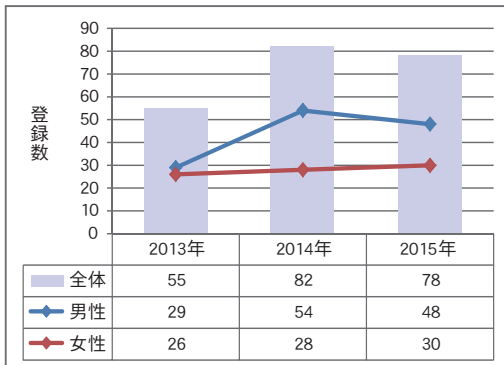


※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

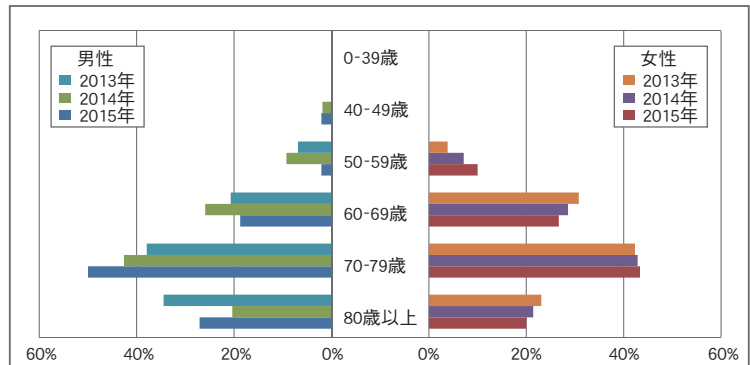
当院での肝がんの症例数は少ない。治療前ステージはほぼ他施設と同じであり、I期が最も多い。治療は肝臓の機能低下の少ない早期症例については外科手術も行うが、肝臓の状態がよくない患者や多発がんの患者の治療については、肝動脈塞栓療法（抗がん剤併用）やラジオ波焼灼療法が最も多く実施されている。肝がん患者の多くは肝硬変などを合併し、治療の対象にならない症例も多く存在し再発率も高いことから根治性が低いのが特徴である。発見経緯はB型及びC型肝炎患者の経過観察中に診断される事が最も多い。

※症例区分2・3のみを集計

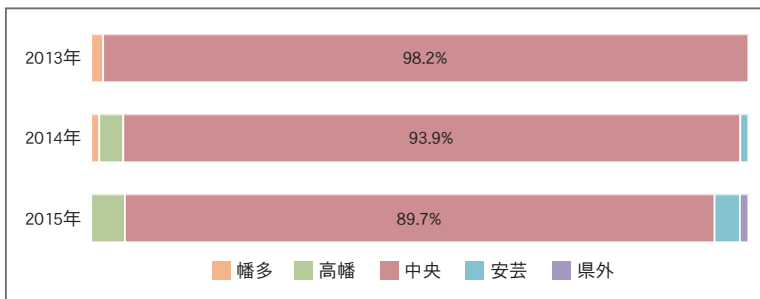
## 1. 登録数



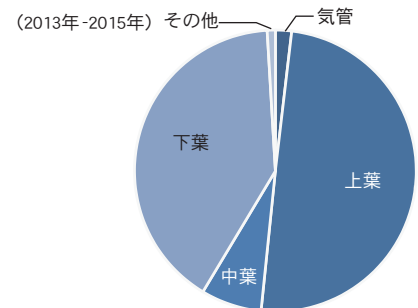
## 2. 性別 年齢階級別 登録割合



## 3. 医療圏別 登録割合

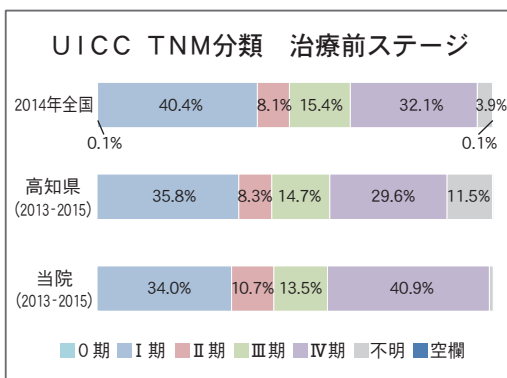


## 4. 詳細部位別 登録割合

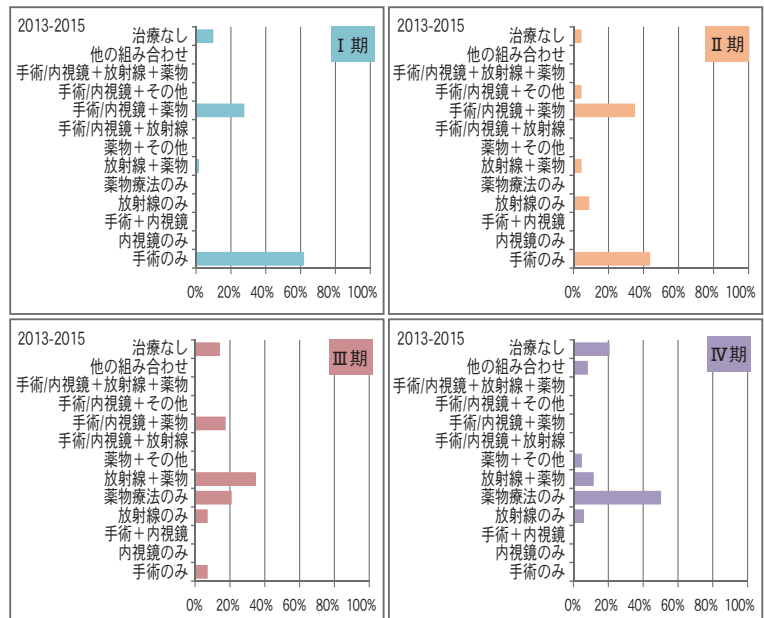


## 5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	0.1%	40.4%	8.1%	15.4%	32.1%	3.9%	0.1%
高知県 (2013年-2015年)	0.0%	35.8%	8.3%	14.7%	29.6%	11.5%	--
当院 (2013年-2015年)	0.0%	34.0%	10.7%	13.5%	40.9%	--	0.0%
件数	0	73	23	29	88	--	0



## 6. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合

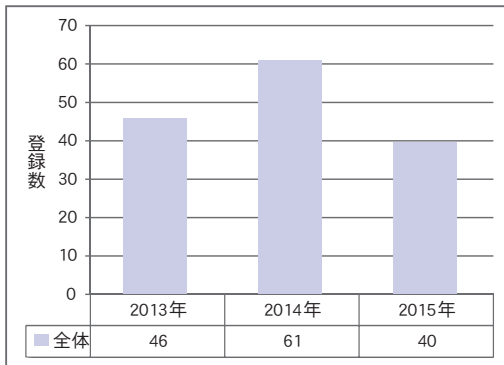


※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

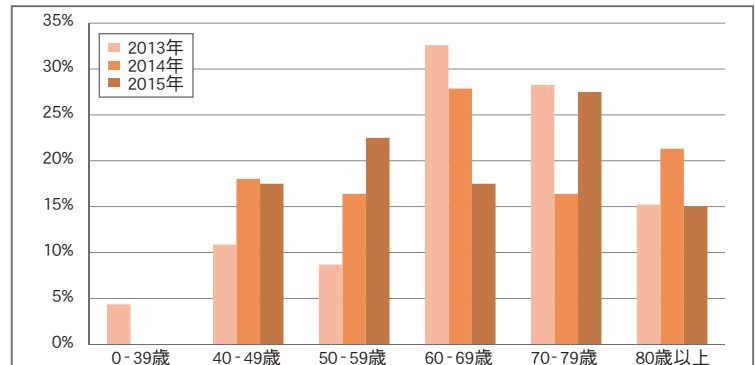
当院の肺がん患者に対する治療は、II期までは外科的切除が最も多く、III～IV期は化学療法または放射線・化学療法が主体となっている。最近では進行肺がんに対し分子標的薬治療が用いられることも多く、従来よりも生存期間の改善を認めるようになってきている。当院のI期の外科治療成績はよく、生存率は良好である。手術は胸腔鏡下手術が中心を占め、患者の術後の負担軽減になっている。発見経緯は検診や他疾患の経過観察で撮影された胸部X線検査で異常を指摘され紹介される事が多い。

※症例区分2・3のみを集計

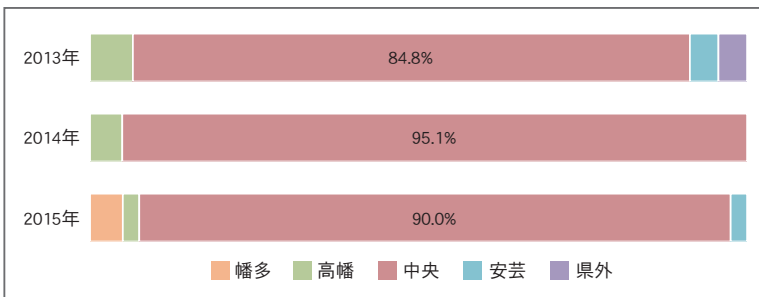
## 1. 登録数



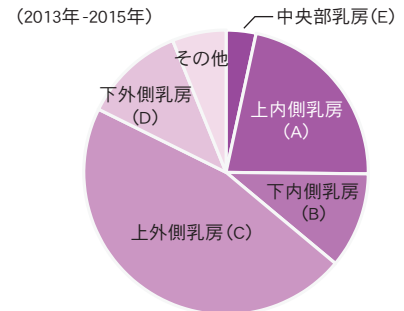
## 2. 性別 年齢階級別 登録割合



## 3. 医療圏別 登録割合

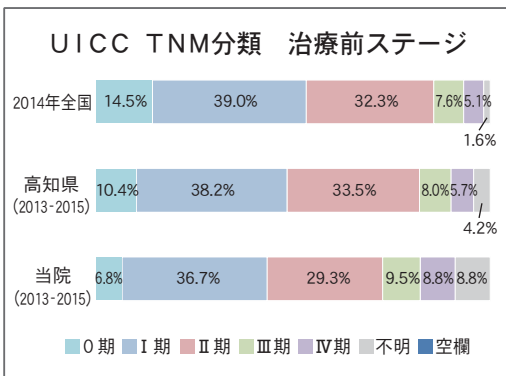


## 4. 詳細部位別 登録割合

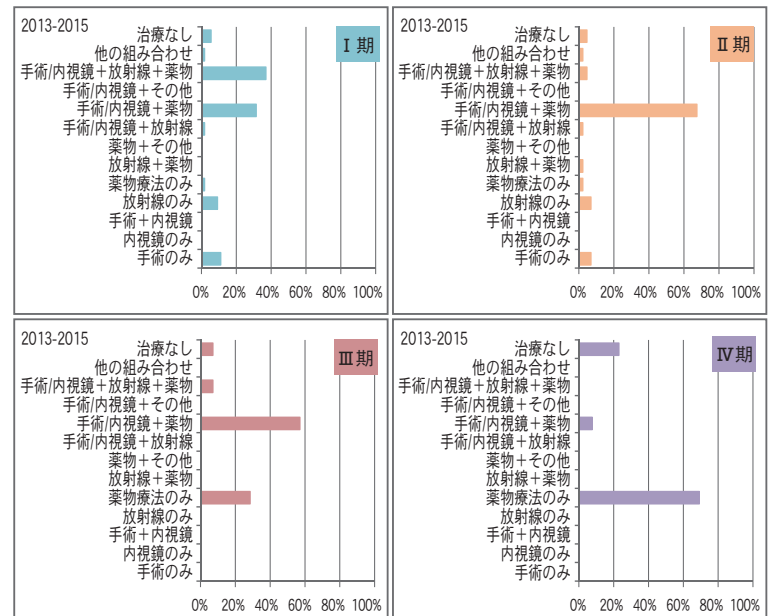


## 5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	14.5%	39.0%	32.3%	7.6%	5.1%	1.6%	0.0%
高知県 (2013年-2015年)	10.4%	38.2%	33.5%	8.0%	5.7%	4.2%	0.0%
当院 (2013年-2015年)	6.8%	36.7%	29.3%	9.5%	8.8%	8.8%	0.0%
件数	10	54	43	14	13	13	0



## 6. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合

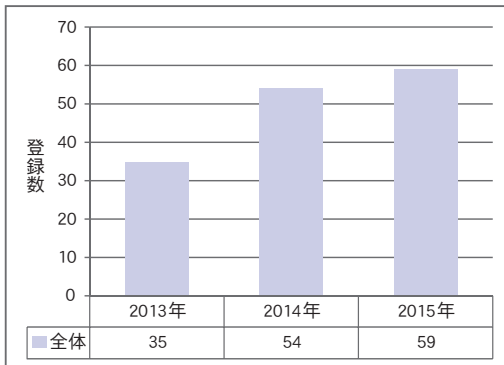


※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

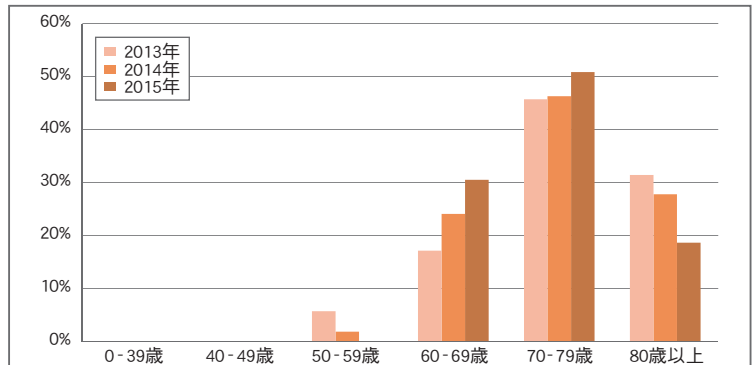
当院の乳がん患者は治療前ステージがI及びII期のものが多く、ほぼ全国比較と同じである。治療はI～II期は外科的治療が多く、乳房温存手術の比率も高い。がんの組織型や治療前ステージに応じて、補助療法として放射線治療・内分泌療法・化学療法を選択し、外科的切除前後に実施する事が多い。どのステージもガイドラインに沿った治療法を実施しており、予後は当院の他部位のがんと比較しても良好である。来院経路は患者本人が乳腺腫瘍を自覚し乳腺外科外来を受診、或いは他施設からの紹介が多い。

※症例区分2・3のみを集計

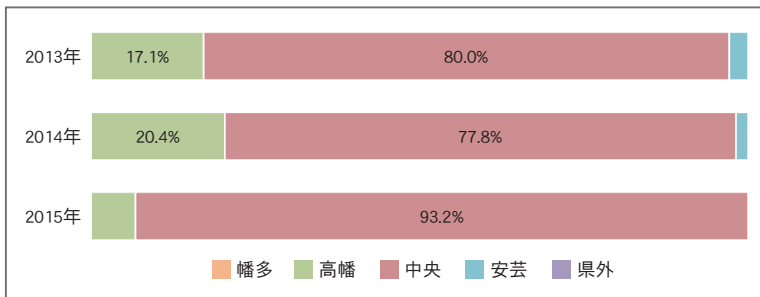
## 1. 登録数



## 2. 性別 年齢階級別 登録割合

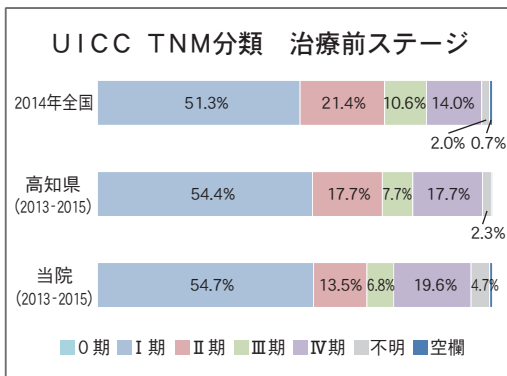


## 3. 医療圏別 登録割合

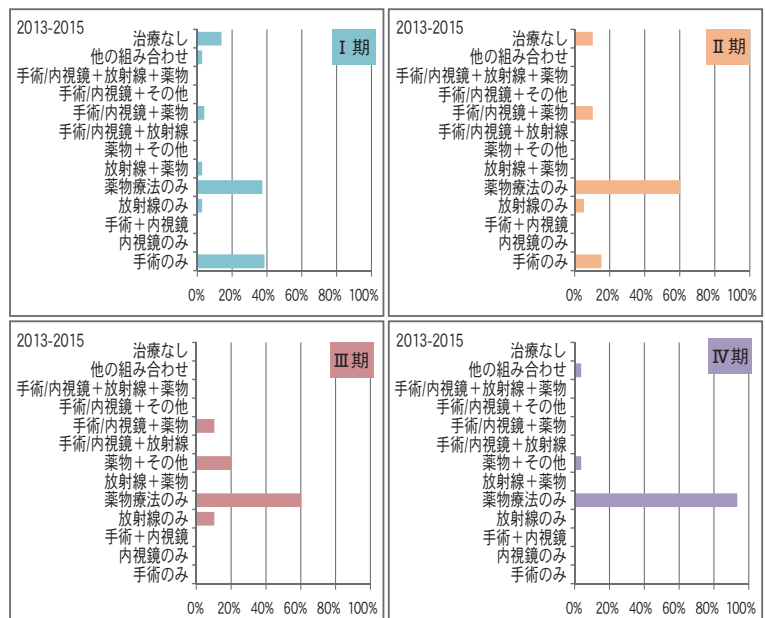


## 4. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	0.0%	51.3%	21.4%	10.6%	14.0%	2.0%	0.7%
高知県 (2013年-2015年)	0.0%	54.4%	17.7%	7.7%	17.7%	2.3%	--
当院 (2013年-2015年)	0.0%	54.7%	13.5%	6.8%	19.6%	4.7%	--
件数	0	81	20	10	29	7	--



## 5. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合



※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

前立腺がん患者は当院でも増加傾向である。治療前ステージはI期が最も多く、I期とII期の一部に外科的治療として腹腔鏡下手術（ロボット支援）を実施している。患者は高齢者の比率が高く、合併症など身体的理由からI期でも手術適応とならない患者には、薬物療法（内分泌療法）を実施している。II期～IV期の患者は薬物療法（内分泌療法）主体で、放射線治療も一部行っている。発見経緯は前立腺がん検診や前立腺肥大症などで治療中に測定したPSA高値によるものが多く、来院経路は他施設紹介や検診紹介が主である。

病院名	国立病院機構高知病院
住所	〒780-8077 高知県高知市朝倉西町1丁目2番25号
ホームページ	<a href="http://www.kochihp.com/">http://www.kochihp.com/</a>

診療科	内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、麻酔科、病理診断科
病床数	424床（一般病床：282床、重心病床：120床、結核病床：22床）

国立病院機構高知病院は高度医療、臨床研究、教育、情報発信を大きな柱として平成12年10月に高知市西部の朝倉に開院しました。高知市・県の西部が医療圏で、西部地域の基幹病院として地域医療に貢献してきました。また、血液、呼吸器、消化器、泌尿器、婦人科など幅広く様々な悪性疾患を対象に診療を行っており平成23年4月に「高知県がん診療連携推進病院」の指定を受け、地域におけるがん診療の中核病院としても重要な役割を担っています。

診療面においては、診療科の壁を越え内科から外科に至るまで切れ目のない医療を提供できるよう呼吸器センター・消化器センターを開設し、両部門を相乗的に発展させ専門性を高めるよう努めております。緩和ケアチームではがん疼痛緩和・症状緩和を目的として、医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、管理栄養士、ソーシャルワーカーなど多職種でのカンファレンスを実施し診療や看護に反映させています。また、臨床研究は国立病院機構の推進すべき重要な課題の一つであり当院も医療の発展に寄与するため積極的に参加し多くの実績を上げています。

患者や家族のサポート面では、平成23年4月よりがん相談窓口を開設し治療や療養生活、費用に関する事など様々な相談に応じる体制を整え、翌年にはこころの悩みや体験を語りあう場を提供するためがんサロン「希望」をスタートし、ミニレクチャー企画も取り入れ療養生活に役立つ具体的情報も得られるように努めております。また、地域医療連携室が中心となり、退院支援や転院相談、セカンドオピニオンなど、地域の医療機関とのスムーズな連携を図っております。

高知病院は「地域に信頼される病院になる」ことを目標と掲げていますが、その実現のためには医療の質の向上、チーム医療、人材育成、臨床研究などの重要な課題に積極的に取り組むことが不可欠です。目標達成に向け「根拠に基づいた医療」を実践し医療の質の向上を図り、臨床研究を推進し、がん診療を通して地域医療に貢献していきたいと思っております。

（国立病院機構高知病院 院長 大串 文隆）

#### ＜施設別集計について＞

登録件数は2013年から2015年の間で60件程度増加しており、登録開始時に入院医療を提供した症例の抽出から始め、がん登録の精度向上の取り組みとして外来診療のみの症例も抽出を始めたことによる影響と思われます。診療圏別では、中央診療圏が80%を超えていますが、県西部医療圏でも15%程度あり県西部のがん診療においても一翼を担っていることが示されています。部位別登録数では肺が最も多く当院登録症例全体の25%で、高知県全体の肺症例登録数においても25%を占めていました。

# 全部位

## 1. 登録数

### ◇登録件数

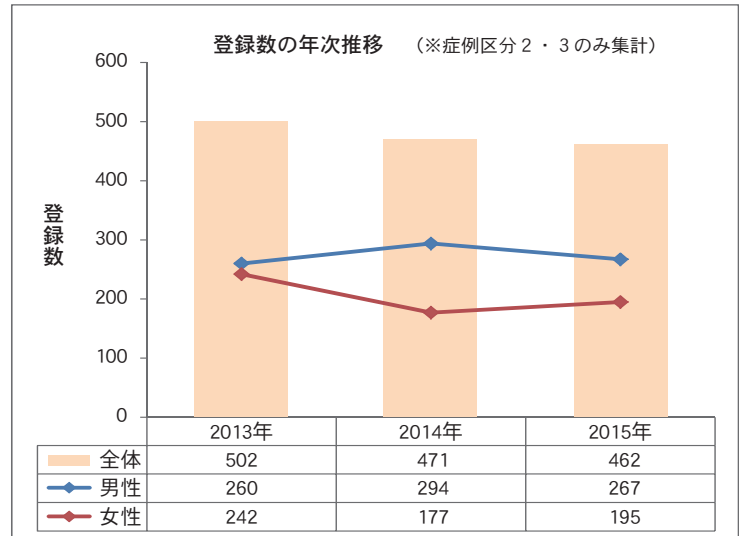
診断年	男性	女性	全体
2013年	297	270	567
2014年	331	229	560
2015年	335	291	626
合計	963	790	1,753

### ◇症例区分「8.その他」を除いて集計

診断年	男性	女性	全体
2013年	297	270	567
2014年	329	229	558
2015年	333	290	623
合計	959	789	1,748

### ◇症例区分2・3のみを集計

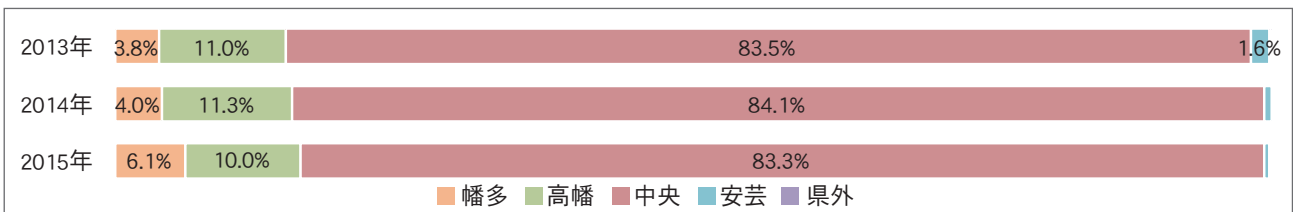
診断年	男性	女性	全体
2013年	260	242	502
2014年	294	177	471
2015年	267	195	462
合計	821	614	1,435



## 2. 診断時住所の医療圏別割合

※症例区分2・3のみを集計

医療圏	幡多 件数 (%)	高幡 件数 (%)	中央 件数 (%)	安芸 件数 (%)	県外 件数 (%)
2013年	19 (3.8)	55 (11.0)	419 (83.5)	8 (1.6)	-- --
2014年	19 (4.0)	53 (11.3)	396 (84.1)	-- --	0 (0.0)
2015年	28 (6.1)	46 (10.0)	385 (83.3)	-- --	-- --



## 3. 年齢階級別登録割合

※症例区分2・3のみを集計

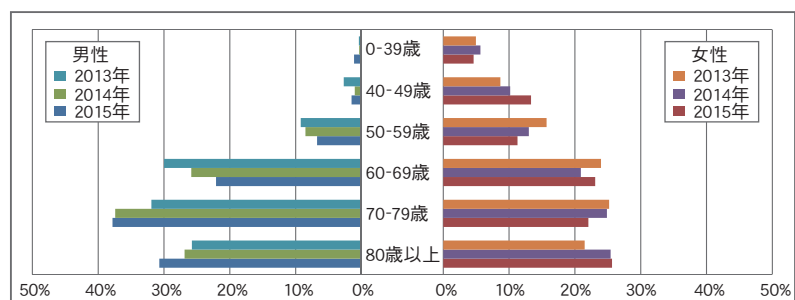
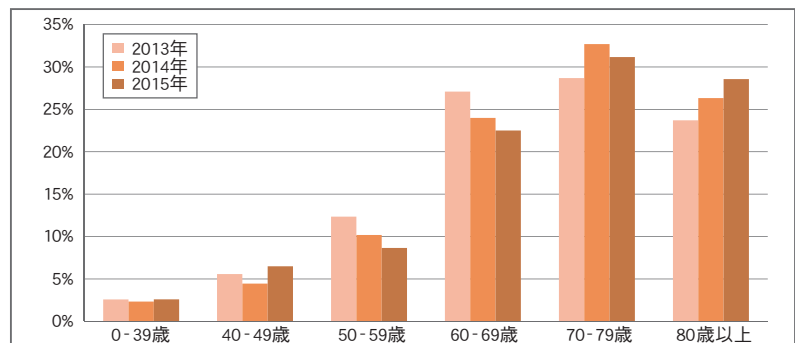
全体	2013年 件数 (%)	2014年 件数 (%)	2015年 件数 (%)
0-39歳	13 (2.6)	11 (2.3)	12 (2.6)
40-49歳	28 (5.6)	21 (4.5)	30 (6.5)
50-59歳	62 (12.4)	48 (10.2)	40 (8.7)
60-69歳	136 (27.1)	113 (24.0)	104 (22.5)
70-79歳	144 (28.7)	154 (32.7)	144 (31.2)
80歳以上	119 (23.7)	124 (26.3)	132 (28.6)

男性	2013年 件数 (%)	2014年 件数 (%)	2015年 件数 (%)
0-39歳	-- --	-- --	-- --
40-49歳	7 (2.7)	-- --	-- --
50-59歳	24 (9.2)	25 (8.5)	18 (6.7)
60-69歳	78 (30.0)	76 (25.9)	59 (22.1)
70-79歳	83 (31.9)	110 (37.4)	101 (37.8)
80歳以上	67 (25.8)	79 (26.9)	82 (30.7)

女性	2013年 件数 (%)	2014年 件数 (%)	2015年 件数 (%)
0-39歳	12 (5.0)	10 (5.6)	9 (4.6)
40-49歳	21 (8.7)	18 (10.2)	26 (13.3)
50-59歳	38 (15.7)	23 (13.0)	22 (11.3)
60-69歳	58 (24.0)	37 (20.9)	45 (23.1)
70-79歳	61 (25.2)	44 (24.9)	43 (22.1)
80歳以上	52 (21.5)	45 (25.4)	50 (25.6)



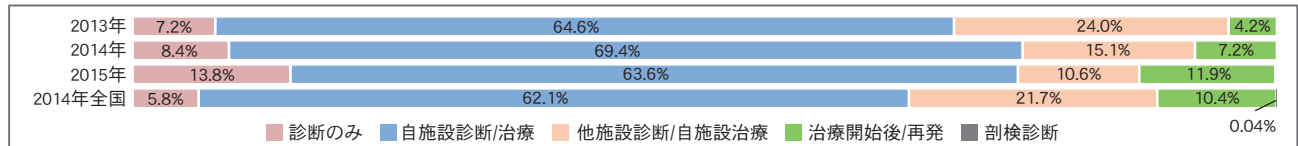


※症例区分「8. その他」を除いて集計

## 4. 症例区分

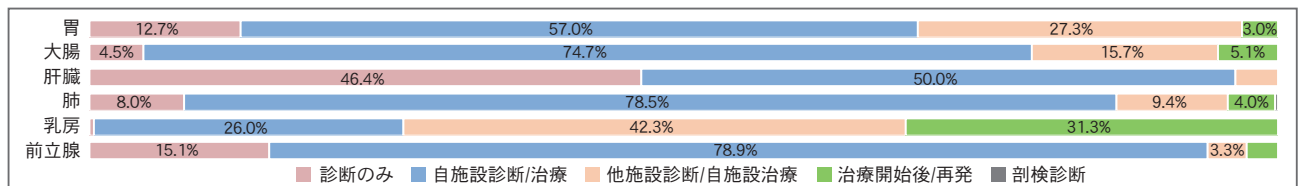
### 4-1. 症例区分

	診断のみ	自施設診断/治療	他施設診断/ 自施設治療	治療開始後/再発	剖検診断
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
2013年	41 (7.2)	366 (64.6)	136 (24.0)	24 (4.2)	0 (0.0)
2014年	47 (8.4)	387 (69.4)	84 (15.1)	40 (7.2)	0 (0.0)
2015年	86 (13.8)	396 (63.6)	66 (10.6)	74 (11.9)	-- --
2014年全国	37,126 (5.8)	399,409 (62.1)	139,655 (21.7)	67,032 (10.4)	258 (0.04)



### 4-2 症例区分 部位別 2013年-2015年

	診断のみ	自施設診断/治療	他施設診断/ 自施設治療	治療開始後/再発	剖検診断
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
胃	21 (12.7)	94 (57.0)	45 (27.3)	5 (3.0)	0 (0.0)
大腸	9 (4.5)	148 (74.7)	31 (15.7)	10 (5.1)	0 (0.0)
肝臓	13 (46.4)	14 (50.0)	-- --	0 (0.0)	0 (0.0)
肺	34 (8.0)	335 (78.5)	40 (9.4)	17 (4.0)	-- --
乳房	-- --	69 (26.0)	112 (42.3)	83 (31.3)	0 (0.0)
前立腺	23 (15.1)	120 (78.9)	5 (3.3)	-- --	0 (0.0)



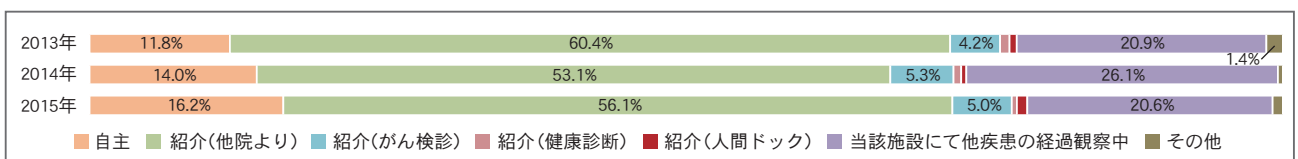
※大腸は結腸と直腸の合計

## 5. 来院経路

### 5-1. 来院経路

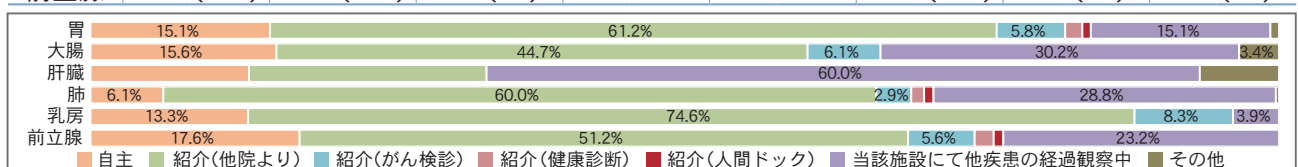
※症例区分2・3のみを集計

	自主	紹介 (他院より)	紹介 (がん検診)	紹介 (健康診断)	紹介 (人間ドック)	当該施設にて 他疾患の経過観察中	剖検にて	その他
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
2013年	59 (11.8)	303 (60.4)	21 (4.2)	-- --	-- --	105 (20.9)	0 (0.0)	7 (1.4)
2014年	66 (14.0)	250 (53.1)	25 (5.3)	-- --	-- --	123 (26.1)	0 (0.0)	-- --
2015年	75 (16.2)	259 (56.1)	23 (5.0)	-- --	-- --	95 (20.6)	0 (0.0)	-- --



### 5-2. 来院経路 部位別 2013年-2015年

	自主	紹介 (他院より)	紹介 (がん検診)	紹介 (健康診断)	紹介 (人間ドック)	当該施設にて 他疾患の経過観察中	剖検にて	その他
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
胃	21 (15.1)	85 (61.2)	8 (5.8)	-- --	-- --	21 (15.1)	0 (0.0)	-- --
大腸	28 (15.6)	80 (44.7)	11 (6.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	54 (30.2)	0 (0.0)	6 (3.4)
肝臓	-- --	-- --	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	9 (60.0)	0 (0.0)	-- --
肺	23 (6.1)	225 (60.0)	11 (2.9)	-- --	-- --	108 (28.8)	0 (0.0)	-- --
乳房	24 (13.3)	135 (74.6)	15 (8.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (3.9)	0 (0.0)	0 (0.0)
前立腺	22 (17.6)	64 (51.2)	7 (5.6)	-- --	-- --	29 (23.2)	0 (0.0)	0 (0.0)



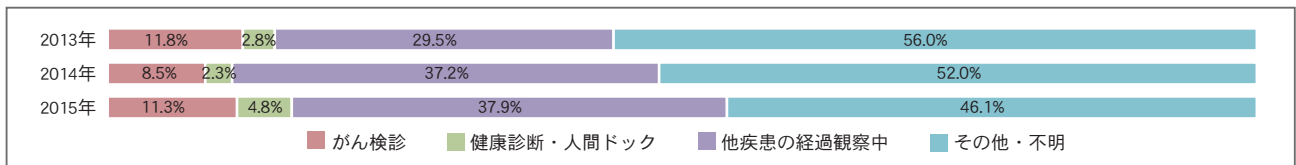
※大腸は結腸と直腸の合計

※症例区分2・3のみを集計

## 6. 発見経緯

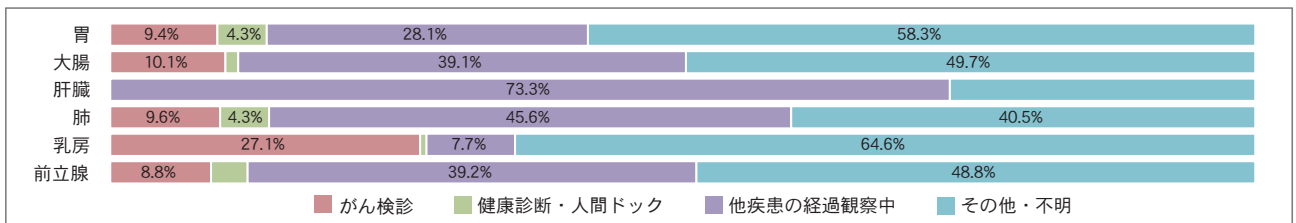
### 6-1. 発見経緯

	がん検診 件数 (%)	健康診断・人間ドック 件数 (%)	他疾患の経過観察中 件数 (%)	剖検発見 件数 (%)	その他・不明 件数 (%)
2013年	59 (11.8)	14 (2.8)	148 (29.5)	0 (0.0)	281 (56.0)
2014年	40 (8.5)	11 (2.3)	175 (37.2)	0 (0.0)	245 (52.0)
2015年	52 (11.3)	22 (4.8)	175 (37.9)	0 (0.0)	213 (46.1)



### 6-2. 発見経緯 部位別 2013年-2015年

	がん検診 件数 (%)	健康診断・人間ドック 件数 (%)	他疾患の経過観察中 件数 (%)	剖検発見 件数 (%)	その他・不明 件数 (%)
胃	13 (9.4)	6 (4.3)	39 (28.1)	0 (0.0)	81 (58.3)
大腸	18 (10.1)	--	70 (39.1)	0 (0.0)	89 (49.7)
肝臓	0 (0.0)	0 (0.0)	11 (73.3)	0 (0.0)	--
肺	36 (9.6)	16 (4.3)	171 (45.6)	0 (0.0)	152 (40.5)
乳房	49 (27.1)	--	14 (7.7)	0 (0.0)	117 (64.6)
前立腺	11 (8.8)	--	49 (39.2)	0 (0.0)	61 (48.8)



※大腸は結腸と直腸の合計

## 7. 部位

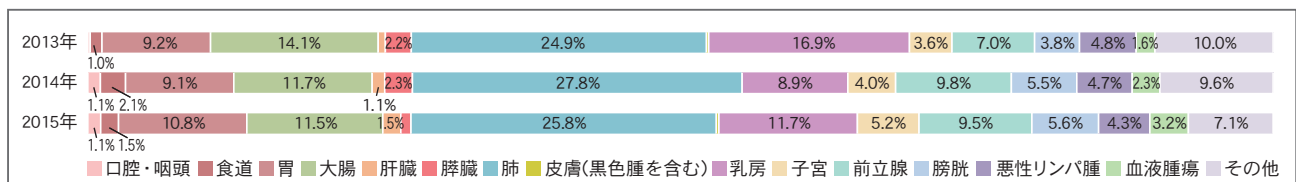
### 7-1. 部位別登録数の上位5部位

順位	2013年		2014年		2015年	
	部位名	件数 (%)	部位名	件数 (%)	部位名	件数 (%)
1	肺	125 (24.9)	肺	131 (27.8)	肺	119 (25.8)
2	乳房	85 (16.9)	前立腺	46 (9.8)	乳房	54 (11.7)
3	胃	46 (9.2)	胃	43 (9.1)	胃	50 (10.8)
4	結腸	46 (9.2)	結腸	42 (8.9)	前立腺	44 (9.5)
5	前立腺	35 (7.0)	乳房	42 (8.9)	結腸	29 (6.3)

◇結腸・直腸の合計を『大腸』、子宮頸部・子宮体部・子宮の合計を『子宮』、多発性骨髄腫・白血病・その他の造血器の合計を『血液腫瘍』とした場合

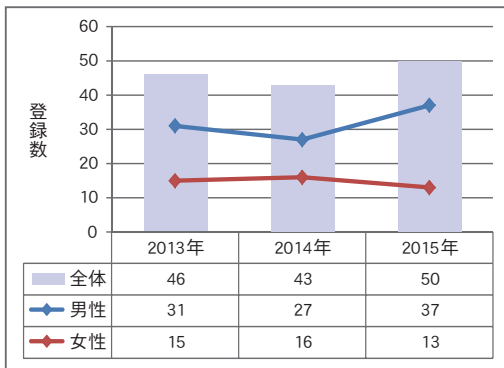
順位	2013年		2014年		2015年	
	部位名	件数 (%)	部位名	件数 (%)	部位名	件数 (%)
1	肺	125 (24.9)	肺	131 (27.8)	肺	119 (25.8)
2	乳房	85 (16.9)	大腸	55 (11.7)	乳房	54 (11.7)
3	大腸	71 (14.1)	前立腺	46 (9.8)	大腸	53 (11.5)
4	胃	46 (9.2)	胃	43 (9.1)	胃	50 (10.8)
5	前立腺	35 (7.0)	乳房	42 (8.9)	前立腺	44 (9.5)

### 7-2. 部位別の割合

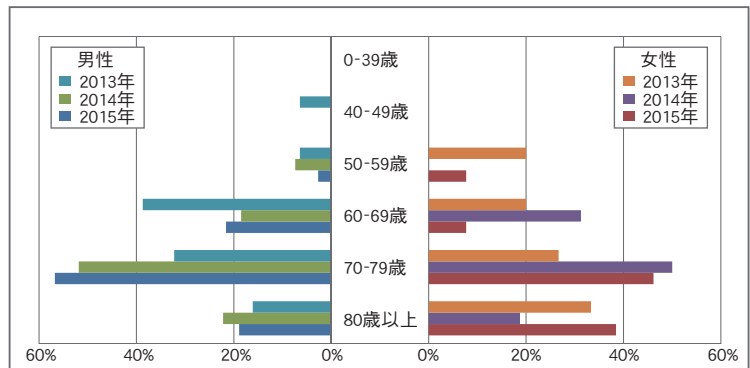


※症例区分2・3のみを集計

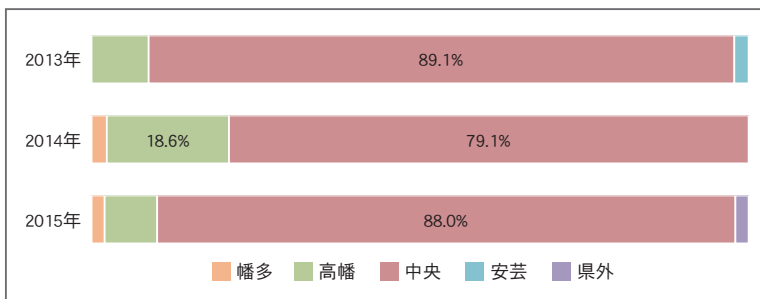
## 1. 登録数



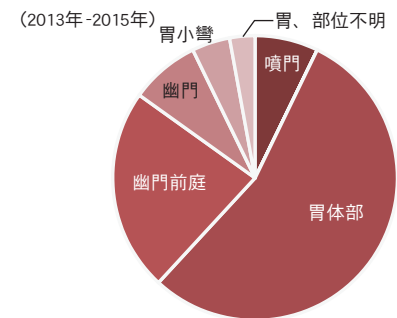
## 2. 性別 年齢階級別 登録割合



## 3. 医療圏別 登録割合

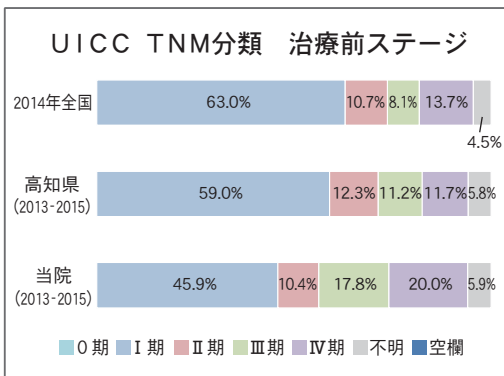


## 4. 詳細部位別 登録割合

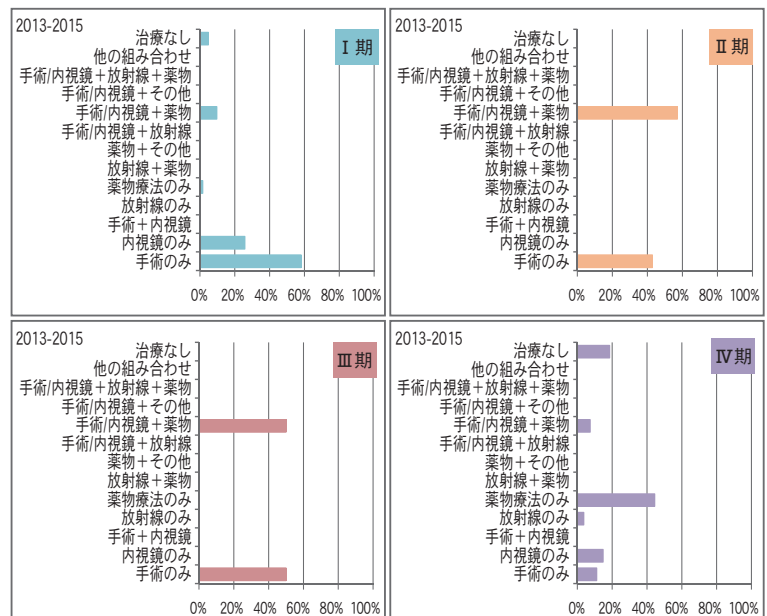


## 5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	0.0%	63.0%	10.7%	8.1%	13.7%	4.5%	0.0%
高知県 (2013年-2015年)	0.0%	59.0%	12.3%	11.2%	11.7%	5.8%	0.0%
当院 (2013年-2015年)	0.0%	45.9%	10.4%	17.8%	20.0%	5.9%	0.0%
件数	0	62	14	24	27	8	0



## 6. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合



※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

当院の胃がんの登録数は2013年46件、2014年43件、2015年50件とほぼ横ばいです。年齢階級別登録をみると、男女共に70代が最も多くなっています。医療圏別登録では、各年共に中央が約80%を占めています。詳細部位別登録は、胃体部が半数以上となっています。

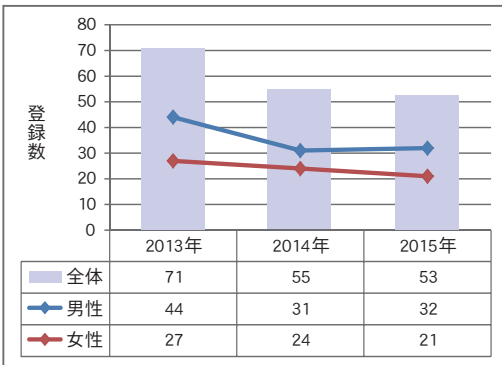
治療前ステージは、全国集計・高知県集計と比較すると、当院ではIII期・IV期の進行癌の割合が多くなっています。治療前ステージ別治療方法は、II期・III期では手術のみ、または手術内視鏡+薬物療法が行われ、胃がんの診療ガイドラインに沿った治療が実践されています。

# 大腸

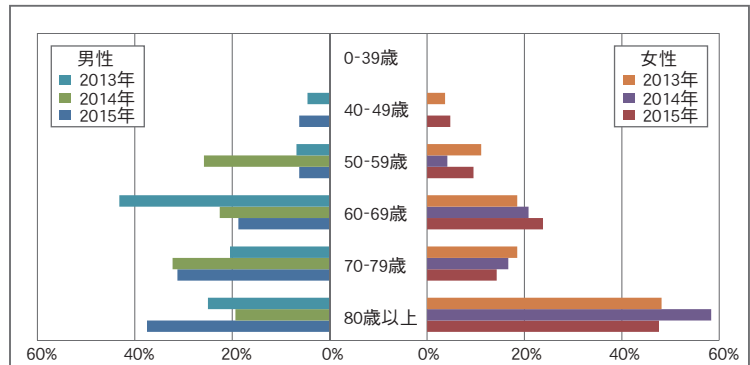
国立病院機構高知病院

※症例区分2・3のみを集計

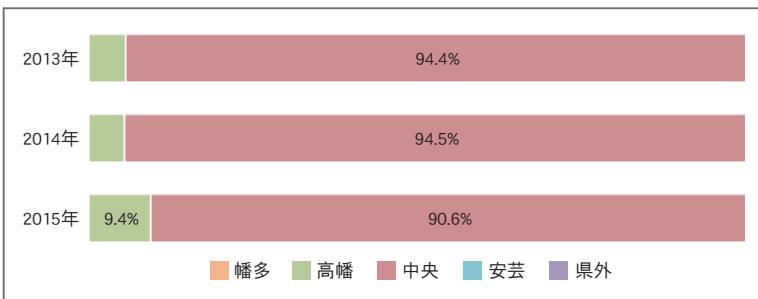
## 1. 登録数



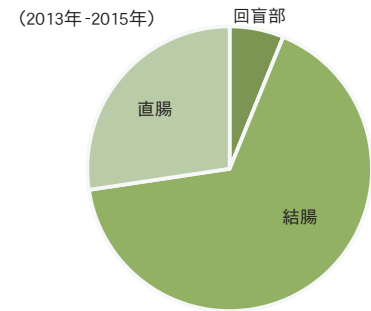
## 2. 性別 年齢階級別 登録割合



## 3. 医療圏別 登録割合

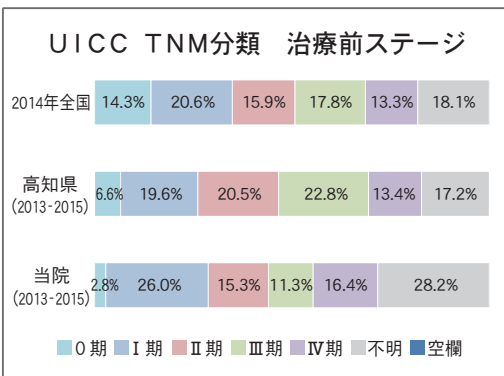


## 4. 詳細部位別 登録割合

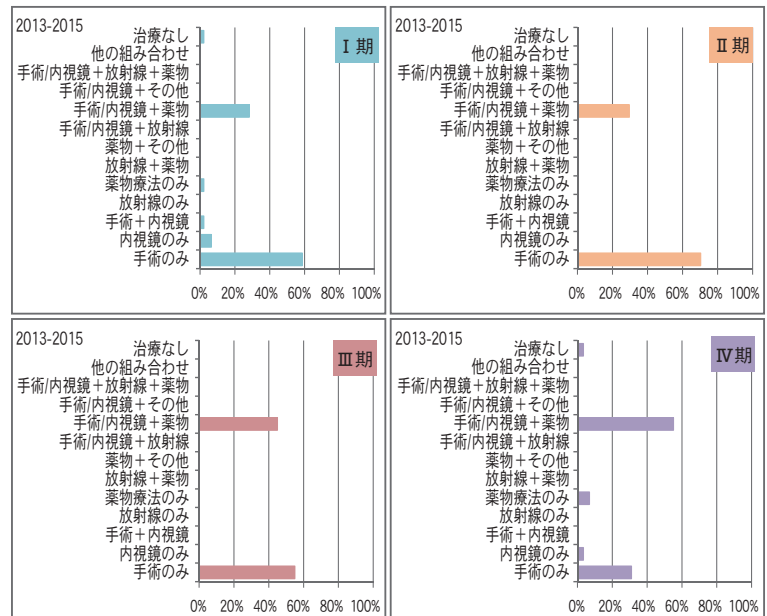


## 5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	14.3%	20.6%	15.9%	17.8%	13.3%	18.1%	0.0%
高知県 (2013年-2015年)	6.6%	19.6%	20.5%	22.8%	13.4%	17.2%	0.0%
当院 (2013年-2015年)	2.8%	26.0%	15.3%	11.3%	16.4%	28.2%	0.0%
件数	5	46	27	20	29	50	0



## 6. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合



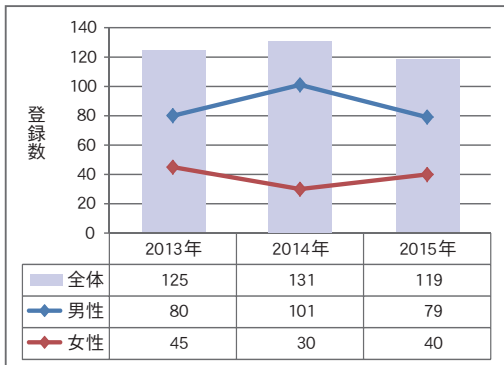
※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

当院の大腸がんの登録数は2013年71件、2014年55件、2015年53件と2013年以降減少傾向にあります。年齢階級別登録割合をみると、女性では80歳以上の割合が大変多くなっています。医療圏別登録では、各年共に中央が90%以上を占めています。詳細部位別登録は、結腸が多数を占め回盲部は少数となっています。

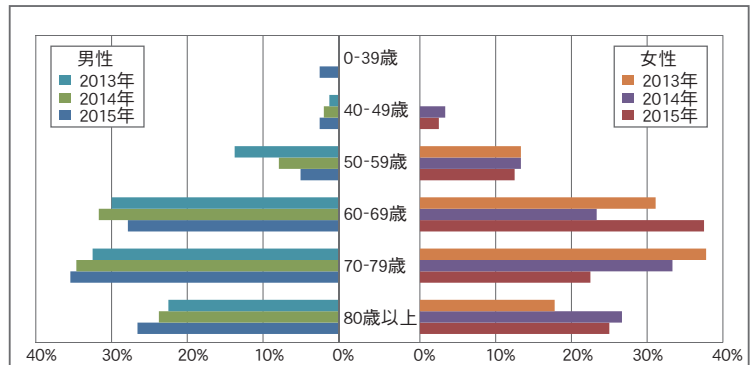
治療前ステージは、ポリープ切除の際に発見された症例は不明として登録されるため割合が多くなっています。治療前ステージ別治療方法は、I期～III期では手術のみの単独療法が主な治療方法となっています。

※症例区分2・3のみを集計

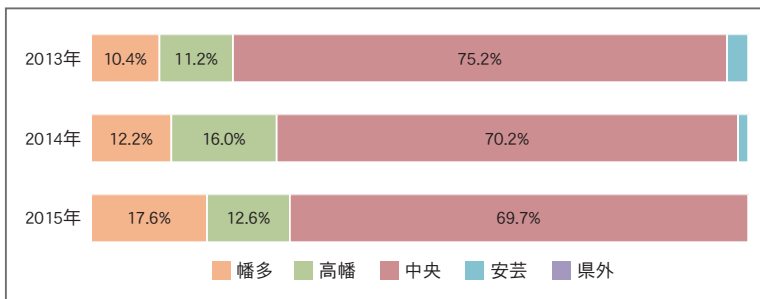
## 1. 登録数



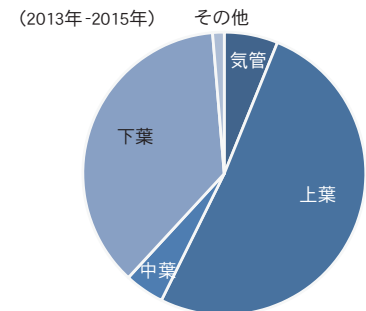
## 2. 性別 年齢階級別 登録割合



## 3. 医療圏別 登録割合

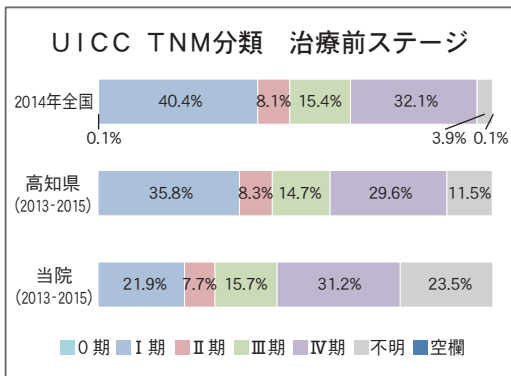


## 4. 詳細部位別 登録割合

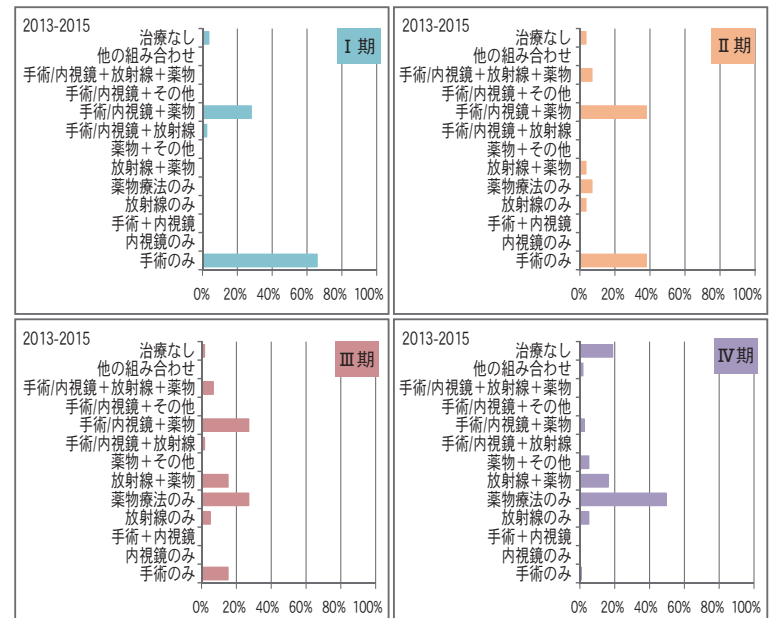


## 5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	0.1%	40.4%	8.1%	15.4%	32.1%	3.9%	0.1%
高知県 (2013年-2015年)	0.0%	35.8%	8.3%	14.7%	29.6%	11.5%	--
当院 (2013年-2015年)	0.0%	21.9%	7.7%	15.7%	31.2%	23.5%	0.0%
件数	0	82	29	59	117	88	0



## 6. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合



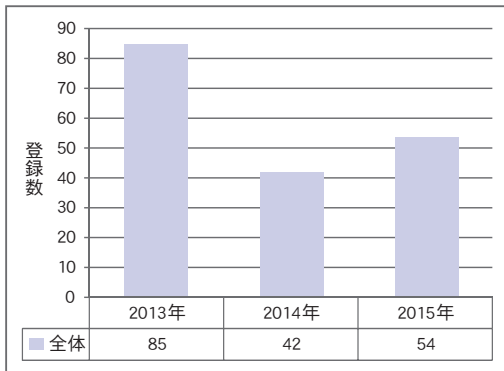
※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

当院の肺がんの登録は2013年125件、2014年131件、2015年119件で登録数の約25%を占めています。年齢階級別登録をみると、60歳以上の割合が多くなっています。医療圏別登録では、各年共に中央が最も多く、約70%を占めています。詳細部位別登録では、上葉が最も多く、2番目に下葉となっています。

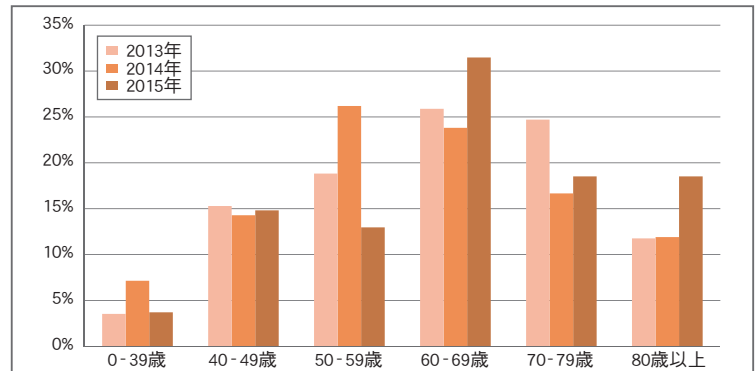
治療前ステージは、IV期が最も多くなっており、ついでI期が多くなっています。術中迅速診断によりがんと診断された症例は不明として登録されています。治療前ステージ別治療方法は、I期、II期では手術のみ、または手術/内視鏡+薬物が多く、IV期の症例では薬物療法による治療が約50%を占めています。

※症例区分2・3のみを集計

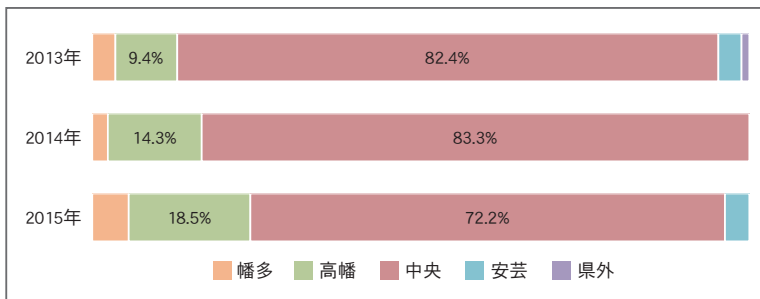
## 1. 登録数



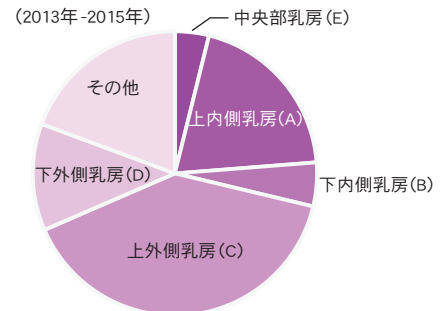
## 2. 性別 年齢階級別 登録割合



## 3. 医療圏別 登録割合

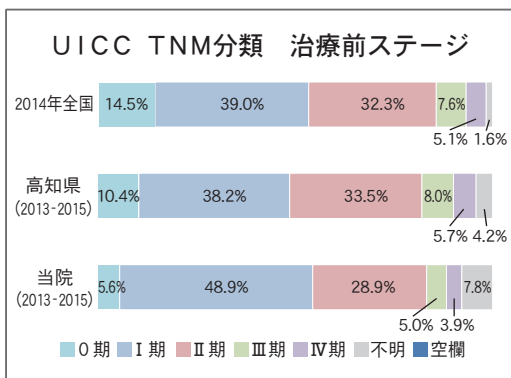


## 4. 詳細部位別 登録割合

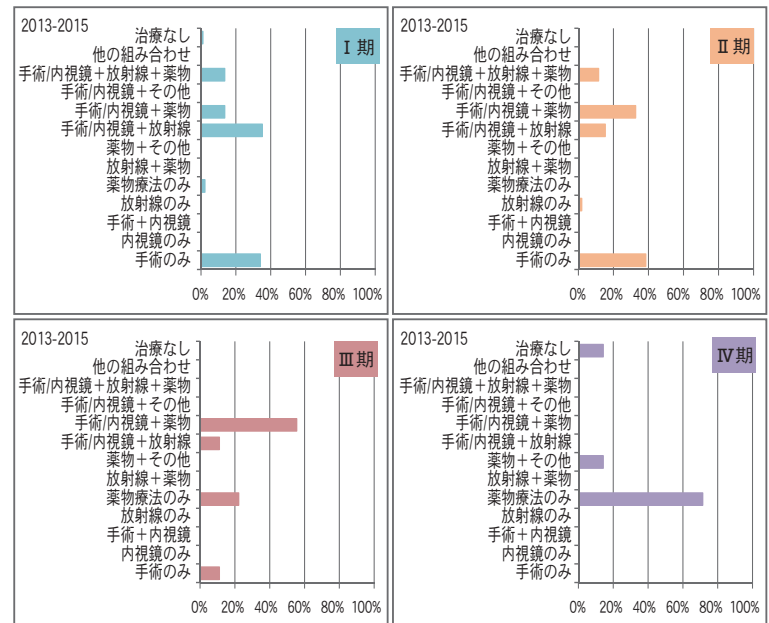


## 5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	14.5%	39.0%	32.3%	7.6%	5.1%	1.6%	0.0%
高知県 (2013年-2015年)	10.4%	38.2%	33.5%	8.0%	5.7%	4.2%	0.0%
当院 (2013年-2015年)	5.6%	48.9%	28.9%	5.0%	3.9%	7.8%	0.0%
件数	10	88	52	9	7	14	0



## 6. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合



※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

当院の乳がんの登録は2013年85件、2014年42件、2015年54件となっています。年齢階級別登録をみると、60歳以上の割合が多くなっていますが、40歳代と50歳代の割合も他部位に比べ多いことがわかります。医療圏別登録では、各年共に中央が最も多く、2015年では高幡が増加しています。詳細部位別登録では、上外側乳房(C)が最も多く、2番目に上内側乳房(A)となっています。

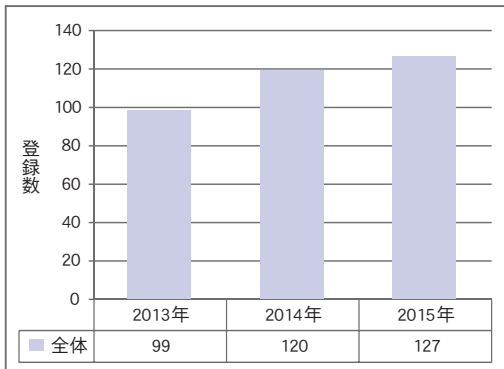
治療前ステージは、I期が最も多くなっており、ついでII期が多くなっています。治療前ステージ別治療方法は、III期では手術/内視鏡+薬物が多く、IV期の症例では薬物療法による治療が主となっています。

# 前立腺

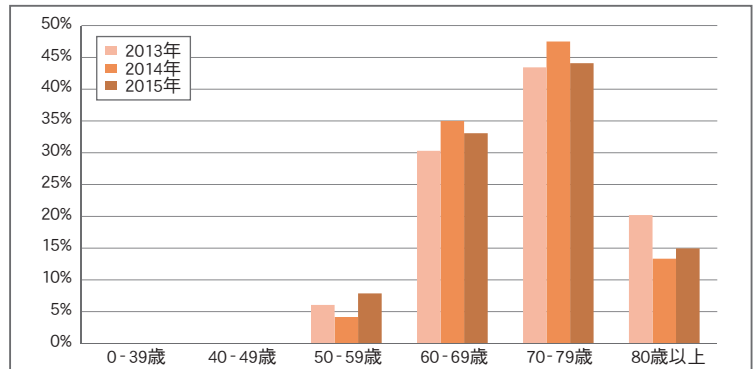
国立病院機構高知病院

※症例区分2・3のみを集計

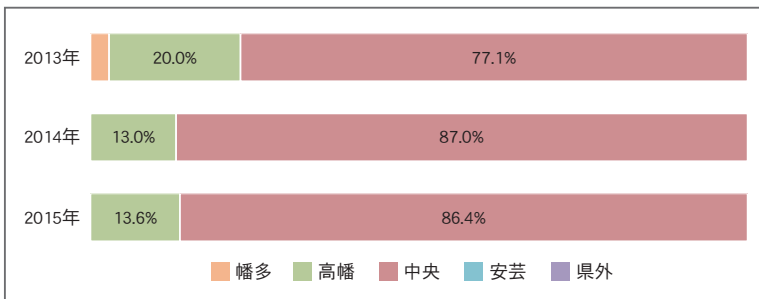
## 1. 登録数



## 2. 性別 年齢階級別 登録割合

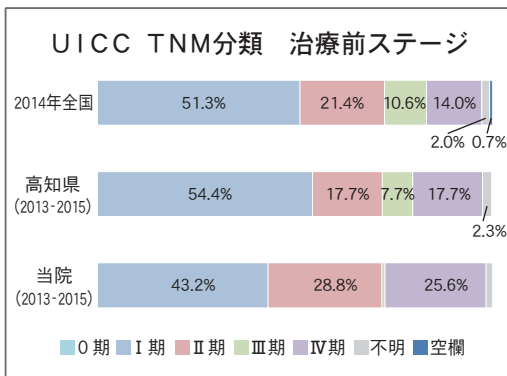


## 3. 医療圏別 登録割合

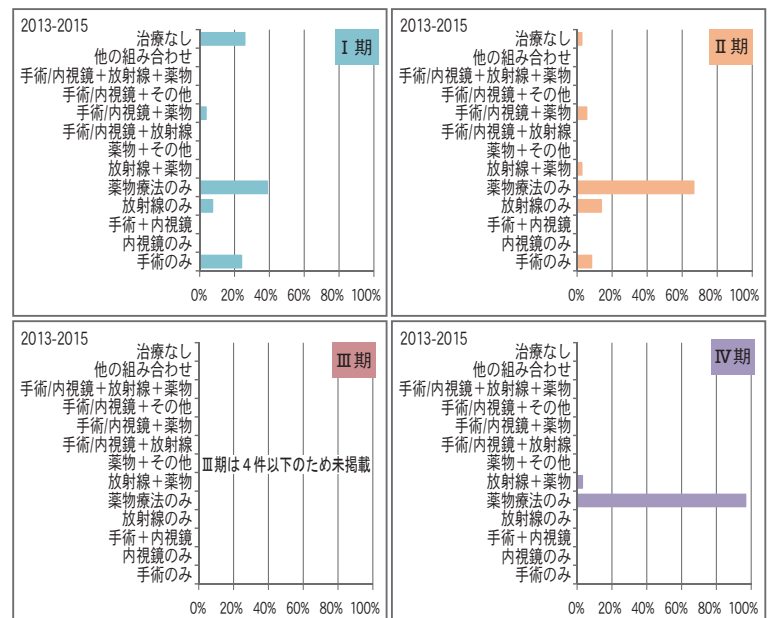


## 4. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	0.0%	51.3%	21.4%	10.6%	14.0%	2.0%	0.7%
高知県 (2013年-2015年)	0.0%	54.4%	17.7%	7.7%	17.7%	2.3%	--
当院 (2013年-2015年)	0.0%	43.2%	28.8%	--	25.6%	--	0.0%
件数	0	54	36	--	32	--	0



## 5. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合



※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

当院の前立腺がんの登録は2013年99件、2014年120件、2015年127件となっており、増加傾向にあります。年齢階級別登録にみると、60歳以上の高齢者の割合が高くなっています。医療圏別登録では、各年共に中央が最も多く、80%超となっています。

治療前ステージは、I期が最も多くなっており、ついでII期が多くなっています。治療前ステージ別治療方法は、I期からIV期とも薬物療法の割合が高く、I期・II期の症例では放射線治療、手術症例の選択率が高くなっています。またI期では治療なし(待機療法)が多くなっています。

病院名	高知県立幡多けんみん病院
住所	〒788-0785 高知県宿毛市山奈町芳奈3-1
ホームページ	<a href="http://www.pref.kochi.lg.jp/hata/">http://www.pref.kochi.lg.jp/hata/</a>

診療科	内科・精神科・神経内科・呼吸器科・消化器科・循環器科・小児科・外科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科 <全18診療科>
病床数	355床（一般：324床、感染症病床：3床、結核病床28床）

高知県立幡多けんみん病院は1999年4月に開院後、幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉介護施設などとの連携のもとに良質な医療を提供し、地域内でほぼ完結できる、という理念のもとに歩んでまいりました。

2012年4月1日、高知県中央圏以外では初めて地域がん診療連携拠点病院の指定を受けました。そして、専門的ながん医療の提供、緩和ケアの充実、がん患者・家族等に対する相談支援、在宅医療の支援、がんに関する各種情報の収集・提供等の取り組みを行うなど地域におけるがん医療の充実に努め、2015年4月1日には指定更新を受けることができました。

今回の高知県のがん登録集計は、高度化・多様化するがん診療の質の向上、各種情報の収集・提供、医療連携、地域のがん対策に大いに役立つものと思われまます。そして、これらの情報を有効に活用し、多職種の協働のもと、それぞれが専門性を高め、連携を密にとることによって、幡多地域のがん診療をさらに充実させていけるのではないかと考えています。

（高知県立幡多けんみん病院 副院長 上岡 教人）

#### <施設別集計について>

登録数は、2013年から2015年にかけてやや増加している。診断時住所の医療圏では、9割以上が幡多地域の患者を診ており、地域のがん拠点病院としての機能を十分発揮している。県外の方も多くいるが、主に隣接している愛媛県南宇和郡愛南町の患者である。年齢階層別にみると、60歳以上の割合が8割以上と高齢者の件数が増えている。男女別では男性は60歳代以降変化はみられないが、女性は60歳代から80歳以上にかけて徐々に増加している。症例区分別では、全国（2014年）と比べ診断のみは多く、他施設診断／自施設治療は少ない割合となっている。来院経路別では、自主、紹介（他院）は7割程度で推移しており、他疾患の経過観察中の割合は徐々に増加している。当院の登録数が多い部位は、「大腸」と「胃」が多く毎年約4割近く占めている。



## 1. 登録数

### ◇登録件数

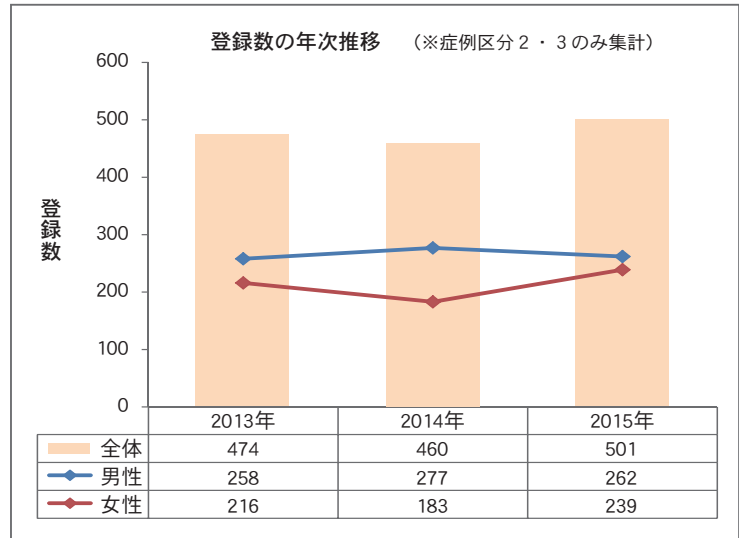
診断年	男性	女性	全体
2013年	358	291	649
2014年	384	252	636
2015年	346	327	673
合計	1,088	870	1,958

### ◇症例区分「8.その他」を除いて集計

診断年	男性	女性	全体
2013年	355	290	645
2014年	379	248	627
2015年	340	323	663
合計	1,074	861	1,935

### ◇症例区分2・3のみを集計

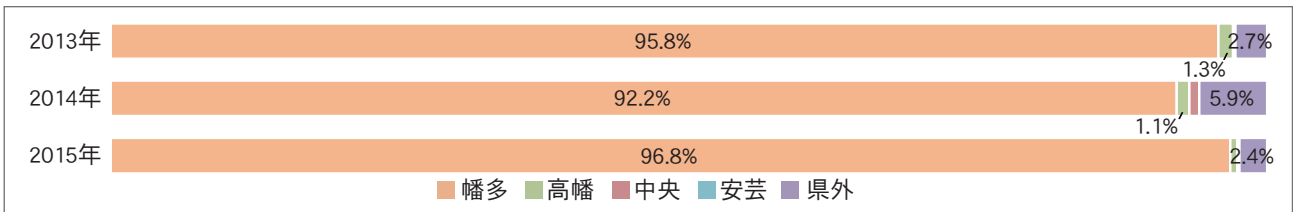
診断年	男性	女性	全体
2013年	258	216	474
2014年	277	183	460
2015年	262	239	501
合計	797	638	1,435



## 2. 診断時住所の医療圏別割合

※症例区分2・3のみを集計

医療圏	幡多		高幡		中央		安芸		県外	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
2013年	454	(95.8)	6	(1.3)	--	--	0	(0.0)	13	(2.7)
2014年	424	(92.2)	5	(1.1)	--	--	0	(0.0)	27	(5.9)
2015年	485	(96.8)	--	--	--	--	0	(0.0)	12	(2.4)



## 3. 年齢階級別登録割合

※症例区分2・3のみを集計

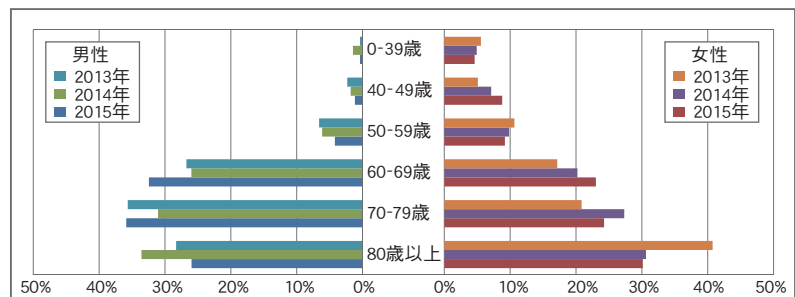
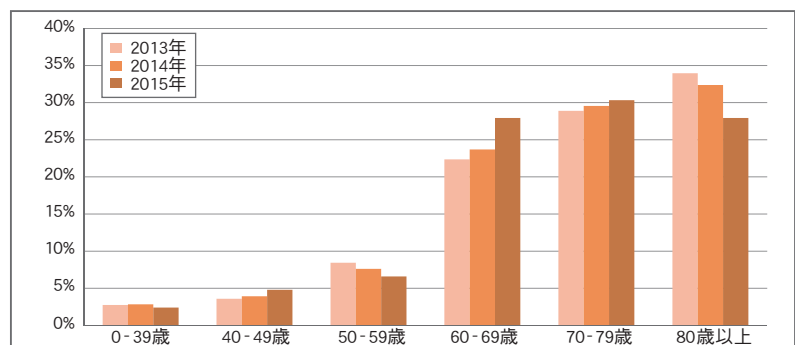
全体	2013年	2014年	2015年
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
0-39歳	13 (2.7)	13 (2.8)	12 (2.4)
40-49歳	17 (3.6)	18 (3.9)	24 (4.8)
50-59歳	40 (8.4)	35 (7.6)	33 (6.6)
60-69歳	106 (22.4)	109 (23.7)	140 (27.9)
70-79歳	137 (28.9)	136 (29.6)	152 (30.3)
80歳以上	161 (34.0)	149 (32.4)	140 (27.9)

男性	2013年	2014年	2015年
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
0-39歳	--	--	--
40-49歳	6 (2.3)	5 (1.8)	--
50-59歳	17 (6.6)	17 (6.1)	11 (4.2)
60-69歳	69 (26.7)	72 (26.0)	85 (32.4)
70-79歳	92 (35.7)	86 (31.0)	94 (35.9)
80歳以上	73 (28.3)	93 (33.6)	68 (26.0)

女性	2013年	2014年	2015年
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
0-39歳	12 (5.6)	9 (4.9)	11 (4.6)
40-49歳	11 (5.1)	13 (7.1)	21 (8.8)
50-59歳	23 (10.6)	18 (9.8)	22 (9.2)
60-69歳	37 (17.1)	37 (20.2)	55 (23.0)
70-79歳	45 (20.8)	50 (27.3)	58 (24.3)
80歳以上	88 (40.7)	56 (30.6)	72 (30.1)



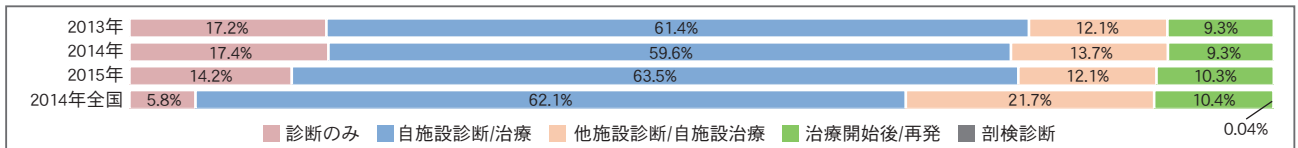
# 全部位

※症例区分「8. その他」を除いて集計

## 4. 症例区分

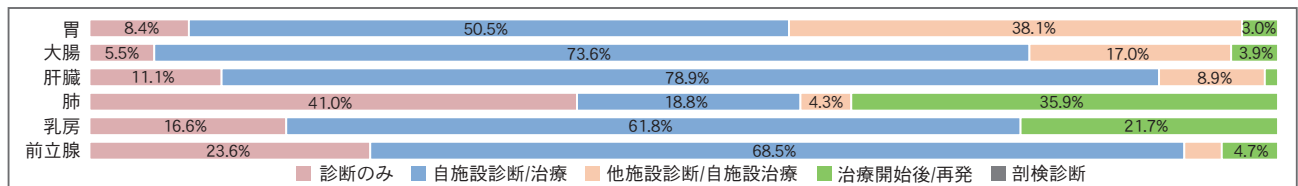
### 4-1. 症例区分

	診断のみ	自施設診断/治療	他施設診断/ 自施設治療	治療開始後/再発	剖検診断
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
2013年	111 (17.2)	396 (61.4)	78 (12.1)	60 (9.3)	0 (0.0)
2014年	109 (17.4)	374 (59.6)	86 (13.7)	58 (9.3)	0 (0.0)
2015年	94 (14.2)	421 (63.5)	80 (12.1)	68 (10.3)	0 (0.0)
2014年全国	37,126 (5.8)	399,409 (62.1)	139,655 (21.7)	67,032 (10.4)	258 (0.04)



### 4-2 症例区分 部位別 2013年-2015年

	診断のみ	自施設診断/治療	他施設診断/ 自施設治療	治療開始後/再発	剖検診断
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
胃	25 (8.4)	151 (50.5)	114 (38.1)	9 (3.0)	0 (0.0)
大腸	18 (5.5)	243 (73.6)	56 (17.0)	13 (3.9)	0 (0.0)
肝臓	10 (11.1)	71 (78.9)	8 (8.9)	--	0 (0.0)
肺	48 (41.0)	22 (18.8)	5 (4.3)	42 (35.9)	0 (0.0)
乳房	26 (16.6)	97 (61.8)	0 (0.0)	34 (21.7)	0 (0.0)
前立腺	30 (23.6)	87 (68.5)	--	6 (4.7)	0 (0.0)



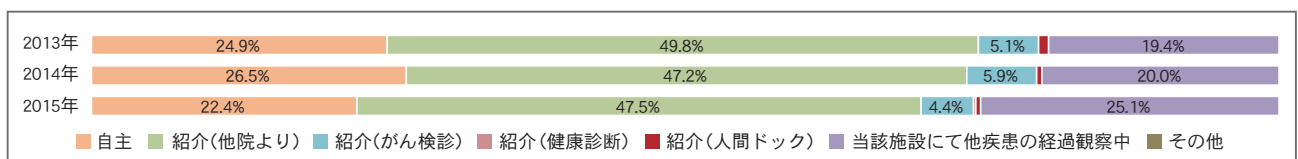
※大腸は結腸と直腸の合計

## 5. 来院経路

### 5-1. 来院経路

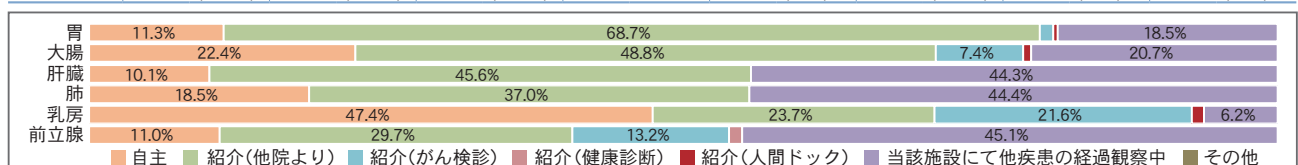
※症例区分2・3のみを集計

	自主	紹介 (他院より)	紹介 (がん検診)	紹介 (健康診断)	紹介 (人間ドック)	当該施設にて 他疾患の経過観察中	剖検にて	その他
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
2013年	118 (24.9)	236 (49.8)	24 (5.1)	0 (0.0)	--	92 (19.4)	0 (0.0)	0 (0.0)
2014年	122 (26.5)	217 (47.2)	27 (5.9)	0 (0.0)	--	92 (20.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
2015年	112 (22.4)	238 (47.5)	22 (4.4)	--	--	126 (25.1)	0 (0.0)	0 (0.0)



### 5-2. 来院経路 部位別 2013年-2015年

	自主	紹介 (他院より)	紹介 (がん検診)	紹介 (健康診断)	紹介 (人間ドック)	当該施設にて 他疾患の経過観察中	剖検にて	その他
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
胃	30 (11.3)	182 (68.7)	--	0 (0.0)	--	49 (18.5)	0 (0.0)	0 (0.0)
大腸	67 (22.4)	146 (48.8)	22 (7.4)	0 (0.0)	--	62 (20.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
肝臓	8 (10.1)	36 (45.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	35 (44.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
肺	5 (18.5)	10 (37.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	12 (44.4)	0 (0.0)	0 (0.0)
乳房	46 (47.4)	23 (23.7)	21 (21.6)	0 (0.0)	--	6 (6.2)	0 (0.0)	0 (0.0)
前立腺	10 (11.0)	27 (29.7)	12 (13.2)	--	0 (0.0)	41 (45.1)	0 (0.0)	0 (0.0)



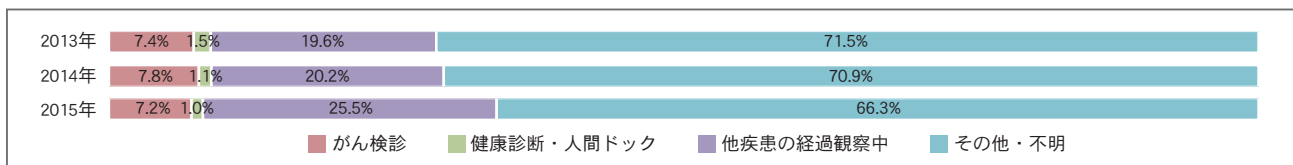
※大腸は結腸と直腸の合計

※症例区分2・3のみを集計

## 6. 発見経緯

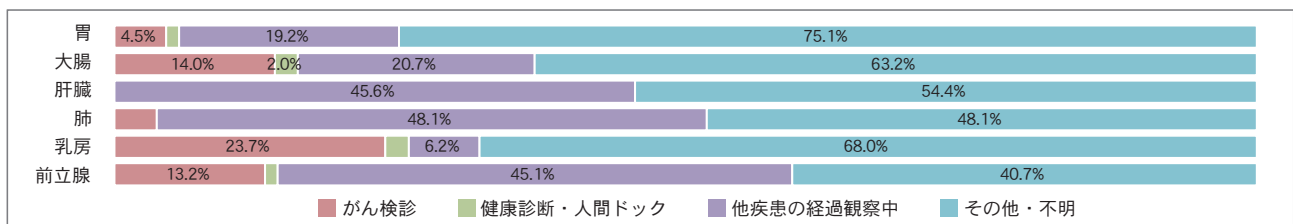
### 6-1. 発見経緯

	がん検診 件数 (%)	健康診断・人間ドック 件数 (%)	他疾患の経過観察中 件数 (%)	剖検発見 件数 (%)	その他・不明 件数 (%)
2013年	35 (7.4)	7 (1.5)	93 (19.6)	0 (0.0)	339 (71.5)
2014年	36 (7.8)	5 (1.1)	93 (20.2)	0 (0.0)	326 (70.9)
2015年	36 (7.2)	5 (1.0)	128 (25.5)	0 (0.0)	332 (66.3)



### 6-2. 発見経緯 部位別 2013年-2015年

	がん検診 件数 (%)	健康診断・人間ドック 件数 (%)	他疾患の経過観察中 件数 (%)	剖検発見 件数 (%)	その他・不明 件数 (%)
胃	12 (4.5)	-- --	51 (19.2)	0 (0.0)	199 (75.1)
大腸	42 (14.0)	6 (2.0)	62 (20.7)	0 (0.0)	189 (63.2)
肝臓	0 (0.0)	0 (0.0)	36 (45.6)	0 (0.0)	43 (54.4)
肺	-- --	0 (0.0)	13 (48.1)	0 (0.0)	13 (48.1)
乳房	23 (23.7)	-- --	6 (6.2)	0 (0.0)	66 (68.0)
前立腺	12 (13.2)	-- --	41 (45.1)	0 (0.0)	37 (40.7)



※大腸は結腸と直腸の合計

## 7. 部位

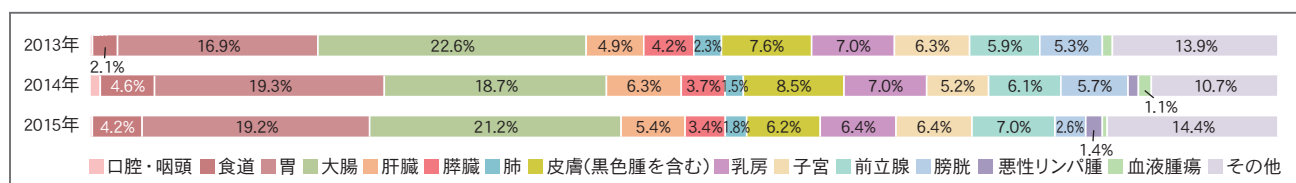
### 7-1. 部位別登録数の上位5部位

順位	2013年		2014年		2015年	
	部位名	件数 (%)	部位名	件数 (%)	部位名	件数 (%)
1	胃	80 (16.9)	胃	89 (19.3)	胃	96 (19.2)
2	結腸	66 (13.9)	結腸	60 (13.0)	結腸	74 (14.8)
3	直腸	41 (8.6)	皮膚	39 (8.5)	前立腺	35 (7.0)
4	皮膚	36 (7.6)	乳房	32 (7.0)	直腸	32 (6.4)
5	乳房	33 (7.0)	肝臓	29 (6.3)	乳房	32 (6.4)

◇結腸・直腸の合計を『大腸』、子宮頸部・子宮体部・子宮の合計を『子宮』、多発性骨髄腫・白血病・その他の造血器の合計を『血液腫瘍』とした場合

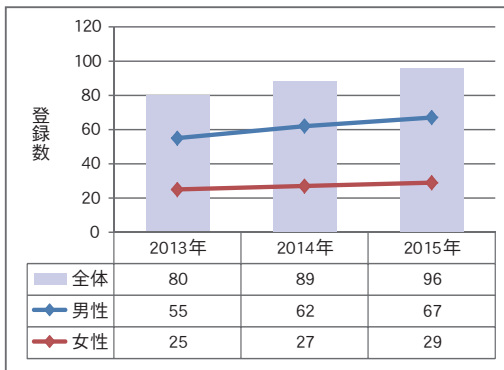
順位	2013年		2014年		2015年	
	部位名	件数 (%)	部位名	件数 (%)	部位名	件数 (%)
1	大腸	107 (22.6)	胃	89 (19.3)	大腸	106 (21.2)
2	胃	80 (16.9)	大腸	86 (18.7)	胃	96 (19.2)
3	皮膚	36 (7.6)	皮膚	39 (8.5)	前立腺	35 (7.0)
4	乳房	33 (7.0)	乳房	32 (7.0)	乳房	32 (6.4)
5	子宮	30 (6.3)	肝臓	29 (6.3)	子宮	32 (6.4)

### 7-2. 部位別の割合

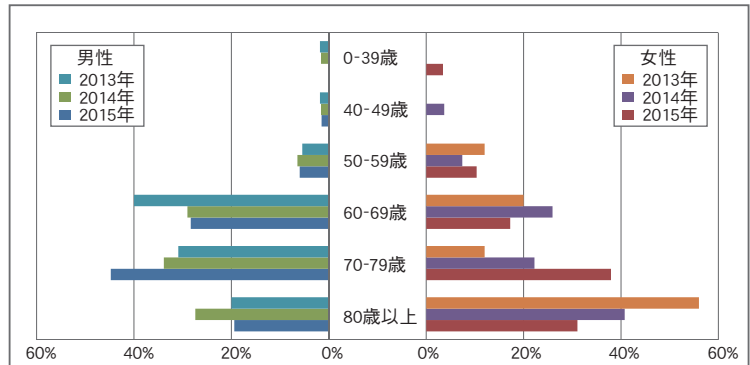


※症例区分2・3のみを集計

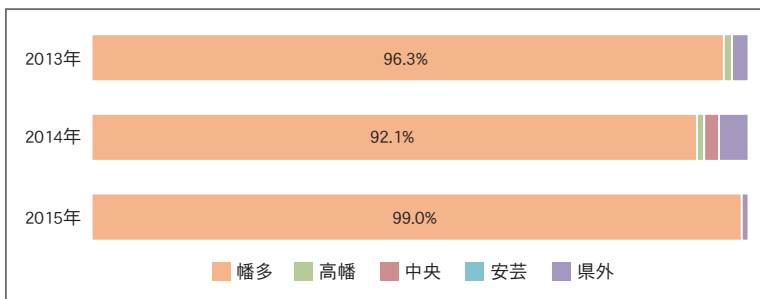
### 1. 登録数



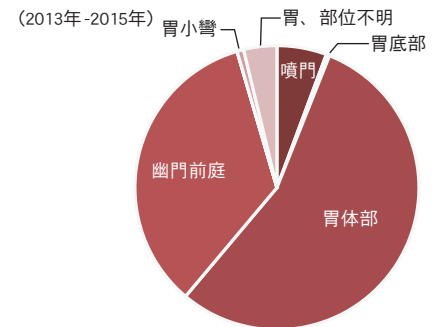
### 2. 性別 年齢階級別 登録割合



### 3. 医療圏別 登録割合

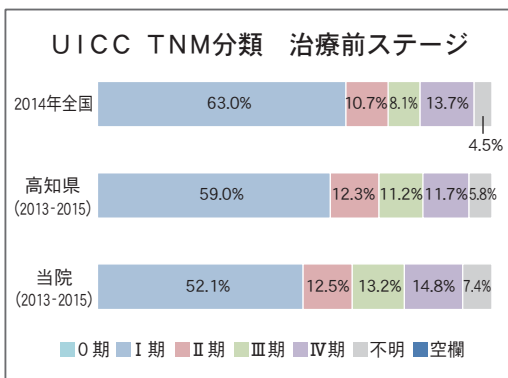


### 4. 詳細部位別 登録割合

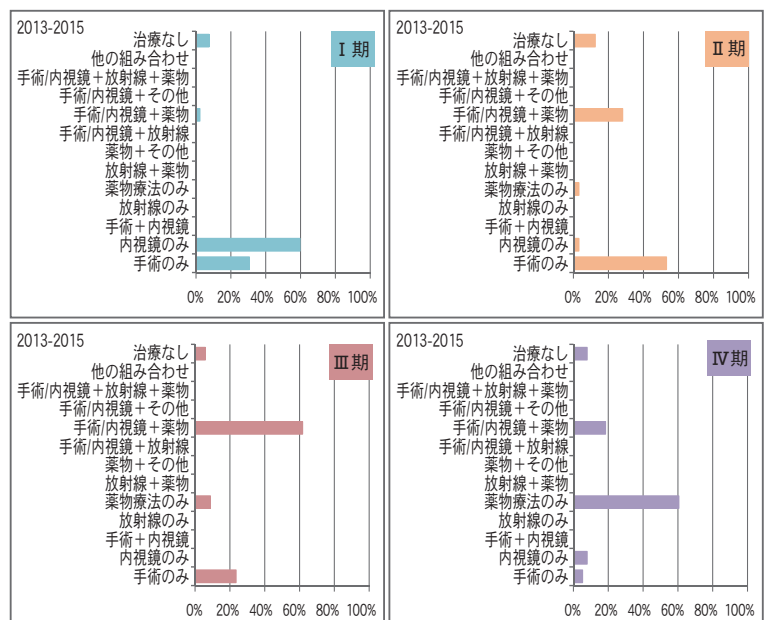


### 5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	0.0%	63.0%	10.7%	8.1%	13.7%	4.5%	0.0%
高知県 (2013年-2015年)	0.0%	59.0%	12.3%	11.2%	11.7%	5.8%	0.0%
当院 (2013年-2015年)	0.0%	52.1%	12.5%	13.2%	14.8%	7.4%	0.0%
件数	0	134	32	34	38	19	0



### 6. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合

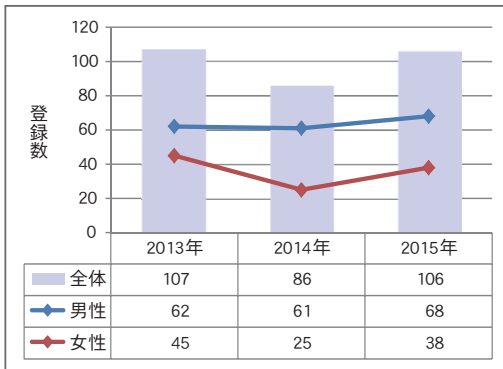


※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

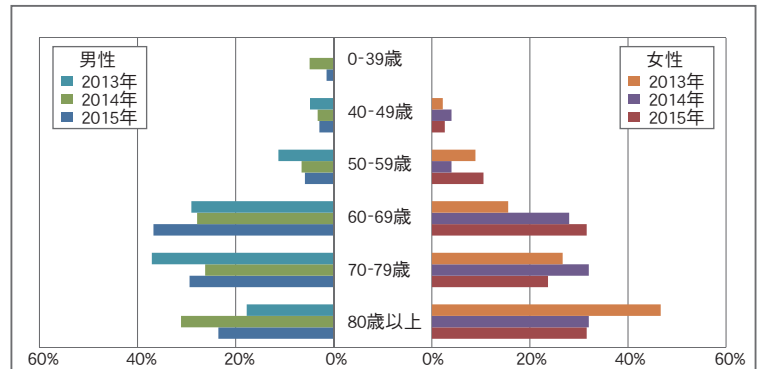
登録数は年々増加傾向にあり、年齢階層別では男性は60歳代・70歳代が多く、女性は50歳代以降80歳以上にかけて徐々に増加している。医療圏ではほぼ幡多地域の患者となっている。胃の詳細部位でみると胃体部と幽門前庭部で約9割となっている。治療前ステージ別の治療方法は、I期は内視鏡のみと手術のみが行われ、II期になると手術のみの次に切除後の薬物療法追加する治療法も実施されている。III期では切除後の薬物療法追加する治療方法が多くを占める。IV期では薬物療法のみが多くなっている。

※症例区分2・3のみを集計

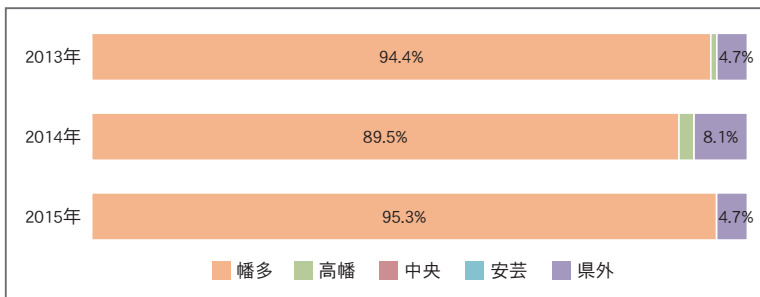
## 1. 登録数



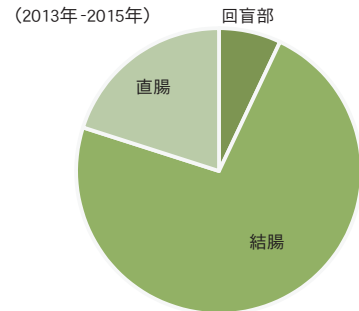
## 2. 性別 年齢階級別 登録割合



## 3. 医療圏別 登録割合

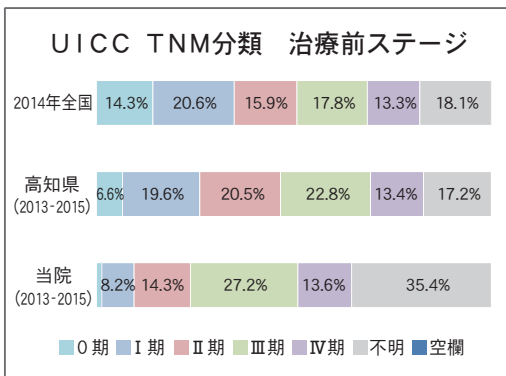


## 4. 詳細部位別 登録割合

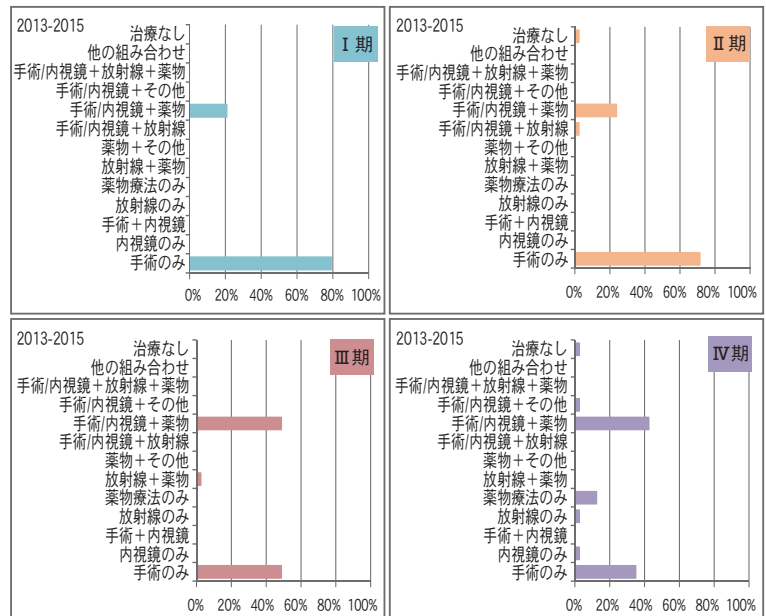


## 5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	14.3%	20.6%	15.9%	17.8%	13.3%	18.1%	0.0%
高知県 (2013年-2015年)	6.6%	19.6%	20.5%	22.8%	13.4%	17.2%	0.0%
当院 (2013年-2015年)	--	8.2%	14.3%	27.2%	13.6%	35.4%	0.0%
件数	--	24	42	80	40	104	0



## 6. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合

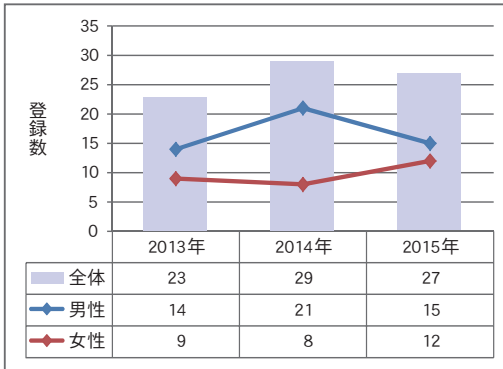


※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

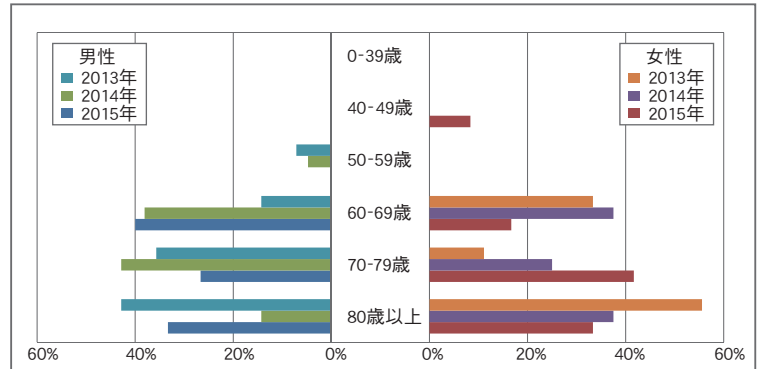
登録数は当院で一番多い部位である。年齢階層別では男性の60歳代以上が多く、女性は年齢を重ねる毎に増加傾向となっている。医療圏ではほぼ幡多地域の患者となっている。大腸の詳細部位は結腸が4分の3、残りは直腸・回盲部となっている。治療前ステージ別の治療方法は、I期・II期は手術のみの治療方法が多く施行され、III期になると手術のみの治療方法と切除後の薬物療法追加の治療方法が半々くらいの割合となっている。IV期では薬物療法のみや薬物療法の併用が増えている。

※症例区分2・3のみを集計

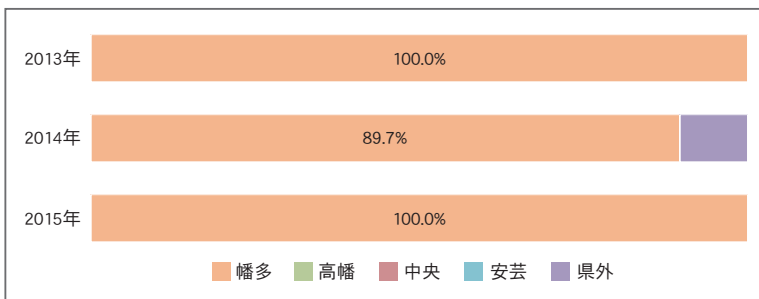
## 1. 登録数



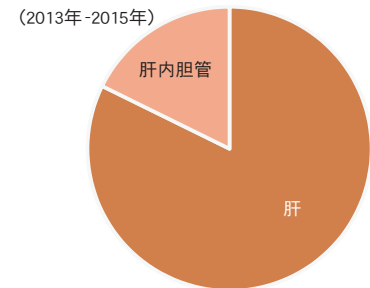
## 2. 性別 年齢階級別 登録割合



## 3. 医療圏別 登録割合

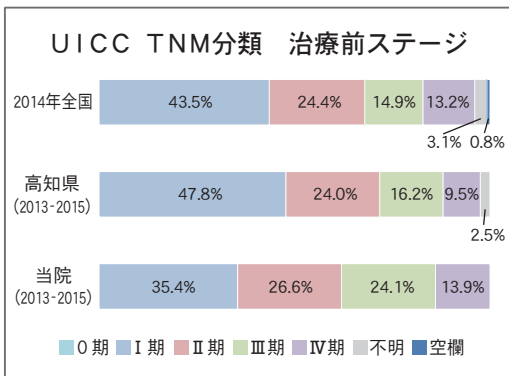


## 4. 詳細部位別 登録割合

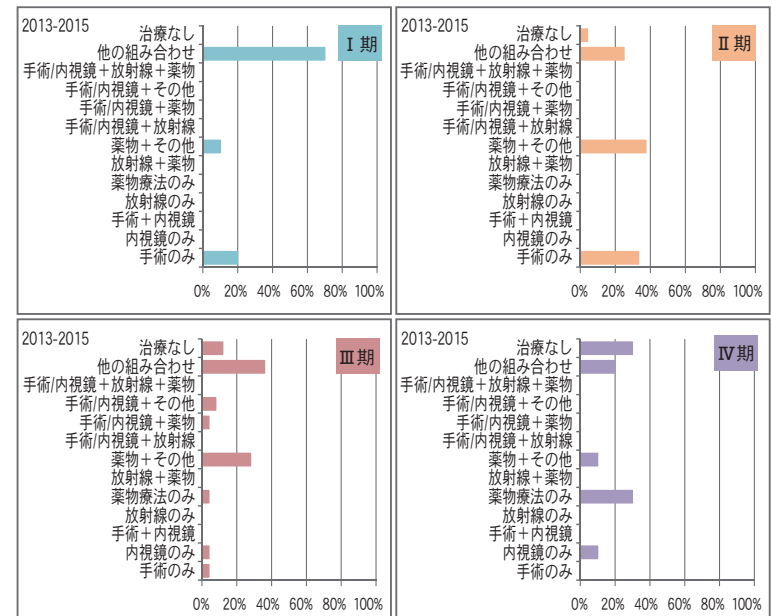


## 5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	0.0%	43.5%	24.4%	14.9%	13.2%	3.1%	0.8%
高知県 (2013年-2015年)	0.0%	47.8%	24.0%	16.2%	9.5%	2.5%	0.0%
当院 (2013年-2015年)	0.0%	35.4%	26.6%	24.1%	13.9%	0.0%	0.0%
件数	0	28	21	19	11	0	0



## 6. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合

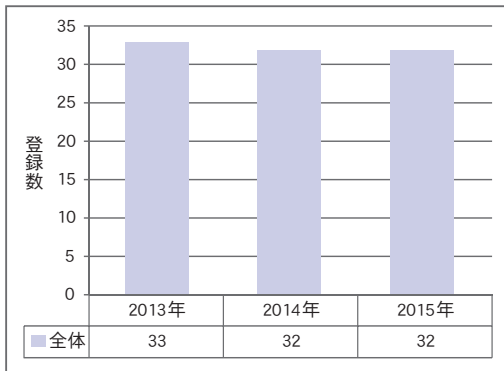


※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

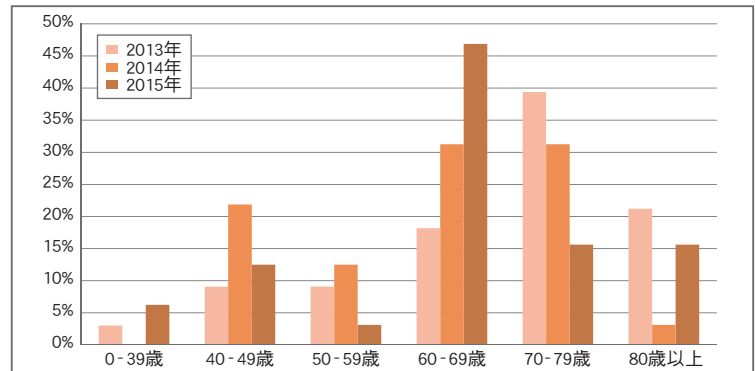
登録数は大きく変化はみられない。年齢階層別では男女ともに60歳代以降が多くなっている。医療圏ではほぼ幡多地域の患者となっている。肝臓の詳細はほぼ肝細胞癌である。治療前ステージ別の治療方法は、I期・II期は手術のみと薬物+その他の治療が多くなっている。III期・IV期の治療方法にはばらつきがあるが、なかでもIII期は薬物+その他が多く、IV期は薬物のみが多くなっている。

※症例区分2・3のみを集計

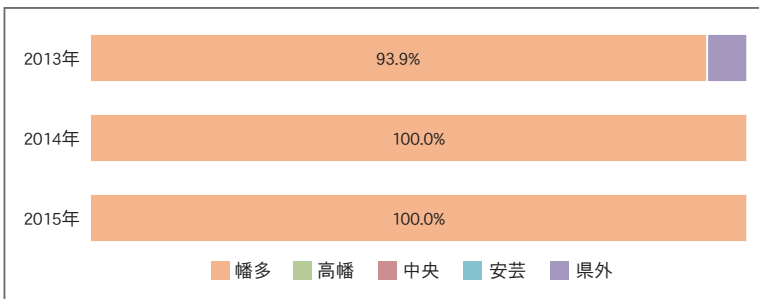
## 1. 登録数



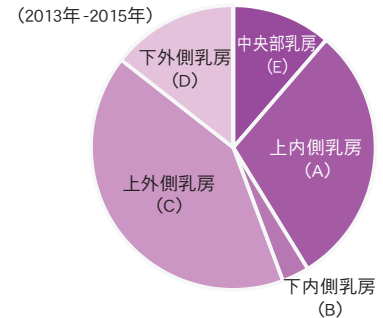
## 2. 性別 年齢階級別 登録割合



## 3. 医療圏別 登録割合

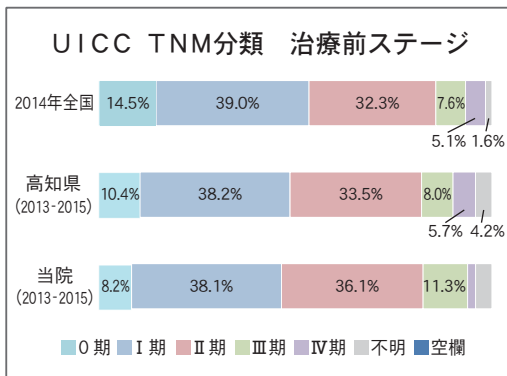


## 4. 詳細部位別 登録割合

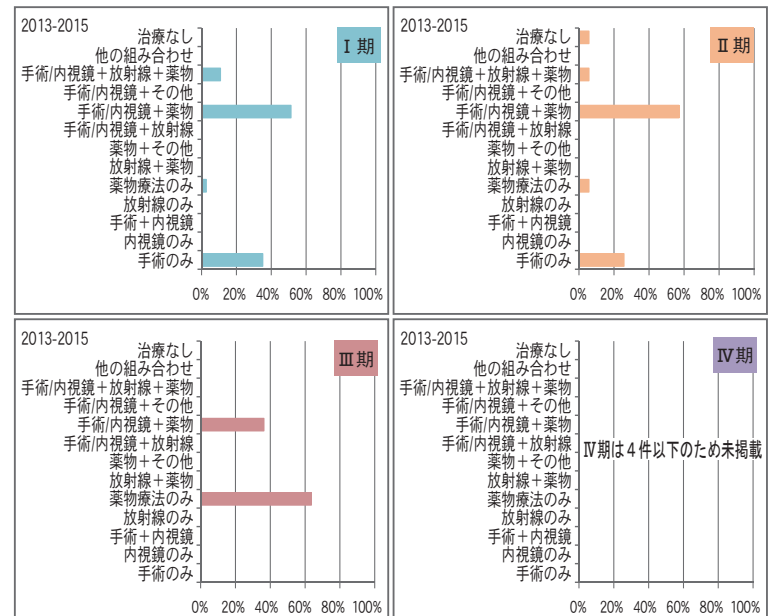


## 5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	14.5%	39.0%	32.3%	7.6%	5.1%	1.6%	0.0%
高知県 (2013年-2015年)	10.4%	38.2%	33.5%	8.0%	5.7%	4.2%	0.0%
当院 (2013年-2015年)	8.2%	38.1%	36.1%	11.3%	--	--	0.0%
件数	8	37	35	11	--	--	0



## 6. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合

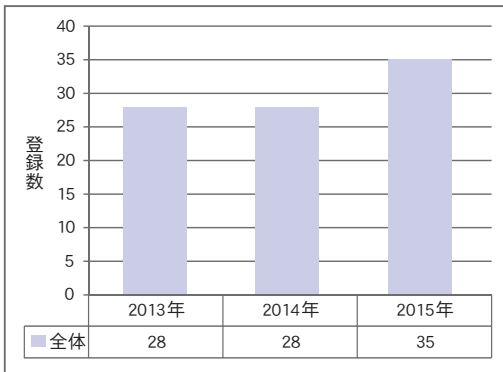


※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

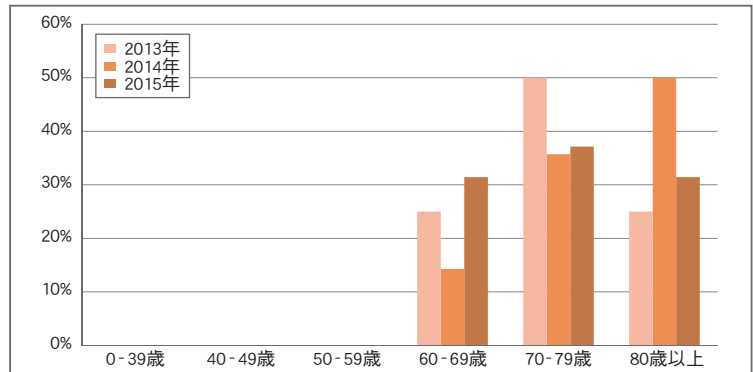
登録数はほぼ変化はない。年齢階層別では60歳代が多く、次いで70歳代・40歳代が多くなっている。他部位と比べ比較的若い年齢からの罹患も多くなっている。医療圏ではほぼ幡多地域の患者となっている。乳房の詳細部位では上外側がほぼ半数、4分の1を上内側に発生している。治療前ステージ別の治療方法は、I期・II期とも手術+薬物と手術のみの治療法が施行され、III期では薬物療法のみと手術+薬物の治療法が施行されている。

※症例区分2・3のみを集計

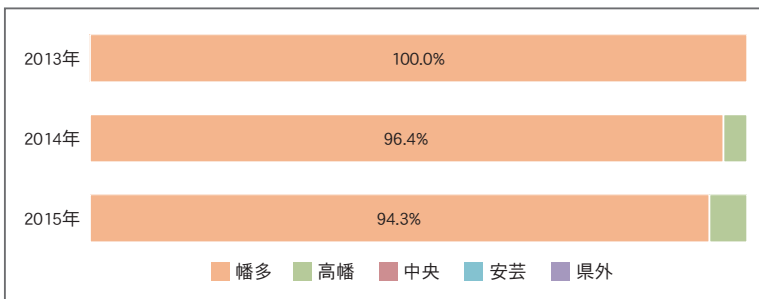
## 1. 登録数



## 2. 性別 年齢階級別 登録割合

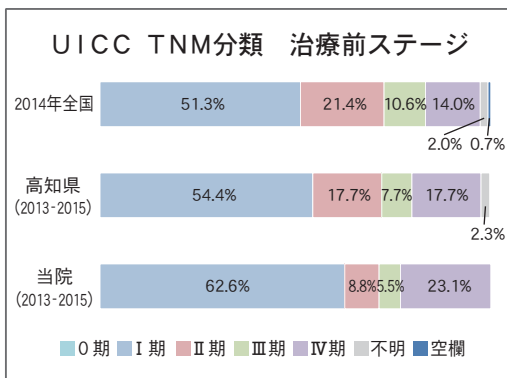


## 3. 医療圏別 登録割合

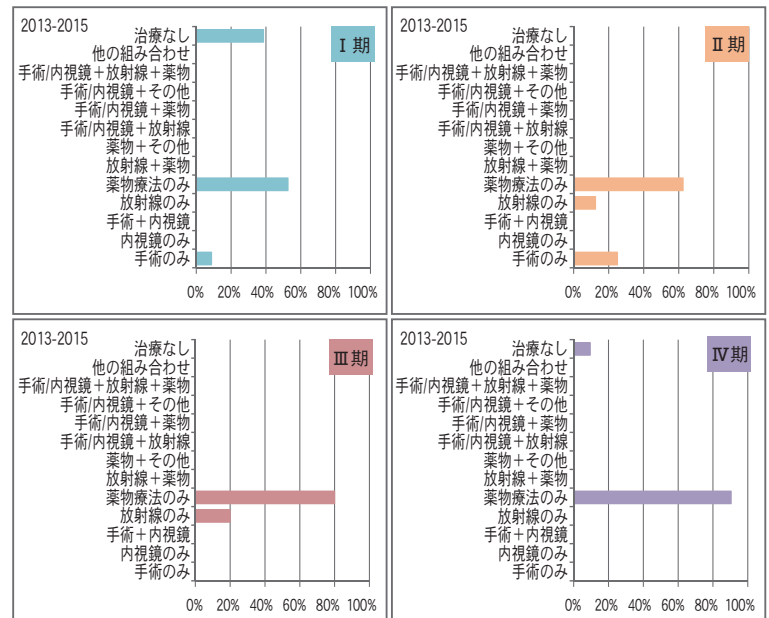


## 4. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄
2014年全国	0.0%	51.3%	21.4%	10.6%	14.0%	2.0%	0.7%
高知県 (2013年-2015年)	0.0%	54.4%	17.7%	7.7%	17.7%	2.3%	--
当院 (2013年-2015年)	0.0%	62.6%	8.8%	5.5%	23.1%	0.0%	0.0%
件数	0	57	8	5	21	0	0



## 5. UICC TNM分類 治療前ステージ別 治療方法割合



※治療前ステージ集計対象の定義は、2頁を参照

登録数は少し増加傾向にある。年齢階層別では60歳代以降に診断されている。医療圏ではほぼ幡多地域の患者となっている。治療前ステージ別の治療方法は、I期では薬物療法のみが多いが、治療をせず経過観察のケースも多い、II期になると薬物療法のみ以外に放射線療法のみ、手術のみも選択されている。III期・IV期ではほとんど薬物療法が行われている。



# 平成29年度 高知がん診療連携協議会

## ◇協議会査読委員◇

都道府県がん診療連携拠点病院	国立大学法人 高知大学医学部附属病院病院長	横山 彰仁
	がん治療センター センター長	小林 道也
	がん治療センター 副センター長	岡本 健
	がん治療センター 副センター長	北岡 智子
	小児思春期医学	久川 浩章
地域がん診療連携拠点病院	高知県・高知市病院企業団立高知医療センター がんセンター長	西岡 明人
	高知県立幡多けんみん病院 副院長	上岡 教人
がん診療連携推進病院	日本赤十字社 高知赤十字病院 診療部長	谷田 信行
	国立病院機構高知病院 呼吸器外科医長	日野 弘之
二次医療圏においてがん診療の中核となる病院	高知県立あき総合病院 外科部長	直木 一郎

## ◇がん登録部会◇

高知県	健康政策部健康対策課課長補佐 健康政策部健康対策課チーフ	山崎 千夏 林 奈歩
都道府県がん診療連携拠点病院		
国立大学法人 高知大学医学部附属病院	診療情報管理副室長 診療情報管理室主任	井沖 浩美 野口 真理
地域がん診療連携拠点病院		
高知県・高知市病院企業団立高知医療センター	医療情報センター主事 医療情報センター	北村 愛 長田由美子
高知県立幡多けんみん病院	診療情報管理室主幹	加藤 真一
がん診療連携推進病院		
日本赤十字社 高知赤十字病院	医療情報管理課長 医療情報管理課	四國 久幸 森本 裕紀 森田 博
国立病院機構高知病院	診療情報管理室	山下 美紀 武政 理恵 坂井 由香
二次医療圏においてがん診療の中核となる病院		
高知県立あき総合病院	診療情報管理室主事	野中 里美

---

## 高知県院内がん登録データ集計 2013-2015

発行日：2018年3月

監 修：高知大学教育研究部医療学系  
予防医学・地域医療学分野 教授 安田 誠史

発 行：高知がん診療連携協議会がん登録部会  
事務局 高知大学医学部附属病院診療情報管理室  
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮  
電話 088-880-2571

---



